

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン コクサイイリョウフクシダイガク 学校法人 国際医療福祉大学							
フリガナ大学の名称	コクサイイリョウフクシダイガク 国際医療福祉大学 (International University of Health and Welfare)							
大学本部の位置	栃木県大田原市北金丸2600-1							
大学の目的	国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断を培い、豊かな人間性を涵養し保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	国際医療福祉大学は、これまでも栃木県大田原市に薬学部、福岡県大川市に福岡薬学部を設置して薬剤師の養成を行ってきたが、地域の要望や臨床薬剤師不足に応えるため、新たに千葉県成田市に成田薬学部を設置して、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	保健医療学部 看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	平成7年4月 第1年次	栃木県大田原市 北金丸2600-1
	理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法学)	平成7年4月 第1年次	
	作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	平成7年4月 第1年次	
	言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	平成7年4月 第1年次	
	視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法学)	平成14年4月 第1年次	
	放射線・情報科学科	4	110	-	440	学士 (放射線・情報科学)	平成7年4月 第1年次	
	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4	140	3年次 5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	平成21年4月 第1年次 平成23年4月 第3年次	栃木県大田原市 北金丸2600-1
	薬学部 薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	平成18年4月 第1年次	栃木県大田原市 北金丸2600-1
	医学部 医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	平成29年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-2
	成田看護学部 看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	平成28年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-3
	成田保健医療学部 理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	平成28年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-3
	作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	平成28年4月 第1年次	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	平成28年4月 第1年次		
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	平成28年4月 第1年次		
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士 (放射線・情報科学)	令和2年4月 第1年次		

新設学部等の概要(つづき)	成田薬学部 薬学科	6	120 (0)	-	720 (0)	学士 (薬学)	令和6年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-2	※令和5年4月設置届出予定	
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	平成30年4月 第1年次	東京都港区赤坂4-1-26		
	医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士 (医療マネジメント学)	平成30年4月 第1年次			
	小田原保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	平成18年4月 第1年次	神奈川県小田原市 城山1-2-25		
	理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	平成18年4月 第1年次			
	作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	平成18年4月 第1年次			
	福岡保健医療学部 看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	令和5年4月 第1年次	福岡県大川市榎津137-1		
	理学療法学科	4	50	-	200	学士 (理学療法学)	平成17年4月 第1年次			
	作業療法学科	4	30	-	120	学士 (作業療法学)	平成17年4月 第1年次			
	言語聴覚学科	4	0	-	0	学士 (言語聴覚学)	平成19年4月 第1年次			
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	平成25年4月 第1年次				
福岡薬学部 薬学科	6	120	-	720	学士 (薬学)	令和2年4月 第1年次	福岡県大川市榎津137-1			
計		2,165 (2,045)	3年次 5	9,790 (9,070)						
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	専門職大学院(専攻)の設置 医学研究科 公衆衛生学専攻(専門職学位課程)(20) ※令和5年3月 設置認可申請 医学研究科 公衆衛生学専攻(修士課程)(廃止)(△20) ※令和6年4月 学生募集停止									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
教員組織の概要	新設分	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計	助手	
				人	人	人	人	人	人	人
		保健医療学部	看護学科	8 (8)	5 (5)	10 (10)	10 (10)	33 (33)	2 (2)	5 (5)
			理学療法学科	6 (6)	5 (5)	5 (5)	2 (2)	18 (18)	2 (2)	5 (5)
			作業療法学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	5 (5)	14 (14)	0 (0)	5 (5)
			言語聴覚学科	4 (4)	3 (2)	3 (2)	4 (4)	14 (12)	0 (0)	11 (11)
			視機能療法学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)	1 (1)	12 (12)
			放射線・情報科学科	7 (7)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	7 (6)
		医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	8 (8)	6 (6)	8 (8)	8 (8)	30 (30)	0 (0)	12 (12)
薬学部	薬学科	17 (17)	10 (10)	7 (7)	8 (8)	42 (42)	1 (1)	13 (13)		
医学部	医学科	200 (200)	55 (55)	65 (65)	65 (65)	385 (385)	20 (15)	20 (20)		
成田看護学部	看護学科	8 (8)	4 (4)	8 (8)	8 (8)	28 (28)	1 (1)	7 (7)		

教員組織の概要(つづき)	新設分(つづき)	成田保健医療学部	理学療法学科	4 (4)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	15 (15)	0 (0)	5 (5)
			作業療法学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	11 (11)	1 (1)	3 (3)
			言語聴覚学科	4 (4)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	7 (6)
			医学検査学科	4 (4)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	15 (15)	0 (0)	6 (6)
			放射線・情報科学科	6 (6)	2 (2)	5 (5)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	2 (2)
		成田薬学部	薬学科	16 (12)	4 (2)	4 (2)	8 (3)	32 (19)	0 (0)	56 (56)
		赤坂心理・医療 福祉マネジメント 学部	心理学科	6 (6)	5 (5)	5 (5)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	8 (8)
			医療マネジメント学科	7 (7)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	6 (6)
		小田原保健医療学部	看護学科	7 (7)	8 (8)	8 (8)	5 (5)	28 (28)	1 (1)	8 (9)
			理学療法学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	5 (5)	14 (14)	1 (1)	8 (9)
			作業療法学科	5 (5)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	14 (14)	1 (1)	6 (5)
		福岡保健医療学部	看護学科	11 (10)	5 (4)	6 (4)	4 (4)	26 (22)	0 (0)	53 (39)
			理学療法学科	8 (8)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	6 (6)
			作業療法学科	5 (5)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	3 (3)
			医学検査学科	5 (5)	2 (2)	5 (5)	4 (4)	16 (16)	1 (0)	7 (7)
		福岡薬学部	薬学科	18 (18)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	38 (38)	0 (0)	6 (6)
		基礎医学研究センター		2 (2)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	7 (7)	1 (1)	6 (6)
		総合教育センター		2 (2)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	6 (6)
		情報システム部情報教育室		1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	6 (6)
		計		385 (380)	166 (162)	185 (180)	171 (166)	907 (888)	33 (27)	305 (290)
		既設分	なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	- (-)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
合計		385 (380)	166 (162)	185 (180)	171 (166)	907 (888)	33 (27)	305 (290)		
教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		960人 (955)	290人 (280)	1250人 (1235)					
	技 術 職 員		12人 (10)	0人 (0)	12人 (10)					
	図 書 館 専 門 職 員		16人 (15)	25人 (23)	41人 (38)					
	そ の 他 の 職 員		3750人 (3370)	280人 (270)	4030人 (3640)					
	計		4738人 (4350)	595人 (573)	5333人 (4923)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	268,532 m ²	- m ²	- m ²	268,532 m ²	■校舎敷地:借用面積 58,854m ² 、期間30年 ■運動場用地:①借用面 積3,557m ² 、期間5年間(道 路占用許可。その後、順 次更新)②借用面積5,659 m ² 、期間30年③借用面積 11,944m ² 、期間30年				
	運 動 場 用 地	100,751 m ²	- m ²	- m ²	100,751 m ²					
	小 計	369,283 m ²	- m ²	- m ²	369,283 m ²					
	そ の 他	113,975 m ²	- m ²	- m ²	113,975 m ²					
合 計	483,258 m ²	- m ²	- m ²	483,258 m ²						
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体					
	222,425m ² (213,779m ²)	- m ² (- m ²)	- m ² (- m ²)	222,425m ² (213,779m ²)	■借用面積 14,691m ² 期間20年					

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	209室	189室	363室	23室 (補助職員 8人)	9室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数						
		大学全体		423室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	271,434 [34,034] (266,019 [33,358])	20,288 [15,476] (20,231 [15,466])	16,347 [14,736] (16,334 [14,727])	7,478 (7,450)	134,142 (132,409)	2,709 (2,209)			
	計	271,434 [34,034] (266,019 [33,358])	20,288 [15,476] (20,231 [15,466])	16,347 [14,736] (16,334 [14,727])	7,478 (7,450)	134,142 (132,409)	2,709 (2,209)			
図書館		面積	閲覧座席数	収納可能冊数		大学全体				
		8,081 m ²	1,691 席	354,777 冊						
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		7,465 m ²	弓道場		テニスコート					
経費の見積り 経費の 見及び 維持の 概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	400千円	400千円	
		共同研究費等		15,000千円	13,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	
		図書購入費	71,400千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	55,000千円	
	設備購入費	2,582,000千円	2,452,000千円	2,695,000千円	2,677,000千円	2,611,000千円	2,467,000千円	2,467,000千円		
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		保健医療学部	1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円		
		成田保健医療学部								
		小田原保健医療学部(理学療法学科・作業療法学科)								
		保健医療学部(看護学科・放射線・情報科学科)	1,610千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	—千円	—千円		
		成田看護学部								
		成田保健医療学部(放射線・情報科学科・医学検査学科)								
		小田原保健医療学部(看護学科)								
		福岡保健医療学部(看護学科)	1,410千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	—千円	—千円		
		福岡保健医療学部	1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	—千円	—千円		
医療福祉学部		1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	—千円	—千円			
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部										
医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科介護福祉士コース)	960千円	920千円	920千円	920千円	—千円	—千円				
薬学部	1,750千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円			
成田薬学部										
福岡薬学部										
医学部	4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入 等							

大学等の名称	国際医療福祉大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
既設大学等の状況	保健医療学部 看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	1.03	平成7年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1
	理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法学)	1.03	平成7年度	
	作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.00	平成7年度	
	言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	0.98	平成7年度	
	視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法学)	1.05	平成14年度	
	放射線・情報科学科	4	110	-	440	学士 (放射線・情報科学)	1.03	平成7年度	
	医療福祉学部 医療福祉・ マネジメント学科	4	140	3年次 5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	1.02	平成21年度	
	薬学部 薬学科	6	180	-	1080	学士 (薬学)	0.96	平成18年度	
	医学部 医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	0.97	平成29年度	千葉県成田市 公津の杜4-2
	成田看護学部 看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.07	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4-3
	成田保健医療学部 理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.05	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4-3
	作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.08	平成28年度	
	言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.03	平成28年度	
	医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.08	平成28年度	
	放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士 (放射線・情報科学)	1.04	令和2年度	
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部 心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.04	平成30年度	東京都港区 赤坂4-1-26
	医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士 (医療マネジメント学)	0.97	平成30年度	
	小田原保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成18年度	神奈川県 小田原市 城山1-2-25
	理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.07	平成18年度	
	作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.01	平成18年度	

既設大学等の状況(つづき)	福岡保健医療学部 看護学科	4	60	-	60	学士 (看護学)	-	令和5年度	福岡県大川市 榎津137-1	※令和5年度より 入学定員減(△10人) ※令和5年度より 入学定員減(△10人) ※令和5年度より 学生募集停止
	理学療法学科	4	50	-	230	学士 (理学療法学)	1.10	平成17年度		
	作業療法学科	4	30	-	150	学士 (作業療法学)	0.96	平成17年度		
	言語聴覚学科	4	-	-	-	学士 (言語聴覚学)	-	平成19年度		
	医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成25年度		
	福岡薬学部 薬学科	6	120	-	480	学士 (薬学)	1.03	令和2年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1	※令和4年度より 入学定員増(40人)
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	2	200	-	400	修士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (遺伝カウンセリング学)	1.02	平成11年度		
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	3	80	-	230	博士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (医療遺伝学) (医療福祉経営学) (医療福祉学) (診療情報管理学) (医療福祉国際協力学) (介護福祉・ケアマネジメント学) (臨床心理学) (医療福祉ジャーナリズム学)	1.00	平成13年度		

既設大学等の状況（つづき）	医療福祉経営専攻	2	50		100	修士 (医療福祉学) (診療情報管理学) (医療ビジネス経営学) (医療福祉管理学) (医療福祉国際協力学) (介護福祉・ケアマネジメント学) (自立支援介護学) (自立支援実践ケアマネジメント学) (医療福祉ジャーナリズム学) (医療通訳・医療マネジメント学)	1.06	平成13年度		
	臨床心理学専攻	2	35	-	70	修士 (臨床心理学)	0.93	平成19年度	東京都港区 赤坂4-1-26	※令和4年度より 入学定員増（10人）
	薬科学研究科 生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	平成22年度		
	薬学研究科 医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.65	平成24年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1	
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	20	-	40	修士 (公衆衛生学) (医科学)	1.30	平成30年度		※令和4年度より 入学定員増（10人）
	医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.02	平成30年度	千葉県成田市 公津の杜4-2	

附属施設の概要	<p>名称：国際医療福祉大学病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口537-3 設置年月：平成19年2月 規模等：建物39,437㎡ 408床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学塩谷病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成21年4月 規模等：建物17,022㎡ 240床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学成田病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：千葉県成田市畑ヶ田地増前852他 設置年月：令和2年3月 規模等：建物91,000㎡ 642床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学市川病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：千葉縣市川市国府台 6-1-14 設置年月：平成29年9月 規模等：建物16,811㎡ 260床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学三田病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：東京都港区三田1-4-3 設置年月：平成17年3月 規模等：建物35,504㎡ 291床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学熱海病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：静岡県熱海市東海岸町13-1 設置年月：平成14年7月 規模等：建物23,257㎡ 269床</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学クリニック 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県大田原市北金丸2600-6 設置年月：平成9年5月 規模等：建物3,574㎡</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学 介護老人保健施設マロニエ苑 目的：介護老人保健施設及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口533-4 設置年月：平成19年2月 規模等：建物7,052㎡ 定員200名（ショートステイ含む）</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学 にしなすの総合在宅ケアセンター 目的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口537-3 設置年月：平成19年2月 規模等：建物850㎡</p>	
	<p>名称：国際医療福祉大学 しおや総合在宅支援センター 目的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所在地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成26年4月 規模等：999㎡</p>	
	<p>名称：薬草園 目的：演習実習 所在地：栃木県大田原市北金丸2600-1 設置年月：平成17年4月 規模等：256㎡</p>	
	<p>名称：福岡薬草園 目的：演習実習 所在地：福岡県大川市榎津137-1 設置年月：令和2年4月 規模等：606㎡</p>	

学校法人国際医療福祉大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
国際医療福祉大学					国際医療福祉大学				
保健医療学部					保健医療学部				
看護学科	115	-	460		看護学科	115	-	460	
理学療法学科	100	-	400		理学療法学科	100	-	400	
作業療法学科	80	-	320		作業療法学科	80	-	320	
言語聴覚学科	80	-	320		言語聴覚学科	80	-	320	
視機能療法学科	50	-	200		視機能療法学科	50	-	200	
放射線・情報科学科	110	-	440		放射線・情報科学科	110	-	440	
医療福祉学部					医療福祉学部				
医療福祉・マネジメント学科	140	3年次 5	570	→	医療福祉・マネジメント学科	140	3年次 5	570	
薬学部					薬学部				
薬学科	180	-	1080		薬学科	180	-	1080	
医学部					医学部				
医学科	140	-	840		医学科	140	-	840	
成田看護学部					成田看護学部				
看護学科	100	-	400	→	看護学科	100	-	400	
成田保健医療学部					成田保健医療学部				
理学療法学科	80	-	320		理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
言語聴覚学科	40	-	160		言語聴覚学科	40	-	160	
医学検査学科	80	-	320		医学検査学科	80	-	320	
放射線・情報科学科	50	-	200		放射線・情報科学科	50	-	200	
					成田薬学部				学部の設置(届出)
					薬学科	120	-	720	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部					赤坂心理・医療福祉マネジメント学部				
心理学科	60	-	240		心理学科	60	-	240	
医療マネジメント学科	60	-	240		医療マネジメント学科	60	-	240	
小田原保健医療学部					小田原保健医療学部				
看護学科	80	-	320		看護学科	80	-	320	
理学療法学科	80	-	320		理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
福岡保健医療学部					福岡保健医療学部				
看護学科	60	-	240		看護学科	60	-	240	
理学療法学科	50	-	200		理学療法学科	50	-	200	
作業療法学科	30	-	120		作業療法学科	30	-	120	
医学検査学科	80	-	320		医学検査学科	80	-	320	
福岡薬学部					福岡薬学部				
薬学科	120	-	720		薬学科	120	-	720	
計	2,045	3年次 5	9,070		計	2,165	3年次 5	9,790	
国際医療福祉大学大学院					国際医療福祉大学大学院				
医学研究科					医学研究科				
公衆衛生学専攻(M)	20	-	40		医学専攻(D)	20	-	80	令和6年4月学生募集停止
医学専攻(D)	20	-	80		公衆衛生学専攻(P)	20	-	40	専攻の設置(認可申請)
医療福祉学研究科				→	医療福祉学研究科				
保健医療学専攻(M)	200	-	400		保健医療学専攻(M)	200	-	400	
医療福祉経営専攻(M)	50	-	100		医療福祉経営専攻(M)	50	-	100	
臨床心理学専攻(M)	35	-	70		臨床心理学専攻(M)	35	-	70	
保健医療学専攻(D)	80	-	230		保健医療学専攻(D)	80	-	230	
薬科学研究科					薬科学研究科				
生命薬科学専攻(M)	5	-	10		生命薬科学専攻(M)	5	-	10	
薬学研究科					薬学研究科				
医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20		医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20	
計	410		930		計	415		950	
国際医療福祉大学塩谷看護専門学校					国際医療福祉大学塩谷看護専門学校				
医療専門課程					医療専門課程				
看護学科	40	-	120		看護学科	40	-	120	
計	40		120		計	40		120	

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況					新設学部等の学年進行終了時における状況						
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
薬学部	学士(薬学)	薬学関係	薬学部薬学科	34	14	薬学部	学士(薬学)	薬学関係	薬学部薬学科	34	14
			成田薬学部	8	3				新規採用	8	3
			計	42	17				計	42	17
福岡薬学部	学士(薬学)	薬学関係	福岡薬学部薬学科	37	17	福岡薬学部	学士(薬学)	薬学関係	福岡薬学部薬学科	37	17
			成田薬学部	1	1				新規採用	1	1
			計	38	18				計	38	18
						成田薬学部	学士(薬学)	薬学関係	薬学部薬学科	8	3
									福岡薬学部薬学科	1	1
									(大学附属)センター	5	4
									(大学附属)成田病院	6	2
									(大学附属)三田病院	2	0
									(大学附属)市川病院	1	1
									新規採用	9	5
			計						計	32	16
			計								

基礎となる学部等の改編状況

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成17年4月	薬学部薬学科(4年制) 設置	薬学関係	設置認可(学部)
平成18年4月	薬学部薬学科(6年制)設置(4年制から6年制へ移行)	薬学関係	設置届出(学部)
平成24年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)
平成25年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)
平成26年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)
平成27年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)
令和2年4月	福岡薬学部設置	薬学関係	設置届出(学部)
令和4年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)
令和5年4月	薬学部薬学科のカリキュラム変更	薬学関係	学則変更(学科)

教 育 課 程 等 の 概 要

（成田薬学部薬学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間系	文学論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	演劇論	1・2・3・4・5・6後		1		○									兼1
	心理学	1前	2			○									兼1
	哲学	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	コミュニケーション概論	1前	2			○									兼1
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	人間学	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	歴史学	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	倫理学	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	宗教学	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	日本近現代史	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	文化人類学	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	教育学	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	教育方法論	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1	
総合教育科目 社会系	法学	1前	2			○			1						兼1
	法と道徳・倫理	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4前	1				○								兼1
	経済の仕組み	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	経済の歴史	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	世界の経済	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	世界の中の和文化	1・2・3・4・5・6前		1		○									兼1
	経営の仕組み	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	組織運営管理論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	社会学（人間と社会）	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	マスメディア論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	新聞でみた日本と世界	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	国際関係論	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1
	国際医療福祉論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1
	海外保健福祉事情I（講義）	2前	1				○								兼1
	海外保健福祉事情II（実習）	2後	1					○							兼1
ボランティア論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1	
ボランティアコーディネート論	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1	
手話入門	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1	
防災と生活デザイン	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1	
自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1・2・3・4・5・6前		2		○			1		1				兼1
	数学	1前	2			○									兼1
	物理学	1前	2			○									兼1
	化学	1前	2			○									兼1
	生物学	1前	2			○			1						兼1
	データリテラシー	1前	1				○								兼1
	医療データサイエンスI（DS基礎）	2・3・4・5・6前		1			○			1					兼1
	医療データサイエンスII（AI基礎）	2・3・4・5・6後		1			○			1					兼1
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1後	1				○								兼1
医学/医療史	1・2・3・4・5・6前		2		○									兼1	
人間工学	1・2・3・4・5・6後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1前	1				○								兼1	
	郷土論	1・2・3・4・5・6前		1			○								兼1	
	医療福祉教養講義	1・2・3・4・5・6後		1			○								兼1	
	メディカルマナー入門	1・2・3・4・5・6前		2			○								兼1	
	食と人間	1・2・3・4・5・6後		1			○								兼1	
総合 教育 科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1後	1				○			1					
		英語講読2 (Basic)	2前	1				○			1					
		英語CALL1 (Primary)	1前	1				○			1					
		英語CALL2 (Basic)	2後	1				○			1					
		英語講読3 (Intermediate)	2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		英語講読4 (Advanced)	2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		英語会話1 (Primary)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		英語会話2 (Basic)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		英語会話3 (Intermediate)	2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		英語会話4 (Advanced)	2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		英語ライティング1 (Primary)	1・2・3・4・5・6前		1				○			1				
		英語ライティング2 (Basic)	1・2・3・4・5・6後		1				○			1				
		国際医療通訳入門	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		資格英語1 (Primary)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		資格英語2 (Basic)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		基礎英文法1 (Primary)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		基礎英文法2 (Basic)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		上級英語文献講読	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		上級英語会話1 (発展)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		上級英語会話2 (総合)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		ドイツ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		中国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		中国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		韓国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		韓国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		フランス語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		フランス語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		スペイン語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		スペイン語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
		タイ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1
		タイ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1
ベトナム語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1		
ベトナム語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1		
ビルマ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6前		1				○							兼1		
ビルマ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6後		1				○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	外国語系	日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1・2・3・4・5・6前	1				○							兼1
		日本語Ⅰ-B (記述)	1・2・3・4・5・6後	1				○							兼1
		日本語Ⅰ-C (読解)	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		日本語Ⅰ-D (会話)	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		日本語Ⅱ-B (記述)	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		日本語Ⅱ-C (読解)	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		日本語Ⅱ-D (会話)	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		日本語Ⅲ-B (記述)	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		日本語Ⅲ-C (読解)	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		日本語Ⅲ-D (会話)	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		医療福祉専門漢字	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
		医療福祉専門語彙	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1
保健体育系	健康科学理論	1・2・3・4・5・6前	1				○							兼1	
	健康科学実践	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1	
	小計 (104科目)	—	22	121	0		—		2	2	1	0	0	兼41	
専門教育科目	学部共通	救急医学	1・2・3・4・5・6後	1				○							兼1
		感染と免疫	1・2・3・4・5・6後	2				○							兼1
		リハビリテーション概論	1・2・3・4・5・6前	2					○						兼1
		関連職種連携論	2後	2					○						兼1
		ケアマネジメント論	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		ケースワーク論	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1
		医療管理学	1・2・3・4・5・6後	2					○						兼1
		保健医療福祉制度論	1・2・3・4・5・6後	2					○						兼1
		社会福祉学	1・2・3・4・5・6後	2					○						兼1
		臨床心理学概論	1後	2					○						兼1
		医療情報学概論	1・2・3・4・5・6後	2					○						兼1
		福祉支援工学概論	1・2・3・4・5・6後	2					○						兼1
		関連職種連携ワーク	3前	1						○		1			兼1
		関連職種連携実習	5前	1										○	兼1
	リスクマネジメント論	2・3・4・5・6前	2					○						兼1	
	電子カルテシステム入門	2後	1					○						兼1	
	エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	1・2・3・4・5・6前	1					○		1					
	レクリエーション概論	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1	
	医療関連法規Ⅰ (医薬品全般に関わる法律)	3前	1					○		1					
	医療関連法規Ⅱ (医薬品開発と薬害に関する法律の理解)	4前	1					○		1					
	災害保健学	1・2・3・4・5・6前	1					○						兼1	
	予防保健学	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1	
	国際医療保健学	1・2・3・4・5・6後	1					○						兼1	
	異文化体験実習	1・2・3・4・5・6後	1										○	兼1	
	薬学科	公衆衛生学Ⅰ (保健統計、疫学、制度)	2後	2					○		1				
		公衆衛生学Ⅱ (感染症と予防)	3後	1					○		1				
		薬学演習Ⅰ (物理・化学・生物：基礎)	2後	1						○	1				
薬学演習Ⅱ (物理・化学・生物：応用)		3前	1						○	1					
薬学演習Ⅲ (医療倫理・ヒューマニズム)		3後	1						○	1					
病原微生物学		2後	2					○		1					
コミュニケーション実習		2前	1							1	1	2			
基礎薬学実習		1後	1							1		2			
小計 (32科目)	—	17	27	0		—		7	1	1	3	0	兼16		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 科目	専門 科目	薬学概論	1前	2			○			1						
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6前	1			○			1						
		医療データサイエンス概論	4後	1			○				1					
		医療データサイエンス演習	6前	1				○			1		1			
		早期体験実習	1後	1					○		1		1	3		共同
		分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1後	2				○			1					
		分析化学Ⅱ（機器分析）	2前	2				○			1					
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3前	2				○				1				
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1後	2				○			1					
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2前	2				○			1					
		放射化学	2前	2				○			1					
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3後	1				○			1					
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6前	1				○			1					
		物理系薬学実習	2後	1						○	2		2			共同
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1後	2				○			1					
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2前	2				○			1					
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2後	2				○			1					
		生薬学	2前	2				○			1					
		天然物化学	2後	1				○			1					
		生物有機化学	3前	1				○			1					
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4前	1				○			1					
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6前	1				○			1					
		医薬品構造解析演習	2後	1					○		1		1			共同
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1						○	1		2			共同
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1						○	1	1	2			共同
		有機化学演習	1後		1				○		1	4	2			共同
		免疫学	3前	2				○			1					
		生化学Ⅰ（生体分子）	1後	2				○			1					
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2前	2				○			1					
		分子生物学	2前	2				○			1					
		細胞生物学	2後	1				○			1					
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1後	2				○			1					
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2前	2				○			1					
		分子生物学実習	3前	1						○	1			3		共同
		免疫微生物学実習	3後	1						○	1			3		共同
		基礎統計学	1後	1				○				1				
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2前	2				○			2					オムニバス
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2後	2				○			2					オムニバス
		薬理学Ⅰ（総論）	2前	1				○			1					
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2後	2				○			1					
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3前	2				○			1					
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3後	1				○			1					
		化学療法学	3前	2				○			1					
		がん薬物療法学	3後	2				○			1					
		ゲノム医療	3後	1				○			1					
臨床検査医学	4前	2				○								兼1		
OTC医薬品概論	3後	2				○			1							
漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2				○			1							
漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前		1			○			1							
医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3後	2				○			1							
医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4前	1				○				1						
医薬品安全性学	4後	2				○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4後	2			○			1							共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同 兼1
	薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4後	2			○			1							
	薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6前	1				○		1							
	フィジカルアセスメント実習	4前	1					○	1			2				
	生物系薬学実習	3後	1					○	1	1		2				
	物理薬剤学	3前	1				○		1							
	製剤設計とDDS	3後	2				○		1							
	薬物動態学	4前	2				○		1							
	臨床薬物動態学	4後	2				○		1							
	薬剤学実習	3前	1						2		1	1				
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2				○				1					
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2				○				1					
	環境衛生学	3前	2				○				1					
	衛生系薬学実習	3前	1						1	1		1				
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2				○		1							
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2				○		1							
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2				○				1					
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4後	1				○				1					
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4前	1						1	1	1	4				
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4前	1						1	1	1	4				
	医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	1						1	1	1	4				
	薬局実務実習	5・6通	10						1	1	1	4				
	病院実務実習	5・6通	10						1	1	1	4				
	卒業研究	5・6通	8						15	3						
	実務実習事前演習	4前	2						9	3	4	8				
	総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6前	1						15	3	4					
総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6後	1						15	3	4						
小計（79科目）		—	142	2	0	—	—	16	4	4	8	0	兼1			
合計（215科目）		—	181	150	0	—	—	16	4	4	8	0	兼56			
学位又は称号	学士（薬学）	学位又は学科の分野			薬学関係											
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
卒業要件191単位以上							1学年の学期区分		2期							
①総合教育科目 必修22単位 （人間系4単位、社会系5単位、自然・情報系8単位、総合系1単位、外国語系4単位）							1学期の授業期間		15週							
②専門基礎科目 必修17単位 ③専門科目 必修142単位							1時限の授業時間		90分							
④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位以上																

授 業 科 目 の 概 要				
(成田薬学部薬学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
総合 教育 科目	人間 系	文学論	いつの時代も文学は、世界を知り、世界と自分の関わりを考える一つの回路としてあった。この講義では文学の現在を「平成」のほぼ30年間を通して概観する。その手掛かりとして、80年をこえる歴史を持つ芥川賞の受賞作の数々を中心的な題材とする。新型コロナウイルスの感染拡大、自然災害の多発、社会格差の弊害、進む少子高齢化など変わりゆく社会の中で、作家たちは何と向かい合い、どんな作品を生み出してきたか。文学潮流を伝えるジャーナリズムの役割、平成以前の文学との連続と断絶も意識しつつ、文学作品を読む楽しみを共有する。	
		演劇論	日本の近代演劇は、西欧から輸入した作品を翻訳・上演することから始まり、「新劇」として定着したが、それを乗り越える新しい表現として60年代半ばにアングラ・小劇場運動が興った。この運動を源流として現在にまで続くこの半世紀の現代演劇史を、「運動」を牽引した演劇人たち、主要な舞台とそれを生んだ社会背景を考察しながらたどり直す。	
		心理学	心理学の研究対象は「心」であるが、その内容は非常に広範である。本講義では、心理学の基本的な知見を概説する。また、それらの知見を裏付ける検証手法も併せて紹介する。	
		哲学	自由や道徳そして政治といったテーマは、普段の生活において前面に出てくることは少ないのではないだろうか。しかしながら、人や社会との関わりの中で生きていく上で、これらのテーマが重要な位置を占めていることは間違いない。本講義では、これらの主題に関する古今の哲学者の理論を紹介・検討していくことを通して、社会・人間・自己について哲学的に思考する方法を学ぶ。	
		コミュニケーション概論	コミュニケーションは日々の生活の中で必要なものである。語源では、多くの人に共通のものとするいうニュアンスがある。何かを伝える行為や聴き方だけではなく、コミュニケーションを通して、「意味を共有する」という視点を理解し、円滑な対人関係を築く土台にしていくことを主題として講義を進める。	
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-	対人援助職としての技能以前に、社会人として求められるコミュニケーション能力を向上させ来ることを目的とする。患者・利用者・家族・協働する専門職と円滑な関係を築いていくために、相手の話をどのように聞き、会話を成り立たせていくか、その知識と技法を学び、身につけることを主題とする。	
		人間学	人間は「万物の霊長」と言われてきたが、本当にそうか。空前のグローバル化で地球はますます小さくなり、AIやバイオテクノロジーは、世界や私たちの暮らしを大きく変えつつある。科学や医学の驚くべき発展は、人間をどんな影響をもたらすのか。「ウイズ・コロナ」の時代、私たちはウイルスや細菌と共存し、自然と調和して生きることが可能なのか。世界の絵画などビジュアル素材も多用しながら、人間であること、人が生きていくことの意味をともに考える。	
		歴史学	本講義では、歴史を学ぶことの意味と方法について、いくつかのテーマに分けて取り上げる。「いい国(1192)作ろう鎌倉幕府」というように、個別具体的な事柄への言及は必要最小限に留めるため、皆さんが思い描いている「歴史学」とは、かなり異なっていると考えられる。	

総合教育科目	人間系	倫理学	医療に関わる仕事は、人と関わる仕事である。人と関わるということは、そこには「倫理」が絡んでいる。簡潔に述べるのであれば、「倫理」とは人が他人と生きていく際に守らねばならないルールのことである。そして、どのようなルールにしたがって生きているのかを知ることが、その人の「生き方」を知ることにつながる。本講義では、倫理学の基礎を通じて、「人間はどう生きるべきか」について様々な視点から考察する。講義の前半で倫理学の基本概念を扱い、後半で応用倫理学を、とりわけ「医療と倫理」の問題を中心に扱う。現代社会の事例を参考に様々な倫理的問題を考察する。	
		宗教学	宗教は人間の心に深い関わりを持ち、人々の生活様式や文化活動に大きな影響を与えてきた。医療も宗教の思想や精神性の影響を受けながら発展してきた。ホスピタル・ホスピスはキリスト教から生まれた言葉である。宗教は死生観にも大きな影響を与え、終末期医療や生殖補助医療などの医療倫理を考える上でも重要な課題である。本講義では、宗教とは何か、その歴史、現状を理解し、現在行われている医療と宗教の事例から医療従事者として患者のところに寄り添うということを皆さんと共に考えていく。	
		日本近現代史	戦後70年以上を経た現在もなお、歴史認識などを巡って日本と近隣諸国との間で軋轢が絶えないのはなぜなのか。本講義は、教養課程における歴史科目として、近現代という時期を対象に、日本社会の歩んできた過程を取り上げる。その際、特にアジアとの関係に注目しながら考えていく。	
		文化人類学	「文化」を手がかりに、人間の考え方、ものの見方、ふるまい方の多様性と、その根底にある普遍性を理解する。私たちが普段あたり前のこととして受けとめ、判断していることが、時を越え国を超えた人々にとっては異質に受け止められることもある。文化人類的な発想は、これからの激変する高齢社会を共に生きるためのよすがとなる。本講義は、医療福祉の専門職をめざす学生に対して、「異文化」として「医療・福祉」を問い直すことを求めている。文化人類学的な「ものの見方」を身につけることで、専門職の側の前提やイデオロギーに気づき、ケアを提供する側とケアを受ける側の人々の関係性を問い直すことができると期待している。	
		教育学	本授業では、教育に関する基本的な事柄や近年学校教育現場において関心が高まっていることについて取り上げる。そして、教育に関する理論および技法の獲得や近年の教育動向の理解を目指す。	
		教育方法論	○教師の使命と責務を自覚させ、教育活動の根幹をなす授業のあり方についての見識を深める。さらに教育方法のあり方について、近年の教育課題に関する問題を提起しながら、学生の考えを引き出し、論究する。また、学力の捉え方と教育方法の関係について考察する。 ○グループで、発達段階を考慮した授業案を作成し、発表する。	
		死生学-死を通して生を考える-	本講座では、ひとが生きる上で避けることが出来ない大きな課題である「死」について、「生きること」との対比を行うことで、より深く具体的に考える姿勢を獲得することを目標とする。特に、医療や福祉の様々な現場で遭遇する「生と死の課題」にプロフェッショナルとして、どのように立ち向かうのかという視点から、具体的な事象やテーマを取り上げて、具体的な行動につなげるための基盤形成を行うための知識とコミュニケーションスキルに焦点を当てる。	
	社会系	法学	内容的には日本国憲法が中心となる。憲法は、小・中学校における「公民」や高校における「政治経済」においても学んだテーマであり、取り組みやすい印象があるのではないだろうか。確かに、高校までに学習した種々の制度や人権に関する知識は、大学での憲法学習においても有用ではある。しかし、高校での憲法学習は、自衛隊のような政治的な事件に比重が置かれすぎている印象がある。そこで、本講義では「人権の花形」といわれる表現の自由や司法権・憲法訴訟に関する理論についても取り上げ、憲法に関する体系的な理解を深めることとする。	

総合教育科目	社会系	法と道徳・倫理	生命倫理に関する諸問題は、法と道徳・倫理のみならず、生命工学・医療技術、医療の実践、宗教・文化といった多くの問題が交錯する。新しい技術の開発は、直ちに、法律問題や倫理問題を引き起こすであろうし、法や倫理の解決策は、宗教や文化を無視して論じることはできないからである。本講では、可能な限り、これらを生野横断的に論じたい。その手始めに、まず、法とは何か、特に、正義とは何かについて、十分掘り下げて理解することを目指す。生命倫理に関する諸問題は、学生諸君の職業人としての生き方に直結することから、単に、今日の問題状況に関する様々な立場や考え方を客観的・並列的に理解するのみならず、自ら考え、論じることが求められている。そこで、本講の後半では、時間の許す限り、双方向的な講義にしたいと考えている。学生諸君の積極的な講義参加が期待されている。	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1) 我が国の置かれている社会・経済状況 2) 現在わが国で行われている種々の社会福祉政策と制度 3) 医療保険制度と医療供給体制 4) 高齢者医療と介護保険制度 5) 地域医療制度 6) 医療者の知っておくべき法律・法規 7) 薬事行政 8) 医療経済と医療データ管理などを学修することにより、医療系大学生としての必要な我が国の社会福祉・医療保障政策への理解を深め、将来、各専門分野で活躍するために必要な基礎的な知識と能力を高める。	
		経済の仕組み	私たちは日々商品やサービスを購入し、対価としてお金を支払っている。私たちは常に経済の一部であり、経済と無縁で生きることはできない。したがって、私たち一人一人が経済を理解し経済問題に関して自分の意見を持つのは当然のことである。しかしそのためには、一定水準の経済学の知識が必要である。本講義では、身近な出来事や実際の経済の動きを題材にしながら経済学の基本的な考え方を学び、身の回りで起きる事象や日本経済を取り巻く状況について、経済学の視点から分析し自分の意見を述べられるようになることを目指す。	
		経済の歴史	人類は、長い間飢えと疫病に苦しめられ、経済は生存水準ギリギリのところまで停滞していた。人類史上初めて一般市民が生存水準以上の経済状態を手に入れてから、まだ百数十年しか経っていない。どのような国々が真っ先に経済成長を遂げたのか。そして、なぜそれらの国々は他国に先駆けて経済発展を遂げることができたのか。本講義では、経済成長の理論をベースに歴史上の出来事を整理し、経済成長に必要な条件は何であるかを考える。	
		世界の経済	あなたが使っているスマホは、着ている服は、どこの国でつくられたものだろうか。第二次世界大戦後に時間をかけて構築された自由貿易体制は、世界の多くの人々の生活を便利で豊かなものにしてきた。しかし、私たちの生活の基盤を支えるこの自由貿易体制が、新型コロナやウクライナ情勢で大きく揺らいでいる。そもそも、なぜ自由貿易が目指され、どのように実現されてきたのか。これからの私たちの生活、そして世界のために、貿易はどうあるべきなのか。本科目では、経済学の理論と歴史的背景に基づき、これらの問いについて考えていく。	
		アジア諸国の経済・社会・文化	世界の成長センターとして存在感を増すアジアについて、経済、社会、文化の領域から検討する。とりわけ、日本とのかかわりが深い東アジア、および東南アジアに焦点を当てつつ、文化の基盤、経済の発展、社会問題の3部構成で地域理解を深める。	
		世界の中の和文化	世界を知るうえで、自分の国の文化や習慣、行事などを知ることはその第一歩である。本講義では、日本の衣・食・住や伝統的な文化（和文化）について、各分野でご活躍の方々をゲストスピーカーに招き、オムニバスでその文化や習慣について紹介する。ゲストスピーカーから直接「和文化」について学ぶことで、日本の「和のこころ」について考え、国際交流の基礎とすることを目的とする。	

総合教育科目	社会系	経営の仕組み	現代の私たちの生活は、企業をはじめとする様々な組織の経営活動によって支えられている。また、製品・サービスの受け手としてのみならず、就業など社会活動においても、私たちは様々な組織と関わりながら活動していくことになる。本講義では、これら様々な組織の「経営の仕組み」について、基礎的な内容を理解することを目的とする。履修者の多くが、これまで経営について詳しく学んだことがないということを前提に、身近な企業・組織の事例なども用いながら、できるだけ分かりやすく解説していく。15回の講義のうち、前半は経営全般を広く扱い、後半では主にマーケティングの視点から経営の仕組みについて考えていく。	
		組織運営管理論	私たちの社会には様々な形態の組織が存在し日々活動しているが、そもそもなぜ組織というものがあるのだろうか。また、組織の中ではいったいどのようなことが行われているのだろうか。本講義では、組織の活動を客観的・科学的に捉えるために必要となる基礎的な知識および視点を提供する。それらについて学ぶことで、組織の管理・運営能力を磨くだけでなく、自身のキャリア形成についても深く考えることができるようになるはずである。組織論あるいは組織行動論の専門的な概念も多く活用することになるが、組織や経営について初めて学ぶ履修者にも分かりやすいように、事例等を用いできるだけ丁寧にかみ砕いて説明していきたいと考えている。	
		社会学（人間と社会）	社会学は、人と人が交わる場所で生じるミクロな現象、格差や不平等といったマクロな現象等について考察を行う学問といえる。本講義では、アイデンティティや家族といった、私たちの生活に身近なトピックごとに、社会的なものの方や考え方を紹介していく。特に、人々のあいだのネットワーク、人々の生活を方向づけている制度・規範・ルール、そして、人々が自他や状況を認識して生活しているかといった観点から、世の中で起きていることを考えていく。	
		マスメディア論	現代社会は、多様なメディア（媒体）を通じて提供される情報にあふれている。この講座では、新聞などの文字媒体、テレビ・ラジオといった電波媒体、さらにはソーシャルメディアまでを俯瞰しつつ、マスメディアの発展と変遷を学ぶ。メディアの特性を理解することで、それぞれが自分にとって必要な情報を主体的に取り出す力（メディア・リテラシー）の獲得を目指す。	
		新聞でみた日本と世界	新聞という媒体上で日々提示されるジャーナリズムについて、その役割と特性、さらには限界や課題について理解した上で、自ら記事を読みこなし、活用する力（リテラシー）の獲得をめざす。大半の教材にはタイムリーな記事を指定する。記事で取り上げられた内外の問題について理解し、知見を広げることも求める。	
		国際関係論	国際関係論では、国家間の関係全般を取り扱う。国際政治と安全保障を主領域として、基礎理論の概説をはじめ、東アジアの現状を取り上げる。これにより、日本の置かれた国際環境に対する受講生の理解を促す。さらに、地球的課題である人権、民族、環境などの課題についても取り上げていく。	
		国際医療福祉論	世界の保健や医療福祉に関わる制度は国によって大きく異なる。本講義では、1) 国際的な医療福祉制度の歴史と経緯を基盤とした日本の医療福祉制度の変遷、2) 少子高齢化と財政負担の抑制という共通の政策課題をもつ先進諸国における高齢者介護制度の現状と課題、3) アジア諸国での医療福祉の現状を基にその問題点を明らかにし、我が国をはじめとする先進国の果たす役割、4) 保健医療の国際協力の現状と将来、について学ぶ。さらに、本講義により2年次以降の「海外保健福祉事情」に継ぐ知識を獲得することに主眼を置く。	
		海外保健福祉事情I(講義)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際保健、旅行医学、異文化理解の基本を学ぶ。 ・ 現在の国際情勢と渡航対象国の概要、特徴を学ぶ。 ・ グローバルに通用するマナー、渡航時の注意事項を学ぶ。 	

総合 教育 科目	社会系	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問国の文化、歴史、地理、医療福祉事情を学ぶ。 ・現地スタッフの指導、施設訪問、文化交流を通じ、各国の現状と関連する社会的・文化的背景を学ぶ。 ・日本と訪問国の医療事情を比較し、レポートや報告書にまとめる。 	
		ボランティア論	21世紀はボランティアの時代といわれるように、近年、ボランティアに対する関心が急速に高まっており、様々な分野、様々な場面で実践が広がっている。本科目では、ボランティアの理念及び沿革、ボランティア推進施策の現状等を講義によって理解するとともに、ボランティア活動の実際を様々な事例から学び、ボランティアの現状と課題、今後の展開の可能性等について体系的に学習する。	
		ボランティアコーディネーター論	ボランティア活動は、医療・福祉分野をはじめ、環境分野、教育分野、災害支援分野など、多様な分野でその意義が高まっている。そのような中、ボランティア活動をより効果的なものにするための方法として、ボランティアコーディネーターが注目されている。人々の主体的な活動を引出し、社会のニーズに適切に結び付け、ボランティアの力を最大化させるボランティアコーディネーターの理論と手法について、演習、実践などを通して学ぶことが本講義の目的である。	
		手話入門	本講義では、聴覚障がいを医学的、社会的、心理的、文化的側面から掘り下げ理解を深める。そして手話を中心に、読唇、筆談、補聴器、触手話、指点字など様々なコミュニケーション手段を体験する。	
		防災と生活デザイン	我が国は、世界でも1・2を争うほど自然災害の危険の高い国であるが、人々の生活や生産機能の集中している都市で災害が発生すると、その被害は「都市災害」となり、構造的な防災対策では被害を抑えられず、個人の日常生活での防災努力や地域社会の組織的対応力がより重要となる。講義ではまず、我が国がいかに自然災害の危険が高い国であるかを、災害発生の仕組みとともに示し、そのために、過去から現在に至るまでどのような防災の努力が積み重ねられてきたかを概観する。次に、都市という居住形態が生み出す「都市災害」の様相とその特性を解説し、構造的対策の限界と人間・社会システムの強化による減災の重要性を明らかにする。またそのために不可欠となる、自助・共助・公助の役割分担について、近年の災害事例を踏まえて解説する。	
自然・ 情報系	疫学・保健医療統計学	疫学・保健医療統計学は、特定の間人集団において出現する健康関連の様々な事象の頻度と分布およびそれらに影響を与える要因を明らかにして、健康関連の諸問題に対する有効な対策樹立に役立てるための学問である。医療福祉関連職にとって必須であることから、その基本的事項について体系的に学習する。		
	数学	本講義では、医療・福祉の専門科目を学ぶのに必要な基礎的な数学知識を学ぶ。講義では最初に、多項式や三角関数、指数・対数関数等の初等関数を学び、その性質を理解し、活用できるようになることを目指す。その後、それら初等関数の微分や積分について学び、その意味や性質を理解し、しっかりと活用できるようにする。最後に「風向き」等に代表される、大きさと向きをもった量であるベクトルについて学ぶ。		
	物理学	医療機器やそれらを扱う医療現場で経験する様々な物理現象を理解するために、1)運動の法則、運動量と力積、力学的エネルギー保存の法則、2)熱、温度、熱力学の法則、3)波、音、光の性質、4)電磁気学の基本法則、5)量子論と放射線の基礎、を学修する。		
	化学	薬学を学ぶために必要な化学の基礎的知識(物質の構成、物質の変化と平衡、有機・無機化合物など)を修得する。多くの医薬品が含まれる有機化合物について、その構造、物性および反応性を理解するために必要な基礎的知識(電子配置、化学結合、混成軌道、共鳴理論など)を修得する。		

総合教育科目	自然・情報系	生物学	医療関連の専門科目を学ぶ上で必要な生物学の基礎知識と考え方を習得し、ヒトを含めた生物に対する理解を深めることを目的とする。そのため、生命の基本単位である細胞の構造と機能、生命現象を支えるエネルギーの獲得と利用、遺伝情報を次世代に伝えるしくみ、多細胞生物の成り立ち、生物の情報伝達のしくみについて理解し生物学の基礎を学ぶ。	
		データリテラシー	本講義では、数理・データサイエンス・AI（人工知能）への関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。このために、「社会におけるデータ・AI 利活用」（導入：社会で起きている変化/データ・AI 利活用の最新動向）および「データリテラシー」（基礎：データを読む/データを説明する/データを扱う）の二分野について、演習を通じて実践的に学習していく。「データを読む」では文章作成、「データを説明する」「データを扱う」では表計算の演習も同時に行う。	
		医療データサイエンス I (DS基礎)	本講義では、「データリテラシー」で学習した内容を深化させることを目的とし、「データ駆動型社会とデータサイエンス」「分析設計」「データ観察・分析・可視化」「ビッグデータとデータエンジニアリング」および「データ表現・収集・加工」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習する。あわせて、これらの学習内容の基盤である「数学基礎」「アルゴリズム」および「プログラミング基礎」についても、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療データサイエンス II (AI基礎)	本講義では、「データリテラシー」や「医療データサイエンスI」の学習内容を踏まえて、AI（人工知能）の基礎について、「歴史と応用分野」「AI と社会」「機械学習の基礎と展望」「深層学習の基礎と展望」「認識」「予測・判断」「言語・知識」「身体・運動」および「AI の構築と運用」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1) 疾病への様々な基本的な医学的・保健学的アプローチ 2) 倫理の基本となる規範 3) 医の倫理・生命倫理をめぐる様々な規制や問題 4) 医療プロフェッショナリズム 5) 医療安全・医薬品安全 6) 医療事故・介護事故の事例とその法律解釈などを学修できる授業を提供する。さらに医療情報に関する今日的・基本的な知識と扱い方を学習することにより、医療系学生として、将来、各専門分野で活躍するために必要な医療情報リテラシー、および医療データリテラシーに関する能力を高める。	
		医学/医療史	医療は医学の社会的適用とされているように、医学と医療は表裏一体のものである。その医療と医学の起源から今日までの歴史を、社会的・文化的な考察を交えながら、先人たちのあとをたどることを目的とする。	
		人間工学	人間工学とは人間を取り囲むさまざまなものについて、人間が「快適に」かつ「効率的に」使えるようにすることを目的とした学問である。本講義では、人間の特性や人間工学の基礎を学んだあと、具体的な医療福祉に関わる機器やサービスの設計演習を通してその応用について学ぶ。そして最終的に完成した設計案を外部の設計コンテストへ応募することを目指す。	
		総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	新入生を対象に1) 本学建学の精神と教育理念・ポリシー 2) 学習地域の特性の理解と社会的貢献 3) 大学の意義と自主的な学びの必要性とその方略 4) 大学生活上の注意点 5) 社会人としてのマナーや医療人としてのコミュニケーション能力の向上 6) 関連医療職種の理解とチーム医療の必要性などを学ぶことにより、医療系大学生としての基礎的な能力を高め、より良い医療人・社会人として成長するために必要な素養を涵養する。

総合 教育 科目	総合系	郷土論	本講義では、毎回オムニバス形式で異なる分野の専門家や第一人者を招致し、それぞれの分野での知見や考察を存分に語って頂く形式をとる。共通するテーマは、成田市周辺をはじめキャンパス所在の千葉県を受講生が時間と空間を共有する「郷土」と位置づけ、その歴史・文化など人文的な背景に焦点を当てて、大学生生活の基盤を構成する地域への理解を深めることを最終的な目的とする。	
		医療福祉教養講義	医療福祉の道を志す学生に必要な基礎的素養として、(1) 社会の発展の歴史に即して医療・福祉の発達との関連を学ぶ。(2) 医療・福祉に関連する国際的な基準を学び、その決定過程の概要を知る。(3) 医療人口の変動を巡る諸問題を探り、医療・福祉の世界との関わりを考える。また、有限な資源についての現状や、利害の調整などについて理解する。(4) 医療・福祉に関連した芸術作品を鑑賞し、医療・福祉に対する様々な見方を知る。	
		メディカルマナー入門	医療機関における基本的な接遇に加え、さらに患者様に好印象を与える対応とクレームの対応を学習していく。	
		食と人間	日本人の健康に資する栄養・食生活のあり方について関連法規・指針等について学ぶ。また、ライフステージにそった栄養・食生活のあり方や関連する社会制度・指針等を学ぶ。毎回、グループワークや実習を含む。	
	外国語系	英語講読1 (Primary)	英文テキストを日本語に訳すのではなく英語のまま理解するための技能を習得する。内容理解を深めるために医療用語を中心とした語彙や高度な文法知識を学習する。	
		英語講読2 (Basic)	英文テキストを日本語に訳すのではなく英語のまま理解するための技能を習得する。内容理解を深めるために医療用語を中心とした語彙や高度な文法知識を学習する。	
		英語CALL1 (Primary)	医療福祉の現場で用いられる会話を中心に使用頻度の高い医療用語や表現を学習する。内容理解に加えて聞く・話す中心の技能を身につける。視聴覚教材を用いて、リスニング力の強化を図る。	
		英語CALL2 (Basic)	医療福祉の現場で用いられる会話を中心に使用頻度の高い医療用語や表現を学習する。内容理解に加えて聞く・話す中心の技能を身につける。視聴覚教材を用いて、リスニング力の強化をは図る。	
		英語講読3 (Intermediate)	This course will focus on actively developing the skills to be a better, more efficient reader of a variety of English sources; particular emphasis will be placed on vocabulary and general text comprehension. より能率的に多様な英語文献を読み解く技能を能動的に磨くことに焦点を当て、特に語彙力と読解力全般に重点を置いて強化する。	

総合教育科目	外国語系	英語講読 4 (Advanced)	<p>This course will focus on actively developing the skills to be a better, more efficient reader of a variety of English sources; particular emphasis will be placed on academic vocabulary and advanced text comprehension. The Intermediate English Reading II course will cover a higher level of English reading skills, with more complex, academic details emphasized, as well as deeper degrees of technical vocabulary study, in each prescribed unit of the textbook.</p> <p>より能率的に多様な英語文献を読み解く技能を能動的に磨くことに焦点を当て、特に学術的な語彙力と高度な読解力に重点を置いて強化する。英語講読 4 では指定した課題図書を用い、より高度な英語読解力を磨き、より複雑で学術的なディテールを重視すると同時に専門用語の語彙力を強化する。</p>	
		英語会話 1 (Primary)	<p>In this course, students will practice making conversations and communicating in English based on models provided in a textbook that focuses on situations around a hospital or clinic.</p> <p>英語で会話し、コミュニケーションをとる練習を、テキストに描写される、病院・診療所に関連するシチュエーションに焦点を当てた場面をモデルとして行う。</p>	
		英語会話 2 (Basic)	<p>In this course, students will practice making conversations and communicating in English based on models provided in a textbook that focuses on situations around a hospital or clinic.</p> <p>英語で会話し、コミュニケーションをとる練習を、テキストに描写される、病院・診療所に関連するシチュエーションに焦点を当てた場面をモデルとして行う。</p>	
		英語会話 3 (Intermediate)	<p>Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の B2 レベルである「社会生活での幅広い話題について英語で自然に会話ができて、明確かつ詳細に自分の意見を英語で表現できる」というスキルを身につける。この B2 レベルのスキルを身につけるにあたり、8 つのコースでそれぞれ設定されたトピックを学修する。</p>	
		英語会話 4 (Advanced)	<p>Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の B2 レベルである「社会生活での幅広い話題について英語で自然に会話ができて、明確かつ詳細に自分の意見を英語で表現できる」というスキルを身につける。この B2 レベルのスキルを身につけるにあたり、8 つのコースでそれぞれ設定されたトピックを学修する。</p>	
		英語ライティング 1 (Primary)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本のライティングスキルを向上させるための訓練を行う。 2. 自分の書いた文章を授業内で共有、プレゼンテーションすることにより、自信をつける。 	
		英語ライティング 2 (Basic)	<ol style="list-style-type: none"> 1. パラグラフ・ライティングについて学習する。 2. ライティングプロセスとプレゼンテーションを通して、論理的に思考し、説明する力をつける。 	
		国際医療通訳入門	<p>現在、日本において外国籍を持ちながら定住する人が増加し続けている。それにより、外国人が受ける保健医療の状況については、欠くことができない重要な問題である。保健医療機関が日本語のできない外国人に対して、日本人と同等水準の保健医療を提供するためには、保健医療に関する内容について、個々の外国人にあった言語で十分なコミュニケーションをとる必要がある。本科目では、日本に暮らす外国人が抱える医療問題、外国人との医療に関するコミュニケーションの取り方、医療通訳者の存在と役割などを理解し、人々の健康問題を解決するために、必要に応じて連携がとれるような基礎知識について学ぶ。</p>	

総合教育科目	外国語系	資格英語 1 (Primary)	Test of English for International Communication (TOEIC) 公開テストまたは TOEICIP で高いスコアを取得するのに必要な能力を身につけることを目的として、受験対策を行う。	
		資格英語 2 (Basic)	Test of English for International Communication (TOEIC) 公開テストまたは TOEICIP で高いスコアを取得するのに必要な能力を身につけることを目的として、受験対策を行う。	
		基礎英文法 1 (Primary)	文法に苦手という印象を持つ人も多いが、スポーツにルールがあるように英語を発信するのにも言葉をつなげていくルールがある。まずは基本ルールを身につけて実践する。さらに、実用的な英語を扱った問題演習を通して英語の組み立て方を学ぶ。本講義は、難しい抽象的な規則ばかりを扱うのではなく、実用的表現に即してコミュニケーションを目的とした英語の発信力を身につけることを目的としているため、話す、聞くといった相互のやり取りを大切に展開する。	
		基礎英文法 2 (Basic)	この授業では、これまで学んだ英語の基本知識をさらに発展させる。実際のコミュニケーションで利用される言葉の文意をよく考え、それが文法の基本ルールに従ってどのように表現されているかを学び、英語を使って正しく意味が伝わるよう練習を繰り返す。異なる文化・価値観が言語の中にどのように反映されているかを様々な英語表現を通して学び、異文化理解への意識を高めることを目指す。扱う文法構造は少し発展したものととなるが、授業では、話す、聞くといった相互のやり取りをさらに強化して展開する。	
		上級英語文献講読	学術的な語彙の習得と、能動的な読解力の醸成を目的として、医療に関連する分野の文章を購読する。	
		上級英語会話 1 (発展)	Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の B2 レベルである「社会生活での幅広い話題について英語で自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を英語で表現できる」というスキルを身につける。この B2 レベルのスキルを身につけるにあたり、8つのコースでそれぞれ設定されたトピックを学修する。	
		上級英語会話 2 (総合)	Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の B2 レベルである「社会生活での幅広い話題について英語で自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を英語で表現できる」というスキルを身につける。この B2 レベルのスキルを身につけるにあたり、8つのコースでそれぞれ設定されたトピックを学修する。	
		ドイツ語入門 (会話含む)	日常的な場面でのドイツ語会話をもとに、ドイツ語初級レベルの「聞く・話す・読む・書く」の四技能の習得を目指す。授業では、文法の基礎を学びながら、ペアワークも取り入れ会話練習することで、ドイツ語の発音も学ぶ。ドイツ語の発音は規則通りに読めるものが多いため、声に出して、楽しみながら学ぶ。	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	前期・ドイツ語入門の続きとして、日常的な場面でのドイツ語会話をもとに、初級レベルのドイツ語の「聞く・話す・読む・書く」の四技能習得を目指す。授業ではさらに文法の基礎を学びながら、実際のコミュニケーションに使えるように会話練習も行う。ドイツ語の学修を通じて、ドイツ語圏の文化に関する知識や関心が広がることに期待する。	
		中国語入門 (会話含む)	中国語の使用人口は約14億人と世界人口のほぼ 20%を占めるに至り、世界で最も話者の多い言語である。本学では、「国際性」の理念をより一層深めるために、前期では「中国語入門」、後期では「中国語基礎 (応用)」を学び、中国語について「説/聴/読/写」の四技能の習得を目指す。講義形態としては、担当教員による文法説明および発音・会話練習する。テキストに即して中国大陸で制定された標準中国語である「普通話」(簡体字の使用、ピンインによる発音標記を含む)を学ぶが、台湾で使用される「華語 (國語)」との違いや留意点についても随時指導し、中国大陸、台湾のいずれで海外保健福祉事情の実習に参加しても有益となるよう配慮する。	

総合教育科目	外国語系	中国語基礎（会話含む）	前期に続き、世界最大の話者人口を擁する現代中国語を学ぶ。「中国語入門」で習得した基礎発音、初歩的な構文の基礎のうえにやや複雑な構文を交え、実践に一步近づく中国語力を目指す。中国語独特の音韻に習熟するため、「中国語応用」では中学高校で学んだ唐詩などの韻文も教材に取り入れる。	
		韓国語入門（会話含む）	はじめて韓国語を学ぶ学生を対象とする。ハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介について覚える。ペアワークで会話の練習や発表する内容が含まれる。	
		韓国語基礎（会話含む）	前期「韓国語入門」履修者を主な対象として、簡単な会話文に基づき、語彙や基礎的な文法を中心に練習する。会話の練習を通して家族紹介や私の一日、観光スポットについて覚える。ペアワークで会話の発表をする内容が含まれる。	
		フランス語入門（会話含む）	フランス語のアルファベから始め、発音・文法・動詞の活用の初歩の学習を中心に、フランス語で簡単な日常会話、旅行会話がある程度できるようにすることを旨とする。	
		フランス語基礎（会話含む）	名詞・冠詞・形容詞の性差の復習から始まり、avoir や etre などの不規則動詞、第一・第二群規則動詞の活用を習得する。覚えた範囲内で聞き取りと発話練習を繰り返す。平易な日常会話は聞いて分かり、ある程度要望する事項を口に出せるようにする。	
		スペイン語入門（会話含む）	「読む・書く・聞く・話す」の四技能のうち「聞く・話す」能力養成の入門クラス。ダイアログを中心に日常会話の基礎を学び、聞く・話すなど使える言語の習得に努める。文法説明ののち練習問題、重要表現の反復練習、簡単な作文を行う。	
		スペイン語基礎（会話含む）	これまで学習してきたスペイン語の知識を使って会話力と理解力、リスニング力を伸ばすためのクラスである。更に、スペイン語を通じて、スペイン語圏の文化について知識を深めるクラスでもある。毎回、文法事項の応用力をつけるために、ペアを組み練習を繰り返し、会話を進めながら新しい単語を学ぶ。	
		タイ語入門（会話含む）	タイ語では日本語にはない発音の要素（子音、母音、声調など）が重要な役割を担っているため、まずはタイ語の発音に慣れる。聴解と発音を重視する授業内容であるため、最初からタイ文字ではなく、発音記号を使用。タイ語の音を聞き分け、そして発音出来るようになったら、挨拶や簡単な会話など、タイ人との距離を縮めていくための基礎的な定型表現を学習し、タイ文字の基礎も少しずつ学習する。	
		タイ語基礎（会話含む）	自分の意見や気持ちを表す表現の他、様々な疑問文とそれらに対する答え方など、より幅広い内容でタイ人との双方向コミュニケーションが可能となるような表現を学習する。買い物や道案内、レストランなどにおける会話シーンを通して、多様な表現を学習するとともに、語彙力も身に付けいくことで、表現の応用力を養う。「タイ語入門」と同じく、聴解と発音に重きを置きつつも、タイ文字の学習も行い、読解力と作文力の基礎を身に付けることも目指す。	
ベトナム語入門（会話含む）	はじめに文字の歴史的背景について概説する。ローマ字化された表記法クオック・グーに基づき、ベトナム語の音節（文字と発音）の構成を理解して発音と6種類の声調に慣れるまで練習を繰り返して、綴り方を習得する。基本的な文法事項を解説し、短く覚えやすい例文で会話練習を行うとともに、旅行などで渡航した際はどんなことに気を付けるべきかという注意点などについても学ぶ。			

総合 教育 科目	外国 語系	ベトナム語基礎（会話含む）	「入門」で学習したローマ字化された表記法クオック・グーに基づき、6種類の声調をより自然に発音できるように練習を繰り返し、受身文を含む基本的な文法事項の理解に基づき、より応用的で実践的な会話表現を用いて会話練習を行う。さらに、旅行などで渡航した際はどんなことに気を付けるべきかという注意点などについても学ぶ。	
		ビルマ語入門（会話含む）	本講義は初心者を対象とし、あいさつや日常会話、定型的な会話などの学習を通じて、口語ビルマ語の基礎を学ぶ。ビルマ語には、日本語にない発音もあるため、発音と聞き取りの練習を繰り返し行う。文法事項については簡単な説明にとどめる。ビルマ文字の学習も取り上げ、ビルマ数字などが使えるようになることを目指す。またミャンマーの習慣や文化についての解説も併せて行い、ミャンマーについての理解を深める。	
		ビルマ語基礎（会話含む）	本講義はビルマ語入門の既修者を対象とし、様々な口語表現の学習を通じてビルマ語で発信する能力を身につけることを目指す。具体的には、文章を正しく組み立てることのできる能力を身につけるとともに、ビルマ文字の運用能力を高め、簡単な文章を読んだり書いたりできることを目指す。また、ミャンマーの社会や歴史についての解説も併せて行い、ミャンマーについての理解を一層深める。	
		日本語Ⅰ-A（文法・表現）	日本で円滑な大学生活を送るための基礎的知識、およびマナーについて学ぶ。また、専門科目を学ぶ上で必要不可欠であるアカデミックスキル（ライティングおよびプレゼンテーション）の基礎を習得する。	
		日本語Ⅰ-B（記述）	本講義では、専門科目を学ぶ上で必要不可欠なアカデミックライティングスキルの強化をはかる。毎回ごとにアカデミックライティングの基礎知識について学んだ後、ライティングの実践を行う。その後、修正活動を行うことで、アカデミック・ライティング力の向上を目指す。	
		日本語Ⅰ-C（読解）	医療福祉系 の話題を扱った新聞記事や論文などを読むために、基礎的な読解技術を身につける。読解で得られた情報を踏まえた発表や作文も行い、自分で考え、意見を述べたり、まとめたりすることも目指す。文章に用いられている漢字や語彙などについても確認し、必要なものについては、その用法などについても知識を深める。	
		日本語Ⅰ-D（会話）	大学生活を行う上で不可欠な日本語会話力の強化を行う。各回のトピックについて、ペア/グループで話し合う。また、円滑なコミュニケーションをはかるための発音練習を行う。	
		日本語Ⅱ-A（文法・表現）	レポートを書くために必要な文章の読解力、表現力を学ぶ。医療に関するテーマでさまざまな資料を読み進め、理解を深め、レポートを作成する。レポートに必要な表現技術と構成的力のある文章の書き方を習得し、文章読解の各テーマについて、論理的に考える力を修得することを目標とする。文章読解では、インフォームド・コンセント、代理出産、安楽死と尊厳死、脳死と臓器移植、遺伝子医療、iPS細胞、再生医療、少子化、医療ミス、予防医療、医療をとりまく環境などを扱う。	
		日本語Ⅱ-B（記述）	本講義では、専門科目を学ぶ上で必要不可欠なアカデミックライティングスキルの強化を図る。毎回ごとにアカデミックライティングの基礎知識について学んだ後、ライティングの実践を行う。その後、修正活動を行うことで、アカデミック・ライティング力の向上を目指す。	
		日本語Ⅱ-C（読解）	専門科目の講義を理解するために必要な語彙を学修し、それに関連する新聞記事や論文などを読む。毎回、復習のための小テストなどを行う。専門の講義を受けるために必要な語彙を習得し、専門科目で用いられる様々な文章がスムーズに理解できるようになることを目標とする。	

総合教育科目	外国語系	日本語Ⅱ-D (会話)	大学生活を行う上で不可欠な日本語会話力の強化を行う。各回のトピックについて、ペア/グループで話し合う。また、円滑なコミュニケーションをはかるための発音練習を行う。	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	医療専門職を目指す学生は、在学中、卒業後問わず書くことが求められる。本講義では、日本語が上級レベルの全学生に知っておいて欲しい書くための文法を学習する。また、学んだ文法を使ってまとまった文章を毎回作成し、実践力をつけていく。5月以降は、医療の漢字のうち特に読むのが難しいものについて、特に学習する機会も設ける。	
		日本語Ⅲ-B (記述)	本講義では、専門科目を学ぶ上で必要不可欠なアカデミックライティングスキルの強化をはかる。毎回ごとにアカデミックライティングの基礎知識について学んだ後、ライティングの実践を行う。その後、修正活動を行うことで、アカデミック・ライティング力の向上を目指す。	
		日本語Ⅲ-C (読解)	上級学習にふさわしい語彙や表現を習得し、新聞雑誌記事を読み、ひとつのテーマに関して複数の記事を比較し、内容理解を深める。またテーマに基づいた論理的な文章を書く練習をする。①語彙力を身につけること、②論理的な文章を書くことができるようになること、③専門分野の論文を読み理解することができるようになること、を目標とする。	
		日本語Ⅲ-D (会話)	大学生活を行う上で不可欠な日本語会話力の強化を行う。各回のトピックについて、ペア/グループで話し合う。また、円滑なコミュニケーションをはかるための発音練習を行う。	
		医療福祉専門漢字	解剖学、公衆衛生学、生理学等の専門用語に使われる漢字の中で、読み書きの難しい約300字について学習する。漢字のレベルは日本語能力試験1級以上の漢字約229字を含む。	
		医療福祉専門語彙	医療従事者の国家試験過去問題を使用し、専門領域の語彙に関する日本語面からの支援を実施する。 1. 出現頻度順の学習：国家試験における出現頻度を調査し、多く使われる用語から学習する。 2. 語彙の難易順の学習：語彙に対するなじみの程度をもとに難易度別に用語を学習する。	
保健体育系	健康科学理論	人々の健康や医療に対する価値観は、人口動態や社会変動、医療のイノベーションなどによって大きく変化しつつある。将来の医療を支える使命をもつ若者たちは、まず自らの健康を管理する能力を持ち、そして他者の健康と命を守る必要がある。本講義では、運動が及ぼす身体への影響について理解するとともに、ストレスマネジメントや生活習慣病予防のための健康習慣に関する知識を深め、これを実践する態度を育成する。		
	健康科学実践	フィットネスプログラムのよさを認識すると共に、実際に体を動かすことでそのよさを実感していく。運動種目は、フィットネスプログラム、ネット型ゲームとし、その基本的な技術を習得する。更に、集団競技としての戦術を学修し、自らの創造性と工夫を協調させながら競技が行える能力を身に着ける。また、準備運動、ストレッチ、フィットネスプログラムなどを実践することを通して、安全面や健康面を考慮した運動実践に関する理解を深めるようにする。経験者のみならず未経験者の履修を推奨すると共に、集団スポーツにおける目標達成の成果を体感していく。		

専門基礎科目 / 学部共通 専門教育科目	救急医学	救急は医の原点である。医療に関係する職種を業とする者は、チーム医療である救急医療に参画できる技量を有していなければならない。また、重篤救急患者では現場でのバイスタンダーの初期対応が予後を左右する。本講義では、各学科の職域専門性もふまえ、救急医療（とくに初期対応）の実際を、その基本をなす理論（救急医学）からわかりやすく解説する。救急医療の現場からの症例紹介や救急に関連する時事情報も随時組み込む。	
	感染と免疫	本講義では、感染症の疫学、原因と発症機序、病態、生体防御系、診断、予防対策、治療について学ぶ。また、臓器別感染症、感染症治療のための化学療法の基本と薬剤耐性菌、新興・再興感染症および医療関連感染の防止の重要性とその対策に携わる医療従事者の一員として果たすべき役割について学ぶ。次いで、感染症と密室な関係がある免疫学の基礎、自然免疫、適応免疫および多様性の獲得と免疫寛容などを学び、実践へとつなげられる知識の獲得を目標とする。	
	リハビリテーション概論	リハビリテーションとはなにか。その理念と成り立ちを教授します。リハビリテーションは、ひととしての当然の権利をいかに守るか、自立の真の意味を考えることに繋がる。そして、障害とはなにか、障害のある人のリハビリテーションとはなにか、このことを考えることは、保健医療福祉の専門職を目指すAHP (Allied Health Professionals) 学生の皆さんの教養教育の一環として重要な位置づけにある。常に深化するリハビリテーションについて考える。	
	関連職種連携論	保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあつて、その現場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められている。全人的支援を行うには、関連職種連携が不可欠であり、それを行えるようになるためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要である。本講義では、保健・医療・福祉に携わる職種への理解を深めると共に、職種間連携のあり方について学ぶ。	
	ケアマネジメント論	ケアマネジメントの歴史、目的、特性、展開方法の基礎を理解する。ケアマネジメントでは対象者を「患者」ではなく「生活者」として捉える。ケアマネジメントの手法に則り、対象者のこれまでの生活史や価値観を尊重し、今後望む生活や人生を実現するための具体的な方策や多職種連携の方法について学ぶ。	
	ケースワーク論	社会福祉の実践活動に必要な不可欠な方法・技術であるケースワークについて、理解する。ケースワークは、ソーシャルワークの最も基本となる個別援助技術であることから、ソーシャルワークの理念について理解するとともに、ケースワークの対象者と方法について理解する。	
	医療管理学	本講義の前半部分では、我が国の医療システムや病院経営に大きな影響を与える医療保障制度の概要について解説する。一方、後半部分では、病院の人事労務管理の基本となる労働関係法規について解説するとともに、近年の医療現場における労務管理をめぐる問題点や対応策等について検討していく。	
	保健医療福祉制度論	わが国の保健医療福祉関連の諸制度を概観し、医療福祉分野の専門職として必要な基礎知識を学ぶ。最新のニュースを素材に、アップデート(今日的)な問題についても理解を深める。	
	社会福祉学	保健・医療専門職に必要とされる「社会福祉学」の基礎を修得する。具体的には、①社会保障・社会福祉の制度体系を把握する。②社会保障・社会福祉の給付・サービスの内容と対象者を理解する。③今日の社会福祉の動向と課題を理解する。	
臨床心理学概論	臨床心理学は、心の健康や対人援助に関する学問である。臨床心理学の成り立ち、援助対象となる個人や集団、アセスメントおよび援助理論・技法について学ぶ。本講義を通して、医療福祉専門職に従事する際に協働する臨床心理士の活動分野や活動内容を具体的にイメージし、自身の専門分野に活かすためのヒントを得る機会とする。		

専門 教育科目	専門 基礎 科目 / 学部 共通	医療情報学概論	コンピュータの基礎や技術の習得に加え、医療に用いられる IT 技術を理解し活用できることを目的とする。コンピュータリテラシーからソフトウェア・ハードウェアまで医療機器に応用されているテクノロジーや、実際の医療機器に用いられているシステムについて理解を深め、医療従事者の一人として、工学的センスをもって臨床で IT 技術を活用できる力を養う。	
		福祉支援工学概論	福祉支援工学概論では福祉用具を利用する対象者、関連する制度、代表的な福祉用具について学ぶ。また、義肢装具や車いす、介護用ベッド、介護ロボットなどのさまざまな福祉用具についても授業内で紹介し福祉用具に関して幅広く学習する。講義ではいずれも基礎的な知識や技術についての説明や紹介となるが、福祉用具に関する知識は職種や対象者の病期、領域を問わず必要であるという前提のもと、幅広い知識や技術について学ぶ。	
		関連職種連携ワーク	保健・医療・福祉に携わる職種の専門性と関連性、チーム医療・チームケアの理念と実践方法を理解し、各職種が連携して課題を解決し、患者・利用者中心の専門的サービスを提供する技能を修得する。	
		関連職種連携実習	それぞれ異なる専門職を目指す各学科学生が同一の実習現場において、対象者・家族中心のサービス提供の体験を通して、チーム医療・チームケアを学ぶ。対象者・家族の方々および実習施設指導者等の協力のもと、実習が展開される。具体的には全学科の学生がチームを形成し、1名の対象者・家族についてアセスメントおよびサービス計画立案を行い、ケースカンファレンスにおいてその内容を討議する。併せて、各職種の職務見学および実習指導者のもとでの実践を行う。医療福祉の総合大学である本学の教育環境を生かした実習であり、協働して実習を行うことで、職場で実際に役立つ幅広い知識・技術等が習得できる。	
		リスクマネジメント論	本講義では、医療従事者が必要なリスクマネジメントについての動向と課題、ヘルスケア環境における医療の質・安全確保の基礎知識について学ぶ。また、分野別ケーススタディーを取り上げ、その原因と再発防止策、解決方法を理解する。	
		電子カルテシステム入門	本学に構築された仮想病院の電子カルテシステムを使って、チーム医療で重要な職種間の情報共有を実際に体験する。電子カルテシステムの仕組みや諸機能を理解するとともに、診療情報の電子化の利点、個人情報保護、情報セキュリティ、標準化など、医療分野のICT化の進展に伴いさらに重要となってきた事項についても学ぶ。	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	学習や研究を進める基本となる学術情報の現況を理解する。文献データベース検索による先行知識の理解と活用方法を学ぶ。論文の読み方、書き方を演習を通して理解する。エビデンスベースドプラクティスの過程を体験的に理解する。研究における文献活用の実践を学ぶ。目標は、1. 臨床の場において、根拠に基づく臨床実践が行えるように、エビデンスベースドプラクティスを理解する。2. 学習や研究方法の基礎的知識として情報や知識の収集のための文献データベースが活用できる。3. 学術論文の読み方、書き方について演習を通して理解する。4. 研究における文献活用の意義について理解する。	
		レクリエーション概論	レクリエーションとは単なる余暇活動ではなく、一人ひとりの生活の質を向上させ、生活の様々な場面で人々を結びつけ、豊かな社会を構築するために不可欠なものである。レクリエーションは医療・福祉・教育の現場など、様々な環境の中で実践されており、「遊び」を通して精神的・肉体的に回復することを目指しているとされる。本講義では、現代社会におけるレクリエーションの意義と役割について理解を深め、レクリエーションを企画・実践するために必要な知識・技術を習得し、指導法、実践計画の立案方法について学ぶ。	
医療関連法規 I（医薬品全般に関わる法律）	薬剤師として必要な法的知識及び関連する制度並びに薬剤師としての倫理・規範を学ぶ。本講義では、医療の担い手として、薬剤師の倫理と法的責任、医薬品医療機器等法及び薬剤師法等の薬事関係法規、薬事制度、麻薬等の取締法、毒物及び劇物取締法等に関する基礎知識を修得し、それらを遵守する態度を身につける。			

専門基礎科目 / 学部共通	医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	医療関係法規Ⅰでは、薬剤師として必要な法的知識及び関連する制度並びに薬剤師として必要な倫理・規範を学修した。医療関係法規Ⅱでは主に医薬品製造における法規関係を学ぶ。更に、医薬品の効果と切り離せない副作用に関わる法的な対処法について学ぶ。	
	災害保健学	本講義では災害発生時および、その後の復興において、医療職（主にリハビリテーション職種、臨床検査技師、薬剤師等）が行う支援について学び、それらの知識・技術を緊急医療や地域復興といった様々な場面において実践できることを目的とする。	
	予防保健学	高齢社会の到来により、我が国の医療費の高騰に対する社会への影響力は年々増加している。よって、すべての人が豊かな健康寿命を全うする社会の実現に向けた、各職種の取り組みが求められている。本講義では、予防医学および予防保健領域の基礎知識をまず学修し、それ以降は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床検査技師・診療放射線技師・薬剤師の専門性に応じた予防医学および予防保健領域への関わり方についての理解を深めていく。また、多職種とのチームアプローチを学ぶなかで医療福祉関連職種以外との連携の方法を考察し、より幅広い視点における予防医学および予防保健領域について理解することが目標である。	
	国際医療保健学	国際医療協力を実践するために必要な保健システムの理解を目指す。国際保健学で学んだ世界の保健課題と国際協力概要を素地とし、各自が対象国を1か国選び医療保健問題を深く探求する。それに対する国際力案を作成し、対象国医療従事者と演習参加者と共に検証する。	
	異文化体験実習	我々保健医療職にとって、対象となる人々や社会の背景を理解することは業務遂行上の重要な一要素である。そして、保健医療職が理解すべき背景の一つに人々の価値観や習慣を含む「文化」がある。近年急速なグローバル化の進展の中で、国と国の違いによる文化の違いへの感受性や対応力の重要さが喧伝されている。しかし本来、文化の違いとは国の違いによるものだけではなく、祖父母世代と接する時に感じる雰囲気や価値観の違い、友人の実家を訪ねて経験する生活習慣の違いなど、我々のありふれた日常の中で日々感知されうるものである。そして、我々保健医療職が理解すべき背景としての文化も、多くはそのようなささやかな側面として存在する。本科目は学生が自由な発想で自ら企画・立案した実習での体験を通して、さまざまなレベルでの文化感受性を養うことを目的とする。	
専門基礎科目 / 薬学科	公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献できるようになるために、現代社会における人々の健康や疾病とその予防に関する内容（保健統計、疫学、生活習慣病とその予防法、母子保健、労働衛生）に関して、基本的知識から最新の情報も含めて学ぶ。	
	公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	現代においては、従来の感染症の他に、近年では、COVID-19のような新たな病原体や抗菌薬の乱用などによる薬剤耐性菌による感染症が医療だけではなく、経済に対しても大きな脅威となっている。本講義では、薬剤師として感染症予防対策に貢献できるために、感染症に関する内容に関して、基本的知識から予防法についての最新の情報も含めて学ぶ。	
	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	薬学演習Ⅰは2年前期までに終了した基礎薬学（生物系・物理系・化学系）の復習を目的とした演習を実施する。すなわち、生物系では、それまで履修した分子生物学および生化学に加え機能形態学を、物理系では、定性分析および定量分析に加え機器分析を、化学系では、有機化学の全ての範囲において演習にて理解度を深める。	
	薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	薬学演習Ⅱは2年後期までに終了した基礎薬学（生物系・物理系・化学系）の復習を目的とした演習を実施する。また、薬剤師としての自覚を持ち、それにふさわしい姿勢、態度、行動を身に付けることを目的とした課題をグループワーク形式で実施する。	

専門教育科目	専門基礎科目 / 薬学科	薬学演習Ⅲ (医療倫理・ヒューマニズム)	薬学演習Ⅲは薬剤師としての自覚を持ち、それにふさわしい姿勢、態度、行動を身に付けることを目標としている。そのためには学生諸君が主体的に臨み、多くの気づきを得て、医療人としての倫理観を有し、コミュニケーション力を身に付けた人間へと成長して頂きたい。また、本演習を通じて答えの見えない課題についての問題解決力を獲得して頂きたい。合わせて国際感覚も醸成して頂くことも目指してください。	
		病原微生物学	地球上で最も多い疾患は感染症である。そのため、病院、クリニック、薬局のどこに行っても薬剤師の重要な仕事のひとつは感染症対策である。感染症を起こす微生物はウイルス、細菌、真菌、原虫、寄生虫など多種多様である。この講義ではまず病原微生物の特性について学ぶ。併せて学名(ラテン語)にも学ぶ。また、病原体と宿主の相互作用の結果が疾病につながるので、病原微生物と宿主の相互作用について学ぶ。そして感染症の診断法と予防法を学ぶ。	
		コミュニケーション実習	チーム医療の一員としての連携能力や患者とのコミュニケーション能力を身につけるため、必要となる知識、態度、技能などの基本を学ぶ。また、グループごとにロールプレイングを行いながら、薬剤師に求められているコミュニケーションについての実践能力を身につける。キャリアデザインおよびロールモデルについて学び考えることで、コミュニケーションスキルを発揮する場面をより具体的にイメージできるようにする。	共同
		基礎薬学実習	薬剤師を目指す上で器具を正しく扱い、ものをはかり、溶液を調製する手法は、必ず習得しなければならない基礎技術の一つである。本実習では、種々のガラス器具や薬品などを用い、薬学実験の基礎技術を習得する。また、生命科学の実験を行う際に必要となる基本技術・考え方を身につける。顕微鏡の使い方など基本的な使用方法を習得する。実習後は必ずレポートを提出する。レポートを作成することにより、自分が行った実験を筋道立てて説明し考察することが重要であることを学ぶ。(自己研鑽・参加型学習)	共同
	専門科目	薬学概論	医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。人間の生と死がある中で医療人としてどうあるべきかを討議し、その後薬剤師がどの様な場面で活躍しているか紹介することにもくずりと薬剤師がどの様にかかわっているのかを理解する。その上で、学生自身が信頼される薬剤師になるためにどうあるべきかを討議を行い、今後の薬学部での学修を考える。	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	医療の発展のためには、画期的な新薬が必要となるが、有効な成分が迅速に医薬品となるためには、ビッグデータの活用や申請の枠組みでの承認方法が重要となってくる。また、新しいモダリティに対してどの様に適用するか理解することが必要である。	
		医療データサイエンス概論	社会の情報基盤のデジタル化が進み、それに適応できる薬剤師の養成が求められている。それに対応すべく、仕組みを理解し、必要な情報を取り出して、患者に対して分かり易い説明をするため、情報を咀嚼できるようにする。	
		医療データサイエンス演習	医療データサイエンス概論では、医薬品に関するデジタル化に関する情報や取り扱いについて学修した。医療データサイエンス演習では、医療情報の取り出しを自由にできるようになる。更に薬の取り扱いに必要なアプリケーションの製作を実施する。	
		早期体験実習	早期体験実習は、入学後の早い時期に実際の医療現場(病院、薬局)を体験することを通じて、医療を担う薬剤師としての心構えの修得、薬学を学ぶ動機付けおよび学習意欲の向上などを目的とした実習である。また、この施設見学の前夜においてグループ討議を行い、将来目指す医療人、薬剤師における使命や果たすべき役割などについて考察する。	共同

専門 教育 科目	専門 科目	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	分析化学とは、化学的・物理的性質を利用して目的物質の質と量を解明する学問である。物質を分析するということは、理・工・農・薬・医学の化学系分野の基礎であり、社会生活でも薬品分析、臨床分析、環境分析、食品分析など広範囲で利用されている。薬学部にも最も関連が深い薬品分析化学は、医薬品の開発や体内動態の測定などに重要であり、病院や製薬会社などにおいて大きな役割を担っている。本講義では、分析化学に関する総論の後、医薬品定量のための基礎分析法である中和滴定、非水滴定、キレート滴定、沈殿滴定及び酸化還元滴定などの各種容量分析法について学ぶ。	
		分析化学Ⅱ（機器分析）	分子軌道の概念を学び、電子状態間遷移に伴って分子が紫外線や可視光を吸収または放出することを理解する。医薬品の構造解析に用いられている赤外吸収、ラマン散乱、核磁気共鳴などの分光法や、質量分析、X線結晶回折など各種機器分析手法について原理を理解し、それぞれの装置の仕組み、測定法、特徴を理解する。	
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	特定の生体成分を定量分析するには、複雑な成分の混合物である生体試料の中から微量の目的成分を分離・精製する必要がある。本講義では、まず、試料の前処理について学ぶ。次に分離分析法として各種クロマトグラフィー（液体クロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー、薄層クロマトグラフィー）や電気泳動法について原理・特徴を学ぶ。また、今日臨床分析分野で広く使われている酵素、および抗体を利用した特異的分析法についても学ぶ。	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	物理化学は、様々な化学現象について、物理学的方法を利用し、その物性や生体現象を分子レベルで解き明かす学問分野である。薬品物理化学Ⅰでは、化学物質としての薬に着目しながら、有機化学、薬理学、薬物の体内動態など応用分野を理解するための基礎的知識習得を目的とし、気体の振舞いとその運動論、熱力学、化学平衡について学ぶ。また、化学結合や機器分析の原理を理解する上で必要となる量子論の基礎も学ぶ。	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	本講義では、化学物質としての薬に着目しながら、薬剤学、薬物動態学など応用分野を理解するための基礎知識習得を目的とし、相平衡、溶液の性質、電気化学、反応速度論を学ぶ。	
		放射化学	現代医療において、病気の診断や治療のために、放射線や放射性同位元素のもつ優れた性質や働きを活用することが不可欠になっている。ただし、放射線・放射性同位元素は便益性を持つ一方で、危険性ももちあわせており、諸刃の剣である。本授業では、放射線・放射性同位元素の基礎知識と薬学・医療分野における応用、ならびに、放射線の生体への影響と放射線障害の防止について学ぶ。	
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	日本薬局方は重要な医薬品の規格・試験法について医薬品医療機器等法に基づき定めたものであり、医薬品の公定規格書である。本講義では、日本薬局方通則及び物理系・化学系薬学の基礎としての日本薬局方一般試験法について学ぶ。	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	日本薬局方Ⅰでは、日本薬局方通則及び物理系・化学系薬学の基礎としての日本薬局方一般試験法について学んだ、近年、日本薬局方は医薬品の規範書として役割だけでなく、生産管理の面での重要性を増している。薬剤師として医薬品の管理する上で日本薬局方を有効に活用できるようにする。また、最新の改定内容について理解する。	
		物理系薬学実習	分析化学および物理化学の講義内容を踏まえた上で、分光分析法やクロマトグラフィーを用いた医薬品の定性・定量分析法や化合物の物理化学的性質に関する測定を行い、化合物の性質を理解する手法について実践的に学ぶ。（自己研鑽・参加型学習）	共同
有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	薬学で扱う「医薬品」や「生体分子」の多くは炭素でできた化合物、すなわち有機化合物であるため、有機化学は大切な基礎科目のひとつである。最初に、有機化合物に共通した性質を発見する「官能基」について学び、化合物の命名法のルールを学ぶ。そして、構造式の書き方、立体化学を学び、反応式の背景にある理論、原理（反応性）を学ぶ。			

専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	有機化学Ⅱ（脂肪族化合物 ² ）	有機化学Ⅰの学びの続きが有機化学Ⅱである。薬学で扱う「医薬品」や「生体成分」の多くは炭素を含む有機化合物であるため、有機化学関連科目(化学系科目)は大切な基礎科目のひとつである。官能基の判別、分子の立体化学を基礎として、反応機構の理解を中心にして、付加反応、置換反応、脱離反応を学ぶ。これらをもとに医薬品の合成や、生体内の反応について理解する。有機反応の理解は難しいため、必要に応じて補講を行う。	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	医薬品の生体作用を理解するために、芳香族として、まずベンゼン環について学び、構造とその特徴について学修し、さらにヘテロ環についても学修する。それら芳香族については、反応性や各種置換基の効果を学ぶ。また、置換基として重要なカルボニル基およびカルボン酸の性質を理解し、様々な反応について学修する。	
		生薬学	漢方薬や和薬は、古来より使われてきた医薬品であり、西洋薬（一般の医薬品）とは異なる使われ方をする。漢方薬と西洋薬の違いを学習したのちに、漢方薬を構成する生薬について、分類、基原、性状、薬効、成分とその構造、生合成経路など学び、代表的な漢方薬についても併せて学習する。なお、授業は生薬の薬用部位による分類にしたがって行う。	
		天然物化学	これまで学習した有機化学の知識を発展させ、天然物の化学成分（フラボノイド、イソプレノイド、ステロイド、アルカロイド等）の生合成経路を学修し、医薬品資源としての天然生物活性物質を構造によって分類・整理するとともに、天然生物活性物質の利用に関する基本的事項を修得する。	
		生物有機化学	医薬品の生体作用を理解するために、生体分子の構造、化学的性質、生合成、代謝および医薬品分子との相互作用等について、有機化学の視点から解釈・応用できる基礎的知識を修得する。即ち、これまで学修した有機化学に加え、アミンとヘテロ環、リンと硫黄の化合物、アミノ酸の化学、補酵素の構造と反応、糖質、脂質および核酸について学び、さらに酵素と受容体を理解する。	
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	生体内の反応や医薬品と生体の作用を化学の視点で理解すると、医療現場における単純な知識では解決できない問題に対して、医薬品の構造からアプローチできるようになる。そのためには、生化学や薬理学で学んだ知識と有機化学で学んだ知識を融合させる必要がある。本講義では、主に、医薬品のコア構造(ファーマコフォア)と薬理作用との関連を学ぶ。生体分子の構造と化学的な機能である反応性を理解するとともに、プロドラッグや医薬品の代謝、医薬品開発、構造活性相関など、医薬品の構造式と関連させた初歩的な講義を行う。医薬品の反応性に関しては医薬品構造化学Ⅱで発展的に学ぶ。(自己研鑽型学習)	
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	本講義では、生体分子の構造と化学的な機能である反応性を理解するとともに、医薬品のコア構造と薬理作用との関連を学ぶ。プロドラッグや医薬品の代謝、医薬品開発、構造活性相関など、医薬品の構造式と関連させた講義を行う。医薬品構造化学Ⅰでは、医薬品のファーマコフォアに関する考え方を中心に学んできた。医薬品化学Ⅱでは、さらに医薬品の理解を深めるために、反応性のある医薬品について学習するとともに、高分子医薬品を始めとする新しい医薬品や、副作用の発現に関して化学的な視点で考察するような学習を行う。(自己研鑽型学習)	
		医薬品構造解析演習	「分析化学Ⅱ」で学修した知識を実際の化合物のスペクトルを用いて、解析の演習を行う。機器分析の基礎知識の修得を深め、スペクトルの解析が行えるよう学修する。まず、赤外吸収スペクトル、質量分析法、IRスペクトル、NMRスペクトルを、演習を通して解析能力を高め、与えられた各種スペクトルデータから構造推定が可能とする。	共同

専門 教育 科目	専門 科目	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	<p>【有機分析】：多くの医薬品、生体成分が有機化合物であるため、簡単な有機化合物の性質を理解し、構造式を見たときに、『化合物 Aは水酸化ナトリウム水溶液にイオン形になって溶ける。』または『化合物 Bは塩酸にイオン形になって溶ける。』と、見分けるすべを修得する。それと同時に、実験操作法の基本を修得する。具体的には有機化合物の混合物の抽出による分離操作、誘導体に導く反応、化合物の再結晶による精製、化合物の同定法を修得する。</p> <p>【有機合成】：局所麻酔薬であるp-アミノ安息香酸エチルの合成を計画し、それに従って合成する。自分が合成したサンプルに局所麻酔作用があるかなど、確認試験を行うことによって合成法を修得する。有機分析・有機合成は化学、有機化学Ⅰ～Ⅲ、天然物化学、医薬品構造化学、医薬品構造解析、分析化学に関連している。（自己研鑽型、参加型学修）</p>	共同
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	生薬の確認試験、漢方方剤の調製を体験し、生薬の取り扱いに必要な知識、技能を修得する。即ち、生薬成分に含まれる有機化合物、アルカロイド系、テルペノイド系や、ステロイドの確認試験を実施する。その他、純度試験等も行い、日本薬局方に記されている、必要な同定試験が実施できるようにする。	共同
		有機化学演習	「化学」、および「有機化学Ⅰ」で学修した知識を応用することを目的として、チーム基盤型学習(TBL)形式で演習を行う。学修した知識をより深め、生体における低分子の働きや医薬品の薬効や性質を理解につながるよう学修する。副次的な効果として、コミュニケーション力、積極性、周囲への配慮などの向上も期待している。（自己研鑽型学習）	共同
		免疫学	私たちが生きていく上で欠かせない「免疫」について学ぶ。免疫現象を解明するために、現代生物学の最先端のテクノロジーが駆使されてきたため、免疫学を学ぶことは、細胞生物学、分子生物学全般の学ぶことになる。予防接種はなぜ必要か、AIDSはなぜ怖いのか、アレルギーとは何かといったことを学ぶ。免疫学は極めて進歩の早い学問分野であることから、本ではなく配布プリントに沿った授業を行う。	
		生化学Ⅰ（生体分子）	さまざまな生体分子について学ぶ。生体分子の構造、酵素反応、生体膜の性質を中心にして学習する。酵素については、反応の特徴、反応速度論、反応の阻害・制御などを理解する。生体膜については、構造、膜を介した物質輸送などを理解する。	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	糖質・脂質・アミノ酸・ヌクレオチドに注目してエネルギー産生や代謝に関して学ぶ。そして、これら分子による生体内化学反応を理解し、生命現象における調節機構についての知見を得る。具体的には生体のエネルギー代謝の基礎となる、ATPの産生と糖質代謝について、クエン酸回路や電子伝達系等詳細に学修し、さらにその他脂質代謝等を学修する。	
		分子生物学	疾患の発症機序や治療薬の作用機序が分子レベルで語られ、再生医療やゲノム編集技術の実用化が進む今日において、分子生物学の基礎的知識は必須である。本講義では主に遺伝情報の伝わり方と維持・多様化の仕組み、細胞外の情報が細胞内の標的分子に伝わる仕組み、遺伝子発現制御機構、遺伝子解析技術・遺伝子工学の基礎について学ぶ。	
		細胞生物学	細胞は生物の基本単位である。分子生物学・生化学で学んだ生体内高分子が、細胞内および細胞間においてどのように機能しているかを学ぶ。即ち、細胞内の情報伝達はどのように行われるか、細胞内でタンパク質はどのように成熟し分解するかを細胞骨格（細胞構造）と学修し、引き続き細胞間のコミュニケーションについても理解する。	
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	人体の構造と機能に関する基本的知識を個体、器官、細胞、分子レベルで習得する。本授業では、器官系概論、神経系、外皮系、骨格系・筋肉系、内分泌系について学ぶ。習得した解剖生理学の知識に関連した基礎医学研究のトピックスや疾患の病態生理についても学ぶ。	

専門教育科目	専門科目	解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	人体の構造と機能に関する基本的知識を個体、器官、細胞、分子レベルで習得する。本授業では、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、血液・リンパ系について学ぶ。さらに、代表的な循環器系疾患と泌尿器系疾患に対する基本的知識の臨床応用を学ぶ。	
		分子生物学実習	DNAの取扱い、PCRによるDNA断片の増幅、点突然変異の解析などについて技術を習得する。分子生物学Ⅰ・がん薬物療法学などの授業で学んだ知識を実際に活用し、DNA上に記されている遺伝情報を自らの手で解析する。コンピュータを用いたDNA塩基配列の解析も行う。また生化学Ⅰで学んだSDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動を行い、タンパク質の分離技術を習得する。（自己研鑽・参加型学習）	共同
		免疫微生物学実習	地球上で最も多い疾患は感染症である。そのため、病院、クリニック、薬局のどこに行っても薬剤師の重要な仕事のひとつは感染症対策である。感染症を起こす微生物はウイルス、細菌、真菌、原虫、寄生虫など多種多様である。この実習では細菌の特性について学ぶ。また、病原体と宿主の相互作用の結果が疾病につながるため、病原微生物と宿主の相互作用について学ぶ。そして感染症の診断法と予防法を学ぶ。さらに、私たちが健康で今日まで生きてこられたのは、体の中にある免疫システム及びそれを利用した医学・薬学のおかげである。経験的な対症療法から始まった免疫学は、微生物学の発展とあいまって今日までに膨大な研究が成され、免疫機構を分子レベルで語れる時代になった。その人類の英知の一部を本実習で体験し、理解してする。	共同
		基礎統計学	保健・医療・福祉の分野における統計学は、EBM（Evidence-based Medicine：根拠に基づく医療）に必要なエビデンスを得る上で不可欠な実用的学問である。医療福祉関連職にとって必須であることから、統計学の基本的事項について体系的に講義する。	
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	<p>疾病と病態生理学は、代表的な中枢神経系疾患、内分泌系疾患、循環器系疾患の病態生理を理解し、それに基づいて治療に用いられる薬物の基礎を学ぶ学問であるが、「Ⅰ」では、自律神経系疾患、中枢神経系疾患、疼痛、循環器系疾患及び内分泌系疾患について学修する。</p> <p>（オムニバス方式/全15回）</p> <p>（2 相澤 仁志/7回） 自律神経系の異常、神経筋疾患、疼痛、中枢神経系疾患Ⅰ（脳血管疾患、てんかん）、中枢神経系疾患Ⅱ（認知症）、中枢神経系疾患Ⅲ（パーキンソン症候群、統合失調症）、中枢神経系疾患Ⅴ（睡眠障害、不安障害、片頭痛）</p> <p>（8 木下 陽子/8回） 循環器系疾患Ⅰ（高血圧症・低血圧症）、循環器系疾患Ⅱ（心不全）、循環器系疾患Ⅲ（虚血性心疾患）、循環器系疾患Ⅳ（不整脈）、内分泌系疾患Ⅰ（甲状腺機能障害）、内分泌系疾患Ⅱ（副腎機能障害）、内分泌系疾患Ⅲ（骨粗鬆症および副恒常性機能障害）、内分泌系疾患Ⅳ（電解質代謝異常、アシドーシス、アルカローシス、栄養障害）</p>	オムニバス方式

専門教育科目	専門科目	疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	<p>疾病と病態生理学は、代表的な中枢神経系疾患、内分泌系疾患、循環器系疾患の病態生理を理解し、それに基づいて治療に用いられる薬物の基礎を学ぶ学問であるが、「Ⅱ」では代表的な皮膚・感覚器系疾患、代謝系疾患、血液・造血管系疾患、免疫・炎症・アレルギー系疾患、消化器系疾患、呼吸器系疾患、泌尿器系疾患、生殖器系疾患について学修する。</p> <p>（オムニバス方式/全15回）</p> <p>（4 久具 宏司/7回） 皮膚・感覚器系疾患Ⅰ（アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、褥瘡）、皮膚・感覚器系疾患Ⅱ（緑内障、白内障、加齢黄斑変性症、メニエール症候群、めまい）、血液・造血管系疾患Ⅰ（貧血）、血液・造血管系疾患Ⅱ（播種性血管内凝固症候群、紫斑病、血友病）、免疫・炎症・アレルギー系疾患Ⅰ（花粉症、アナフィラキシー）、免疫・炎症・アレルギー系疾患Ⅱ（関節リウマチ、全身性エリトマトーデス）、生殖器系疾患（前立腺肥大症、子宮内膜症、切迫早・流産、不妊症）</p> <p>（7 古川 佳子/8回） 代謝系疾患Ⅰ（糖尿病）、代謝系疾患Ⅱ（脂質異常症、高尿酸血症・痛風）、消化器系疾患Ⅰ（消化性潰瘍）、消化器系疾患Ⅱ（機能性消化管障害、炎症性腸疾患）、消化器系疾患Ⅲ（肝炎・肝硬変、膵炎、胆道疾患）、呼吸器系疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、かぜ症候群、肺炎）、泌尿器系疾患Ⅰ（慢性腎臓病、腎不全、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群）、泌尿器系疾患Ⅱ（排尿障害、尿路結石）</p>	オムニバス方式
		薬理学Ⅰ（総論）	薬理学総論として、薬理学という学問の概念を理解し、薬物の効果やその発現機序を説明するために必要不可欠な基本的事項（用量と作用の関係、アゴニストとアンタゴニスト、薬物が作用する分子と細胞内情報達、薬物の体内動態等）について学ぶ。また、「薬理学Ⅱ」に向けて、自律神経系の解剖と生理を復習する。	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	薬理学Ⅰの総論に引き続き、各論として自律神経系に作用する薬、体性神経系に作用する薬、および中枢性疾患に使用する治療薬の薬理学的特徴を学ぶ。即ち、自律神経系（交感神経、副交感神経、自律神経節）に作用する薬、体性神経系（運動神経、知覚神経）に作用する薬、筋の疾患の薬および中枢神経系の疾患の薬の薬理学的基礎知識（分類、薬物名、薬理作用、作用機序、副作用、相互作用、臨床適用等）を学修する。	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消火器薬理等）	薬理学Ⅰ、生理学、解剖学などの知識を基盤として、炎症・アレルギー疾患に用いる薬物、循環器疾患に用いる薬物、代謝疾患に用いる薬物、血液疾患に用いる薬物、消化器疾患に用いる薬物の薬理学的基礎知識（分類、薬物名、薬理作用、作用機序、副作用、相互作用、臨床適応など）などを修得する。	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	薬理学Ⅰ、生理学、解剖学などの知識を基盤として、呼吸器系に作用する薬、内分泌系に作用する薬、泌尿器系に作用する薬、免疫系に作用する薬、感覚器系に作用する薬の薬理学的基礎知識（分類、薬物名、薬理作用、作用機序、副作用、相互作用、臨床適応）について学修する。	
		化学療法学	生体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾患を生じる細菌・真菌・ウイルスなどに対する化学療法薬の作用機序を理解し、薬物治療・感染制御へ応用できるようになるために、抗菌薬や消毒薬、抗悪性腫瘍薬などに関する基本的知識を習得するとともに、治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。	
		がん薬物療法学	がん治療における薬物療法の位置づけを理解する。さらにはがん薬物療法に用いられる薬物の名前、作用機序、適応、副作用、副作用の予防法などを理解する。科目担当者が携わってきたがんゲノム研究が今日のがん薬物治療にどのように生かされているかを学ぶ。	
		ゲノム医療	ゲノム情報は新しい医薬品開発や遺伝子治療を大きく発展させている。それらを用いるための基本的知識と倫理的態度を学び、ゲノム情報の適正な利用に関する基本的事項を理解する。	

専門教育科目	専門科目	臨床検査医学	薬剤師に必要な臨床検査の知識を学ぶ。代表的な検査法の原理・基準値などを理解し、病態の把握・副作用発現の早期発見などの基礎を作る。具体的には、肝臓機能、腎臓機能、呼吸機能および心臓機能についての検査項目について理解する。血液検査関係では、どのような検査値が得られるか学び、その他血液以外（糞便、唾液等）で得られる生化学的検査値の理解を深める。	
		OTC医薬品概論	薬剤師は、セルフメディケーションに利用可能な一般用医薬品（OTC医薬品）についての支援、アドバイスおよび情報を提供する重要な役割を担っている。本講義では、セルフメディケーション、一般用医薬品の概念および販売・情報提供、相談応需に必要な知識を習得するとともに、代表的な一般用医薬品の使用目的、主成分、作用や注意点について学ぶ。	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	薬学部では、主に西洋の医学から発展してきた薬学について学ぶが、医療の現場及び一般市民の生活の中で漢方は欠かせないものになっている。特に、原因が明らかな疾患に対して使用する薬剤と異なり、未病における使用もされる。このように日本の伝統医学である漢方医学について、漢方の考え方や疾患概念、代表的な漢方処方への適応や副作用などに関する基本的事項を学習する。	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	現在、漢方薬の需要は医療用・一般用を問わず増大している。漢方薬の正しい利用の根拠となる理論にはいくつかの考え方（流派）が知られている。その中で本授業では中医学（中国伝統医学）の視点から漢方薬の応用を学習する。また具体的な臨床例から漢方薬の意義や注意点について理解を深める。	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、医薬品情報の収集、評価、加工などに関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的事項を身につける。	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	薬品情報を適切に解析・評価し、evidence-based medicine（EBM）に基づく医薬品の適正使用に貢献するために、1）臨床上の疑問点を解決するための方法論であるEBM、2）Evidenceを生み出す臨床研究のデザインや解析方法、および3）臨床研究データの解釈に欠かせない生物統計学について学ぶ。さらに、有効性・安全性のみならず医療経済性等の多様な観点からの医薬品の比較・評価の重要性を学ぶ。本講義では、倫理情報や法規に関する内容等、リテラシーを扱う。	
		医薬品安全性学	医薬品安全性学では、衛生化学Ⅱで学んだ化学物質の毒性に関する基礎知識をベースにして、医薬品の副作用発現機構と副作用を回避するための適正使用の実例を学修する。さらに、過去の薬害の実例を知り、その原因の詳細を学修して、薬剤師として高い倫理観を持って社会貢献する意識を醸成する。	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	代表的な疾患の病態生理を理解し、それに基づいて治療に用いられる薬物を学ぶ。さらに、薬理学、臨床薬理学で習得した知識を基盤として、薬物の主作用、副作用、使用にあたっての注意事項、体内動態、使用される剤型などを理解し、有効性・安全性の高い薬物治療の基本を身に付けることを目標とする。	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	今までに学習した疾病と病態生理学、薬理学、薬物動態学を基盤として、循環器系・血液造血器系・代謝疾患系・呼吸器系疾患・泌尿器系疾患・生殖器系疾患・消化器系疾患および悪性腫瘍の薬物治療（治療薬の使い分け、薬物療法時の注意点）について学ぶ。	

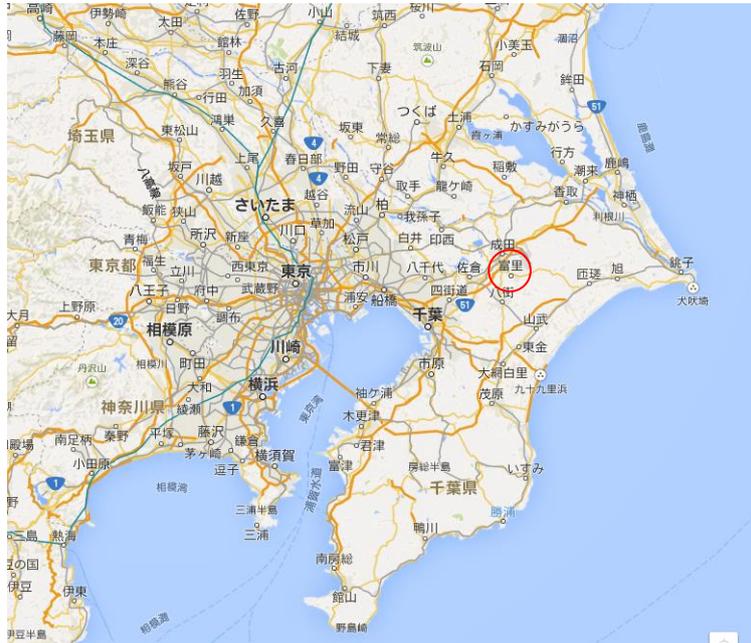
専門教育科目	専門科目	薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	これまでの「疾病と病態生理学Ⅰ～Ⅲ」、「臨床検査医学」、「薬理学Ⅰ～Ⅳ」、「薬物治療学Ⅰ・Ⅱ」等の科目で修得した知識を基盤として、最適な薬物治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項の修得に向けた演習を実施する。演習で用いる症例には、「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムにおいて実習生が学外実務実習の場で継続的に広く関わると定義されている8疾患（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症）」を中心に上げ、チーム基盤型学習（Team-Based Learning: TBL）により、薬剤師として必要な自主性、創造性、協調性、問題解決能力等を養う。	
		フィジカルアセスメント実習	代表的な臨床検査方法を体験し、その意義、代表的な検査値の読み方および異常値と病態との関連性を実践的に理解する。また、臨床検査方法を応用した知見を実践的に理解する。さらに、一次救命処置を修得する。（自己研鑽・参加型学習）	共同
		生物系薬学実習	動物実験により各種薬物の効果を測定することで、これまでの薬理学関連の講義で学修した知識の理解を深める。また、卒業研究に向けたアドバンスト教育として、実験動物の情動や向精神薬の薬効を行動薬理的に評価する方法を体験する。（自己研鑽・参加型学習）	共同
		物理薬剤学	医薬品は、有効成分＋添加物＝製剤として存在する。そのため、有効成分および製剤の物理化学的性質を理解し、製剤が医薬品として最適な性能を示す為にどのような性質を持たせるべきか考えられるようになる。製剤に関連する物理化学的な現象について、教科書や講義を通して理解し、グラフ等からデータを読み取り、そのメカニズムを考察することができる。さらに、習得した知識を整理し、順序立てて説明したり論述することができる。	
		製剤設計とDDS	医薬品の用途に応じた適切な剤形を調整するために、製剤の種類、製造、品質などに関する基本的な知識を修得する。さらに薬物治療の有効性、安全性、信頼性を高めるために、薬物の投与形態や薬物体内動態の制御法などを工夫したDDSに関する基礎知識を修得する。	
		薬物動態学	人に投与された、薬剤は、生体内に吸収され、体内に分布し、やがて代謝された後、体外へ排泄されるといういわゆるADME（吸収・分布・代謝・排泄の英訳頭文字）の各過程を経る。このような体内での薬の動きについて習得する。次に薬を服用するうえで重要な問題となる薬物動態学的相互作用に関する基本的事項についても修得する。	
		臨床薬物動態学	薬物動態学の吸収、分布、代謝、排泄の過程に関する基本的知識とそれらを解析するための基本的技能を修得した上で、臨床で実際に薬物を使用する際の薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるために、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。	
		薬剤学実習	物理薬剤学の基礎的実験をとおして、固体（粉体）および液体の物理化学的性質について学ぶ。（自己研鑽・参加型学習）医薬品は有効成分と添加剤と併せて製剤として成り立っていることを理解する。	共同
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	衛生化学は、すでに習得した有機化学と生物化学の知見に基づいた化学的視点を背景に、①病気を未然に防ぐ生命力を強化し、②有害物質から身を守る分野である。Ⅰでは栄養素とそれを含む食品を対象に、健康な体を作り維持する基本となる「食」の原理と安全性に必要な知識と考え方を学ぶ。	
衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	本授業では、様々な化学物質の毒性発現機序を理解することで、化学物質の生体への有害作用を回避し、適正使用するために必要な知識を学修する。特に反応性代謝物の生成及び解毒機構と細胞障害性、毒性を評価する試験法について具体例を示して詳説する。さらに、国際的な視点を醸成する一環として、主要な専門用語（テクニカルターム）は、和名および英名の両方で習得する。			

専門教育科目	専門科目	環境衛生学	生態系や生活環境を保全・維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象や人為的活動を学ぶ。環境汚染物質などの成因、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識を学ぶ。そして、環境保全の観点から廃棄物の問題についても理解を深め、環境保全に関わる法的規制についても学ぶ。さらに、国際的な環境問題や環境衛生学に関連する最近の話題についても学ぶ。	
		衛生系薬学実習	日常の食生活、生活環境の現状を把握するには科学的分析と解析が必須である。本実習ではこれらの分析に必要な技術と考え方を訓練し、講義の内容をより深めることを目的として、基本的な分析法を学ぶ。(自己研鑽・参加型学習)	共同
		臨床薬学Ⅰ(調剤の基礎)	医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを学修する。 処方箋に基づいて調剤業務を安全で適正に遂行できるよう、医薬品の供給と管理も理解したうえで基本的な調剤業務を理解する。	
		臨床薬学Ⅱ(調剤の実践)	病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤及び製剤、服薬指導などの薬剤師職能に必要な基本的知識、技能、態度を学ぶ。特に、調剤する際に留意すべき、無菌操作、ケミカルハザードおよび配合変化などの注意点を学修する。また、ハイリスク薬や法律上規制される薬品の取り扱いを学修するとともに、調剤における事故をどのように減らしていくか学ぶ。その上で、患者個々に適した用量設定(テラーメイド医療)についても学修する。	
		臨床薬学Ⅲ(薬物療法の実践)	薬剤師として臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を習得する。ここでは、安全・最適な薬物療法を提供するための、患者情報収集や個々の患者に適した薬物療法の提案・実施・評価、さらに院内ならびに地域におけるチーム医療に関する基礎知識を学ぶ。	
		臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)	病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で在宅医療・介護・地域医療などにまつわる薬剤師職能についての基本的知識、態度を学ぶ。また、薬剤師固有の職能にとどまらず他(多)職種連携についても学ぶ。	
		医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集)	「医薬品情報学Ⅰ」の講義内容を踏まえた上で、医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を正しく取り扱うことを目的に、医薬品情報の収集、評価、加工、提供などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。患者・来局者対応、服薬指導、患者教育などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。(自己研鑽・参加型学習)	共同
		医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導)	「臨床薬学Ⅰ・Ⅱ」の内容(知識)を踏まえて、5年次に行われる病院・薬局実務実習に円滑に参加出来るようになるための「実務実習事前実習」に位置づけられる。即ち、薬剤師業務を臨床現場で学ぶ上で必須となる技能と態度を修得する。具体的には、計数調剤(錠剤・カプセル剤・外用剤等)・計量調剤(散剤・水剤・軟膏剤等)と監査および無菌操作(衛生的手洗い・ガウンテクニック・注射剤混合等)について行う。	共同
		医療系薬学実習Ⅲ(薬物療法の実践)	臨床薬学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの知識を基に、医療系薬学実習Ⅰ、Ⅱの総復習を行い、薬剤師に必要な技能・態度を修得する。即ち、4科目で知識を習得し、実際の技術を実践するが、学生1人1人で得手不得手があり、個々に不十分な部分を客観的に見つけ出し、調剤技術のより一層の技術向上を自ら実践する。(自己研鑽・参加型学習)	共同
薬局実務実習	薬局において11週間の実務実習を行う。薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的知識、技能、態度を学ぶ。(自己研鑽・参加型学習)	共同		

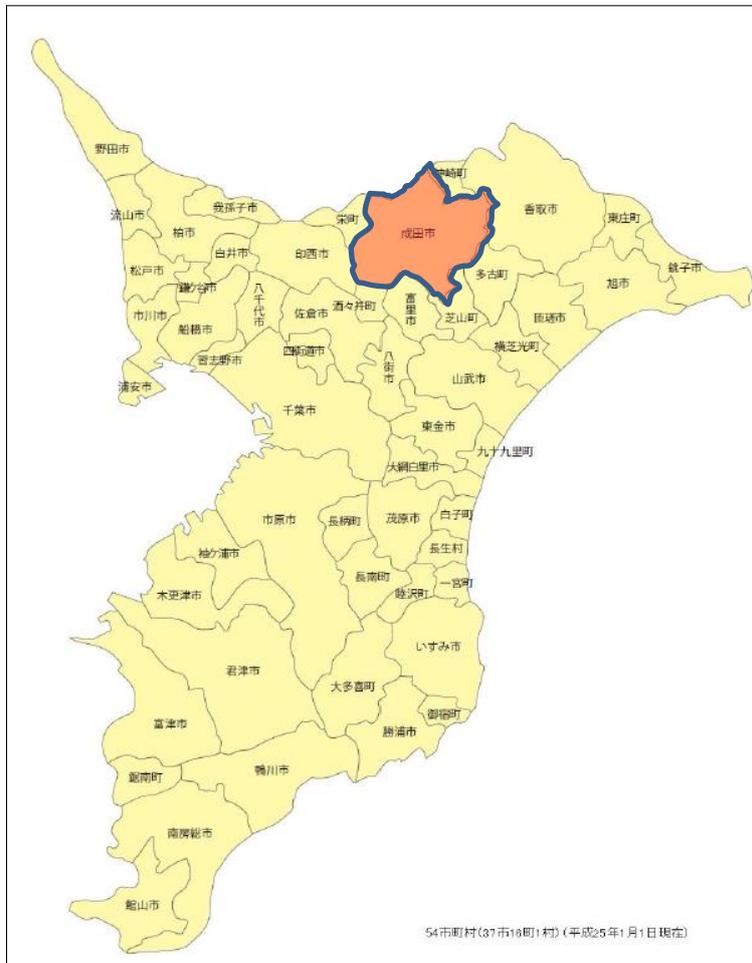
専門 教育 科目	専門 科目	病院実務実習	病院において11週間の実務実習を行う。病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を学ぶ。（自己研鑽・参加型学習）	共同
		卒業研究	自ら研究課題に取り組んで、実験あるいは調査研究（文献調査研究を含む）を行うことにより、研究がどのようなものであるかを体験し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を養う。これまでの講義や実習を通じて学んだことの総合的な理解に努め、医療社会に貢献するための知識・技能・態度を習得する。	共同
		実務実習事前演習	5年次の病院・薬局実務実習のための事前学習として、1～4年次までに学習した科目を症例や処方箋を基に総復習を行うとともに、薬剤師としての自覚を持ち、ヒトを思い敬う態度や医療の担い手としての倫理観を身に付けることを目標としている。	共同
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	薬学部6年間に学んできた内容について、基礎的な事項の確認・定着を目的とした演習を行う。またヒューマニズム・リスクマネジメント等薬剤師の資質として重要な内容について、問題提示を受けた後少人数グループでのディスカッション・全体発表を行う。	共同
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	薬剤師になるためにこれまで6年間学んできた知識がしっかりと身につけているか演習を通して振り返るとともに、それらの知識が実際の現場で役立つように症例をもとにSGDを行い仲間との議論を通じて深みを加える。この演習を通して、暗記重視の知識ではなく、真に生かせる知識として定着しているかの総括を行う。	共同

(1) 都道府県内における位置関係の図面

1) 首都圏における成田市の位置

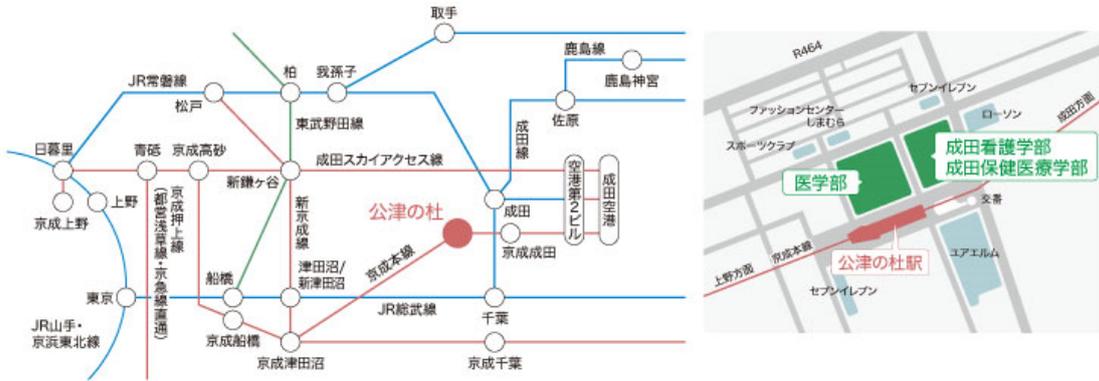


2) 千葉県内における成田市の位置

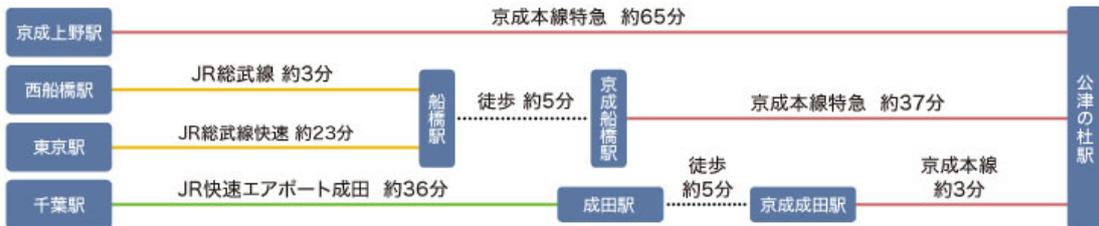


(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

1) 公津の杜校舎



主要駅からの所要時間



※所要時間は区間における目安の時間（一部乗り換え時間も含む）であり、時間帯により異なります。

最寄り駅からの距離 50m

公津の杜駅（京成電鉄） ⇒ 公津の杜校舎

2) 畑ヶ田校舎及び国際医療福祉大学成田病院（隣接）

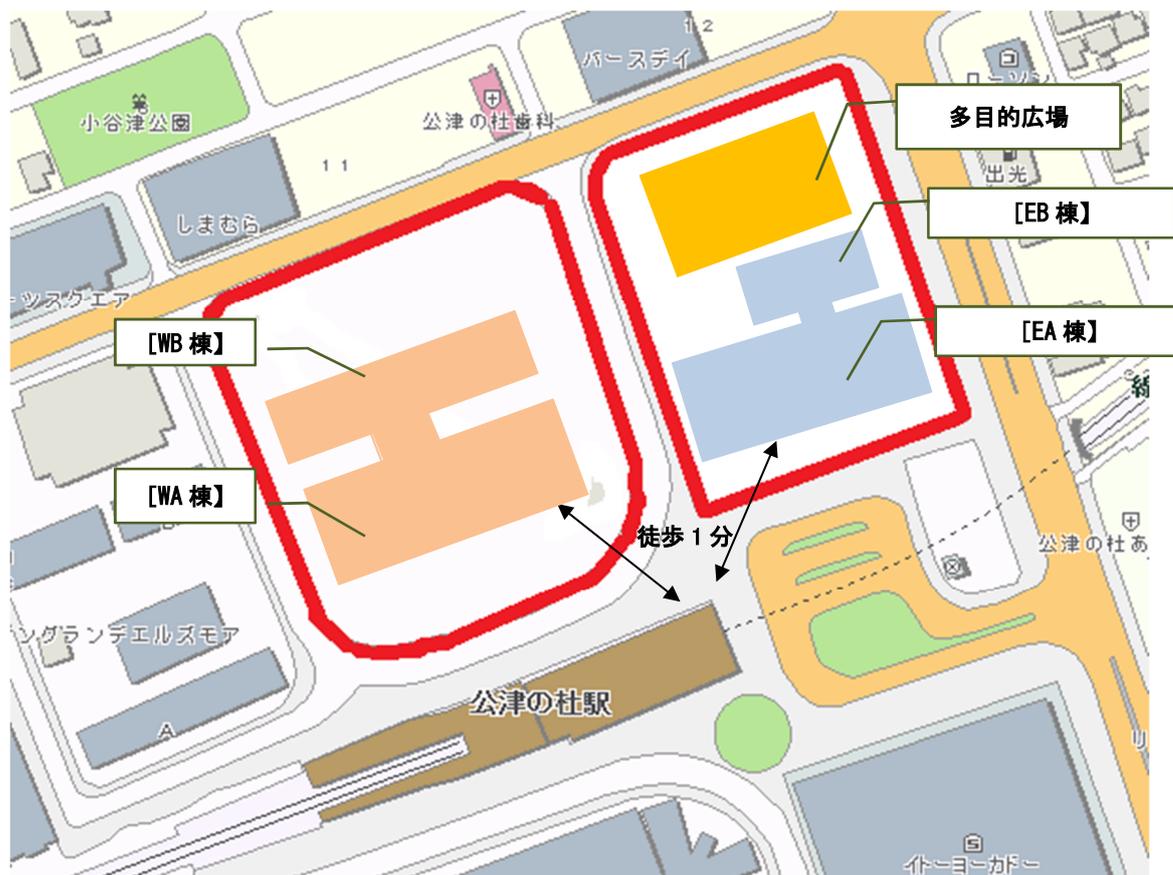


- ① 成田駅から JR 「成田駅」東口 5 番のりばから路線バスで約 15 分 「国際医療福祉大学成田病院」下車
- ② 京成線「公津の杜駅」から（予約不要／無料）
国際医療福祉大学 成田キャンパス 医学部棟前 から無料シャトルバスで約 20 分

(3)校舎、運動場等の配置図(完成年度のもの)

1)公津の杜校舎配置図(赤枠内は成田キャンパスの校地)

※医学部、成田看護学部・成田保健医療学部と共用して使用する。



【WA・WB棟】

- ① 校地 : 14,827.38 m²
- ② 校舎 : 47,107.65 m²

【EA・EB棟】

- ① 校地 : 12,781.51 m²
- ② 校舎 : 29,145.24 m²

2) 畑ヶ田校舎配置図(赤枠内は成田キャンパスの校地)



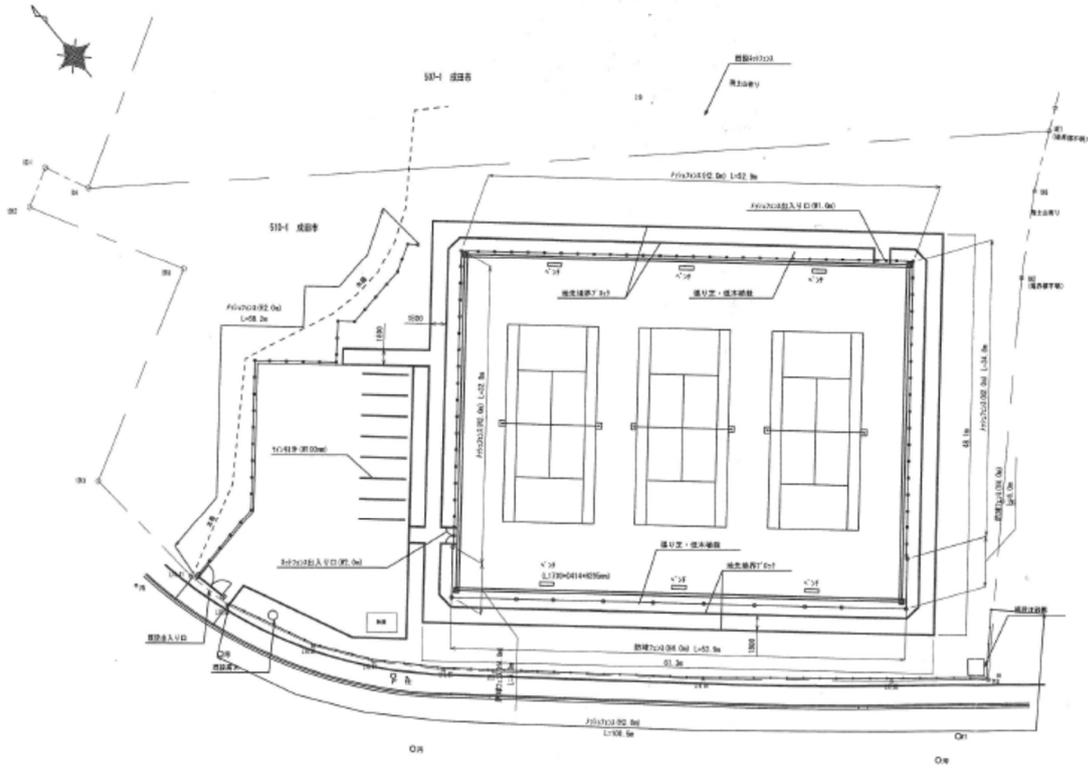
畑ヶ田校舎

- ① 校地: 10, 149.94 m²(薬用植物園 200 m²を含む)
- ② 校舎: 8, 297.4 m²

3) 運動場(公津の杜校舎との位置) 敷地面積 5,658.65 m²



4) 運動場(テニスコート整備図)



畑ヶ田校舎

1階		2階	
部屋名	面積 (㎡)	部屋名	面積 (㎡)
風除室 (サブエントランス)	28.8		
EV	13.7	EV	13.7
前室	14.3	前室	14.3
階段	35.2	階段	64.0
教室 150席	240.0	教室 150席	240.0
教室 150席	240.0	教室 150席	240.0
学生ラウンジ 340席	408.0	教室 81席	108.0
風除室	39.4	教室 105席 CBT用72席	132.0
応接 会議	21.6	更衣・ロッカー 280人	63.0
エントランスホール	111.6	更衣・ロッカー 280人	63.0
廊下	176.8	廊下	36.0
		廊下	176.8
事務室	72.8		
階段	60.0	階段	42.0
EV×2台	14.5	EV×2台	14.5
PS	5.8	PS	5.8
ELVホール	24.5	ELVホール	24.5
WC	78.4	WC	78.4
計	1,585.4	計	1,316.0

3階		4階	
部屋名	面積 (㎡)	部屋名	面積 (㎡)
EV	13.7	EV	13.7
前室	14.3	前室	14.3
階段	28.0	階段	28.0
ゼミ室 (1)	42.0	薬理系研究室 (2) 分子薬理	84.0
ゼミ室 (2)	42.0	薬理系研究室 (1) 薬理学	84.0
ゼミ室 (3)	42.0	薬物治療病態生理系研究室	84.0
ゼミ室 (4)	42.0	共同研究室	86.5
ゼミ室 (5)	42.0		
ゼミ室 (6)	42.0		
ゼミ室 (7)	42.0		
ゼミ室 (8)	44.4		
廊下	116.4	廊下	116.4
		物理系研究室 薬品物理化学	84.0
分子生物学系研究室	84.0	物理系研究室 物理薬剂	54.0
調剤実習室 (1) 液剂	84.0	// 中央実験台	30.0
調剤実習室 (2) 散剂	84.0	衛生系研究室	84.0
調剤実習室 (3) 軟膏剂他	84.0	衛生化学公衆環境衛生	
TMD測定解析室	84.0	衛生系研究室 医薬品安全性	84.0
準備室	24.6	化学系研究室 有機化学	84.0
無菌調剤実習室	59.4	化学系研究室 創薬化学学生薬	84.0
		細胞培養室	58.2
検収室	12.0	前室	8.5
模擬薬局	75.2	低温倉庫	20.4
社会薬学系研究室	72.9	共同研究室	72.9
階段	42.0	階段	42.0
EV×2台	14.5	EV×2台	14.5
PS	5.8	PS	5.8
ELVホール	24.5	ELVホール	24.5
WC	4.8	WC	4.8
WC	19.9	WC	19.9
WC	19.6	WC	19.6
計	1,306.0	計	1,306.0

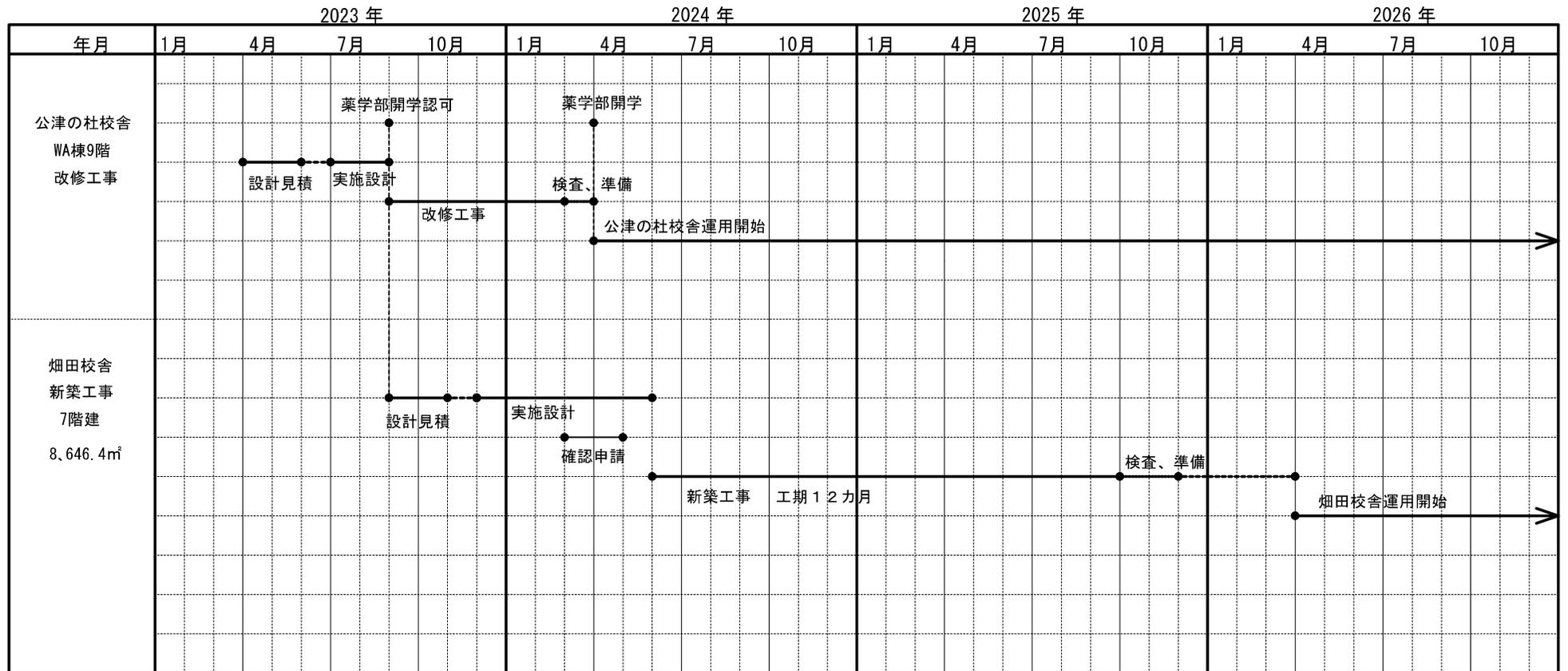
5階		6階	
部屋名	面積 (㎡)	部屋名	面積 (㎡)
EV	13.7	EV	13.7
前室	14.3	前室	22.3
階段	28.0	階段	28.0
学部長	42.0	共同実験研究室1	84.0
会議室	42.0	共同実験研究室2	84.0
教員 (1)	21.0	共同実験研究室3	342.0
教員 (2)	21.0	空調機械室	42.0
教員 (3)	21.0	セミナー室	84.0
教員 (4)	21.0	会議室	42.0
教員 (5)	21.0		
教員 (6)	21.0		
廊下	116.4	廊下	64.5
教員 (7)	21.0		
教員 (8)	21.0		
教員 (9)	21.0		
教員 (10)	21.0		
教員 (11)	21.0		
教員 (12)	21.0		
生物系研究室 生化学	84.0		
生物系研究室 微生物免疫	86.5		
研究室 薬物動態系	84.0		
非常勤講師室	34.0		
階段	42.0	階段	42.0
EV×2台	14.5	EV×2台	14.5
PS	5.8	PS	5.8
ELVホール	24.5	ELVホール	24.5
WC	4.8		
WC	19.9		
WC	19.6	WC	34.7
計	928.0	計	928.0

7階		PHF	
部屋名	面積 (㎡)	部屋名	面積 (㎡)
EV	13.7		
前室	22.3		
階段	28.0	階段	36.0
受入検疫	13.7	機械室電機室	313.0
廃棄物	19.8		
飼育	16.5		
飼育	16.5		
飼育	14.6		
飼育	16.5		
飼育	16.5		
廊下 1	48.9		
廊下 2	77.6		
廊下 3	73.3		
実験	16.5		
実験	16.5		
実験	14.6		
実験	16.5		
実験	16.5		
飼料	11.3		
洗淨	16.4		
更衣	10.1		
更衣	10.1		
共同実験研究室1	42.0		
共同実験研究室2	42.0		
共同実験研究室3	42.0		
共同実験研究室4	42.0		
共同実験研究室5	42.0		
共同実験研究室6	42.0		
共同実験研究室7	42.0		
階段	42.0		
EV×2台	14.5		
PS	5.8		
ELVホール	24.5		
WC	6.1		
WC	34.7		
計	928.0	計	349.0

公津の杜校舎

6階 黄緑部		9階 黄緑部	
部屋名	面積 (㎡)	部屋名	面積 (㎡)
研究室 (1)	21.0	物理・生物基礎実習室 120席	305.2
研究室 (2)	21.0	化学系準備室	71.3
研究室 (3)	18.0	研究化学実習室 72席	199.5
研究室 (4)	18.0	前室	12.0
研究室 (5)	18.0	印刷室	6.6
研究室 (6)	18.0	パントリー	5.4
研究室 (7)	18.0	薬学教員事務室 1	120.0
研究室 (8)	18.0	薬学教員事務室 2	54.0
研究室 (9)	18.0	薬学教員事務室 3	18.0
研究室 (10)	18.0	階段講義室 1 (162席)	216.0
研究室 (11)	18.0	階段講義室 2 (162席)	216.0
研究室 (12)	18.0	ロッカー室 2 (184人)	72.0
研究室 (13)	18.0	ロッカー室 1 (176人)	72.0
研究室 (14)	18.0		
研究室 (15)	18.0		
計	276.0	計	1,368.0

工程表



国際医療福祉大学学則（案）

第1章 総 則

第1節 目的

（目的）

第1条 国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第1条の2 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（情報の公開）

第1条の3 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第1条の4 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第1条の5 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

（研修の機会等）

第1条の6 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得・向上させるための研修の機会を設けることとその他の必要な取組を行う。

第2節 組織

（学部）

第2条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

一 保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる应用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

二 医療福祉学部

医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療

福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の人材を育成する。

三 薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担う応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

四 福岡保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学及び医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び臨床検査技師等の人材を育成する。

五 小田原保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等の人材を育成する。

六 成田看護学部

看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師等の人材を育成する。

七 成田保健医療学部

理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学及び放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

八 医学部

医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

九 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

心理学、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援もしくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成する。

十 福岡薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担う応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

十一 成田薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内

外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

2 前項の学部置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。

(大学院)

第2条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

(別科)

第2条の3 本学に留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科を置く。

2 留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

(図書館)

第3条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する事項は、別に定める。

(附属施設)

第3条の2 本学に、次の附属施設を置く。

国際医療福祉大学病院

国際医療福祉大学熱海病院

国際医療福祉大学三田病院

国際医療福祉大学塩谷病院

国際医療福祉大学市川病院

国際医療福祉大学成田病院

国際医療福祉大学クリニック

国際医療福祉大学健康管理センター

国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑

国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンター

国際医療福祉大学社会保障政策研究所

国際医療福祉大学ゲノム医学研究所

国際医療福祉大学人口戦略研究所

2 附属施設に関する事項は、別に定める。

第3条の3 本学に、総合教育、情報教育、臨床教育等の教育研究に関するセンターを置くことができる。

2 センターに関する事項は、別に定める。

(事務局)

第4条 本学に、事務局を置く。

第3節 職員組織

(職員)

第5条 本学に、学長を置く。学長は、校務をつかさどり所属職員を統督する。

2 本学に、学長を補佐するため、副学長を置くことができる。

3 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。

4 本学に、特任教授、客員教授、非常勤講師及びその他必要な職員を置くことができる。

5 本学に、名誉教授を置くことができる。

(職員組織)

第6条 学部に、学部長を置く。学部長は、学長の指示を受けて、学部に関する校務を掌理する。

2 学部の学科に、学科長を置く。学科長は、学部長を補佐し、学科の校務を掌理する。

3 学部に、副学部長、学科に副学科長を置くことができる。

4 図書館に、図書館長を置く。

5 国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学熱海病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院及び国際医療福祉大学成田病院に、それぞれ病院長を置く。

6 国際医療福祉大学クリニックに院長を、国際医療福祉大学健康管理センターにセンター長を置く。

7 国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑、国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンターにそれぞれ施設長を置く。

8 研究所に、研究所長を置く。

9 事務局に、事務局長を置く。

第4節 管理運営委員会、学部長・学科長会議、教授会及び学科会

(管理運営委員会)

第7条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、本学に管理運営委員会を置く。

2 管理運営委員会は、学長、総長、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、顧問、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。

3 管理運営委員会は、学長が招集し、その議長となる。

学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。

4 管理運営委員会は、次の事項を審議する。

- 一 学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
- 二 大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
- 三 本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
- 四 教員人事の基準及び調整に関する事項
- 五 学生の定員に関する事項
- 六 学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
- 七 理事会の諮問事項
- 八 附属病院の運営に関する重要事項
- 九 その他、本学の運営に関する重要事項

5 学長は、管理運営委員会において審議された重要事項を常任理事会に報告する。

(学部長・学科長会議)

第8条 学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にもたがって学部長・学科長会議を置く。

2 学部長・学科長会議は、学長、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任教員をもって構成する。ただし、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長、学科長

をもって構成することができる。

- 3 学部長・学科長会議は、学長が招集し、その議長となる。ただし、学長が認めた場合には、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長が招集し、その議長となることができる。
- 4 学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名する副学長がこれに代わるものとする。

(教授会)

第9条 本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

- 2 教授会は、学長、副学長、学部長、副学部長及び学部の専任教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の教員を加えることができる。
- 3 教授会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
- 4 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - 二 学位の授与
 - 三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するものの他、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 教授会に関する事項は、別に定める。

(学科会)

第10条 学科内の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置く。

- 2 学科会は、学科の専任教員をもって構成する。

(委員会)

第11条 本学に、学長の諮問機関として委員会を置くことができる。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第13条 学年を分けて、次の2学期とする。

- | | |
|----|----------------|
| 前期 | 4月1日から9月30日まで |
| 後期 | 10月1日から3月31日まで |

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科については、次の3学期とする。

- | | |
|-----|----------------|
| 1学期 | 4月1日から8月31日まで |
| 2学期 | 9月1日から12月31日まで |
| 3学期 | 1月1日から3月31日まで |

(休業日)

第14条 休業日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
 - 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に定める休日
 - 三 本学創立記念日（5月1日）
 - 四 春期休業日（3月1日から3月31日まで）
 - 五 夏期休業日（8月1日から9月20日まで）
 - 六 冬期休業日（12月25日から1月6日まで）
- 2 学長は、学部の教育上の必要に応じ、前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

（修業年限）

第15条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、4年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

2 薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、6年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

（在学年限）

第16条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては8年を、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては12年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第22条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 薬学部、成田薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、5年次及び6年次については、通算で4年とする。

3 医学部においては、第1項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、4年次及び5年次については、通算で4年とする。

第2節 入学

（入学の時期）

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別な場合は、学期の始めに入学を許可することがある。

（入学の資格）

第18条 各学科第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- 三 外国において学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育

施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規則（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（入学の出願）

第19条 入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて、指定期日までに本学に願出しなければならない。

（入学者の選考）

第20条 入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。

2 選考の方法は、別に定める。

（入学手続及び入学許可）

第21条 前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続きを完了しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者について、入学を許可する。

（編入学、転入学、再入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、欠員のあつる場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

一 大学を卒業した者又は退学した者

二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三 学校教育法施行規則第92条の3（昭和22年文部省令第11号）に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

2 前項の規定にかかわらず、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科においては、前項第一号、第二号及び別に定める入学資格に該当する者で、第3年次に入学を志願するものがあるときは、選考のうえ、入学を許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

第3節 教育課程、単位及び履修方法等

（教育課程）

第23条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを、各学年次に配当して編成するものとする。

（授業科目の区分）

第24条 授業科目を分けて、総合教育科目、専門教育科目とする。

（授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数）

第25条 授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数は、別に定める。

(授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技等により行うものとする。

(単位計算方法)

第27条 授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。

- 一 講義については、15時間をもって1単位とする。ただし、外国語科目の講義については、30時間をもって1単位とする。
- 二 演習については、30時間をもって1単位とする。
- 三 実験、実習、体育実技等については、45時間をもって1単位とする。
- 四 教育上必要があるときは、講義については30時間の講義、演習については15時間の演習、実験・実習・体育実技については30時間の実験・実習・体育実技をもって1単位とすることができる。
- 五 卒業論文、卒業研究等の授業科目については、単位を授与する。

単位数は、学科ごとに別に定める。

(単位の認定、科目の修得及び評価)

第28条 授業科目を履修し、その試験、又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験に代えることを認められた科目については、この限りでない。
- 3 試験に関する事項は、別に定める。

(成績の評価)

第29条 成績の評価は、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)の5種とし、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)を合格、不可(D)を不合格とする。

(授業日数)

第30条 毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め、35週以上とする。

(履修方法)

第31条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

- 2 前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

(メディアを利用して行う授業)

第31条の2 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。

- 2 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第32条 学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第33条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が

定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第34条 学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第29条第1項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位(第51条の規定により修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第32条第1項及び第2項並びに前条第1項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第4節 休学、転学、留学、除籍及び退学

(休学)

第35条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に1年以内に限り、期間を延長することができる。

- 2 休学の期間は、通算して、4年を超えることはできない。
- 3 休学の期間は、第16条の在学年限に算入しない。
- 4 休学期間中にその理由が消滅した場合は、所定の手続により、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。

(転学部、転学科)

第38条 本学内において、他の学部、学科への転学部、転学科を志願する者があるときは、教授会において選考のうえ、学長が転学部、転学科を許可することがある。

- 2 転学部、転学科の許可を受けた者の修業年限及び既に取得した単位の取扱は、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

(留学)

第39条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第42条に定める在学期間に含めることができる。
- 3 留学に関する事項は、別に定める。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。

- 一 学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 二 第16条に定める在学年限を超えた者
- 三 長期間にわたり行方不明の者
- 四 第36条第2項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者
- 五 死亡した者

第5節 卒業及び学士の学位

(卒業)

第42条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

(学士の学位)

第43条 学士の学位については、別に定める。

(教育職員免許状)

第43条の2 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定により所要の単位を修得した者が教育職員免許状を取得できる学部学科、教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学部学科	教育職員免許状の種類
小田原保健医療学部看護学科	養護教諭1種免許状

第6節 賞罰

(表彰)

第44条 学生として表彰に値する行為があった者には、学長は、教授会の意見を聴いて、表彰することができる。

(懲戒)

第45条 本学の諸規程に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴いて、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、情状により退学、停学、譴責及び戒告とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者
- 三 正当の理由なくして出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学期間は在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

第7節 厚生補導

(学生指導)

第46条 本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。

2 前項に関する事項は別に定める。

(保健管理)

第47条 本学に保健室を置き、学生の保健管理を行う。

第8節 施設利用及び寄宿舍

(施設利用)

第48条 本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。

(寄宿舍)

第48条の2 本学に寄宿舍を置くことができる。

2 前項に関する事項は別に定める。

第9節 研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

(研究生)

第49条 本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(聴講生)

第50条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生は学期ごとに許可する。

(科目等履修生)

第51条 本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、教育・研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、入学を許可することができる。

2 前項の科目等履修生に対し単位を与えることができる。

3 科目等履修生に対する単位の授与については、第28条の規定を準用する。

(外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

第10節 入学検定料及び学生納付金

(入学検定料及び学生納付金)

第53条 入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

第54条 削除

(免除等)

第55条 学業優秀である者若しくは経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。

2 休学期間中及び留学期間中は、授業料の3分の2を免除する。

(退学等の場合の学生納付金)

第56条 学年の中途において退学し、転学し、又は停学若しくは退学を命ぜられた者もその学年の学生納付金を納めなければならない。

(研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金)

第57条 研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

(返還)

第58条 納付した入学検定料及び学生納付金は、返還しない。

第11節 奨学金

(奨学金)

第59条 本学に奨学金の制度を設けることができる。

2 奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

第12節 公開講座及び各種講習会等

(公開講座、各種講習会等)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座、各種講習会を開催することができる。

2 社会人の再教育及び教育研究活動に資するため、特別講座等を開催することができる。

第3章 補 則

(補則)

第61条 この学則の実施に関し必要な細目は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 第2条第2項に規定する収容定員は、同条にかかわらず、平成7年度から平成10年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
保健学部				
看護学科	100名	200名	300名	400名
理学療法学科	80名	160名	240名	320名
作業療法学科	80名	160名	240名	320名

言語聴覚障害学科	80名	160名	240名	320名
放射線・情報科学科	100名	200名	300名	400名
合計	440名	880名	1320名	1760名

附 則

- この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する医療福祉学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成9年度から平成11年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成9年度	平成10年度	平成11年度
医療福祉学部			
医療経営管理学科	100名	200名	300名
医療福祉学科	100名	200名	300名
合計	200名	400名	600名

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する保健学部視機能療法学科及び医療福祉学部医療福祉学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成14年度から平成16年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成14年度	平成15年度	平成16年度
視機能療法学科	40名	80名	120名
医療福祉学科	440名	480名	520名

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 第53条の規定（入学検定料、授業料等）は、平成15年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する薬学部及びリハビリテーション学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成17年度から平成19年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
--	--------	--------	--------

薬学部

薬学科	150名	300名	450名
合計	150名	300名	450名

リハビリテーション学部

理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合計	80名	160名	240名

- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する薬学部及び小田原保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成18年度から平成22年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度

薬学部

薬学科	330名	510名	690名	720名	900名
合計	330名	510名	690名	720名	900名

小田原保健医療学部

看護学科	50名	100名	150名
理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合計	130名	260名	390名

- 3 第15条第2項の規定にかかわらず、平成17年度薬学部入学者については、なお従前の例による。
- 4 薬学部（4年制）は、平成18年度から学生募集を停止する。ただし、薬学部（4年制）の平成18年度から平成20年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度

薬学部

薬学科	150名	150名	150名
-----	------	------	------

- 5 第25条（授業科目等）の規定は、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡リハビリテーション学部理学療法学科、言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成19年度から平成21年度までは、次のとおりとする。

平成19年度 平成20年度 平成21年度

福岡リハビリテーション学部

理学療法学科	160名	240名	280名
言語聴覚学科	40名	80名	120名

- 3 第25条（授業科目等）の規定は、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科及び福岡看護学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成21年度から平成23年度までは、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科 160名 320名 485名

福岡看護学部

看護学科 80名 160名 240名

- 3 医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科は、平成21年度から学生募集を停止する。ただし、医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科の平成21年度から平成23年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

医療経営管理学科 300名 200名 100名

医療福祉学科 425名 280名 140名

- 4 第25条（授業科目等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 5 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成25年度から平成27年度までは、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
福岡保健医療学部			
医学検査学科	80名	160名	240名

附 則

- 1 医療福祉学部医療経営管理学科及び医療福祉学科については平成26年3月31日をもって廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する小田原保健医療学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成27年度から平成29年度までは、次のとおりとする。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小田原保健医療学部			
看護学科	230名	260名	290名

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡看護学部、成田看護学部及び成田保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成28年度から平成30年度までは、次のとおりとする。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
福岡看護学部			
看護学科	340名	360名	380名
合 計	340名	360名	380名
成田看護学部			
看護学科	100名	200名	300名

合 計	100名	200名	300名
成田保健医療学部			
理学療法学科	80名	160名	240名
作業療法学科	40名	80名	120名
言語聴覚学科	40名	80名	120名
医学検査学科	80名	160名	240名
合 計	240名	480名	720名

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年5月23日から施行する。

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する保健医療学部看護学科、保健医療学部理学療法学科、保健医療学部視機能療法学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科及び医学部医学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成29年度から令和3年度までは、次のとおりとする。

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
保健医療学部			
看護学科	415名	430名	445名
理学療法学科	340名	360名	380名
視機能療法学科	170名	180名	190名
放射線・情報科学科	420名	440名	460名
小田原保健医療学部			
理学療法学科	200名	240名	280名

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
医学部					
医学科	140名	280名	420名	560名	700名
合 計	140名	280名	420名	560名	700名

附 則

この学則は、平成29年9月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科、赤坂心理・医療福祉マ

ネジメント学部心理学科及び医療マネジメント学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成30年度から令和2年度までは、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
医療福祉学部			
医療福祉・マネジメント学科	630人	610人	590人
合計	630人	610人	590人
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			
心理学科	60人	120人	180人
医療マネジメント学科	60人	120人	180人
合計	120人	240人	360人

附 則

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部理学療法学科、福岡薬学部薬学科、保健医療学部放射線・情報科学科及び成田保健医療学部放射線・情報科学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和2年度から令和6年度までは、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福岡保健医療学部					
理学療法学科	300名	280名	260名		
福岡薬学部					
薬学科	120名	240名	360名	480名	600名
保健医療学部					
放射線・情報科学科	470名	460名	450名		
成田保健医療学部					
放射線・情報科学科	50名	100名	150名		

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和5年度から令和7年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福岡保健医療学部			
看護学科	60名	120名	180名
理学療法学科	230名	220名	210名
作業療法学科	150名	140名	130名
言語聴覚学科	120名	80名	40名

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する成田薬学部薬学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和6年度から令和10年度までは、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
成田薬学部					
薬学科	120名	240名	360名	480名	600名

別表

学部名	学科等名	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	－	460
	理学療法学科	100	－	400
	作業療法学科	80	－	320
	言語聴覚学科	80	－	320
	視機能療法学科	50	－	200
	放射線・情報科学科	110	－	440
	合 計	535	－	2,140
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科 (うち 介護福祉コース)	140 (40)	5 (－)	570 (160)
	合 計	140	5	570
薬学部	薬学科	180	－	1,080
	合 計	180	－	1,080
医学部	医学科	140	－	840
	合 計	140	－	840
成田看護学部	看護学科	100	－	400
	合 計	100	－	400
成田保健医療学部	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	言語聴覚学科	40	－	160
	放射線・情報科学科	50	－	200
	医学検査学科	80	－	320
	合 計	290	－	1,160
成田薬学部	薬学科	120	－	720
	合 計	120	－	720
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	60	－	240
	医療マネジメント学科	60	－	240
	合 計	120	－	480
小田原保健医療学部	看護学科	80	－	320
	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	合 計	200	－	800
福岡保健医療学部	看護学科	60	－	240
	理学療法学科	50	－	200
	作業療法学科	30	－	120
	言語聴覚学科	0	－	0
	医学検査学科	80	－	320
	合 計	220	－	880
福岡薬学部	薬学科	120	－	720
	合 計	120	－	720

国際医療福祉大学学位規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第43条及び国際医療福祉大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第10条第2項に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

- 2 学士の学位は、別表1のとおりとする。
- 3 修士の学位は、別表2のとおりとする。
- 4 博士の学位は、別表3のとおりとする。

（学士の学位授与の要件）

第3条 学士の学位は、大学学則第42条により本学を卒業した者に授与する。

（修士の学位授与の要件）

第4条 修士の学位は、大学院学則第8条第1項及び第2項により修士課程を修了した者に授与する。

（博士の学位授与の要件）

第5条 博士の学位は、大学院学則第8条第3項、第4項、第5項及び第6項により博士課程を修了した者には、甲種の学位を授与する。

- 2 前項に定める者のほか、学位は、別に定める資格を持ち、本学に学位論文を提出して、その審査に合格した者には、乙種の学位を授与することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学した日から3年以内に学位論文を提出し、その審査に合格した場合には、第1項によるものと同様に甲種の学位を授与する。

（学位論文の提出）

第6条 第4条及び前条第1項による者の学位論文は、研究科長に提出するものとする。

- 2 前条第2項及び第3項の規定により、学位の授与を申請する者は、学位申請書に学位論文、論文要旨、履歴書及び別に定める学位論文審査料を添え、研究科長に提出しなければならない。

（学位論文）

第7条 博士及び修士の学位論文は、1篇に限る。ただし、参考として、他の論文を添付することができる。

- 2 受理した学位論文等及び既に納付された学位論文審査料は、返還しない。

3 審査のため必要があるときは、学位論文の副本、訳文、模型又は標本等の資料を提出させることがある。

(審査員)

第8条 研究科会議は、第6条第2項の規定により、学位論文が審査に付されたときは、当該研究科の教員のうちから、3人以上の審査員を選任し、学位論文の審査及び試験を委託しなければならない。

2 研究科会議が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、本学の教員又は教員であった者を学位論文の審査及び試験の審査員に委嘱することができる。

3 研究科会議は必要と認めたときは、第1項の規定にかかわらず、他の大学院又は研究所等の教員等に学位論文の審査を委嘱することができる。

4 研究科会議は、第1項の審査員のうち1人を主任審査員として指名しなければならない。

(審査期間)

第9条 修士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後2か月以内に、また、博士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後1年以内に終了しなければならない。

(試験)

第10条 修士の学位又は博士の学位の授与を申請した者については、学位論文の審査のほか、面接試験を行う。この試験の方法は研究科会議において定める。

(審査結果の報告)

第11条 修士の学位又は博士の学位に関する審査が終了したときは、審査員はすみやかに審査の結果及び評価に関する意見を記載した審査報告書を研究科会議に提出しなければならない。

(学位論文の判定)

第12条 大学院長は、前条の審査の報告に基づき、研究科会議の審議を経て、学位授与の可否を決定する。

2 前項の判定を行う研究科会議には、構成員の過半数の出席を要し、合格の判定については、出席した構成員の3分の2以上の賛成がなければならない。この場合の定足数の算定に当たっては、外国出張中の者、休職中の者及び所属長の許可を得て出張中の者は、当該研究科会議の構成員の数に算入しない。

3 研究科会議が第1項の合否を決定したときは、大学院長はこれを学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第13条 学長は、前条第3項の規定による報告に基づいて学位を授与し、学位記を交付する。

2 学位を授与できない者には、その旨通知する。

(論文要旨等の公表)

第14条 博士の学位を授与したときは、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査結果の要旨は、インターネットの利用により、当該博士の学位を授与した日から3か月以内にこれを公表する。

(学位論文の公表)

第15条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文をインターネットの利用により、公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に、既に公表されているときは、この限りではない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない理由がある場合には、研究科会議の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものをインターネットの利用により、公表することができる。この場合、本学はその論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 第1項の規定により公表する場合は、当該論文に「国際医療福祉大学審査学位論文(博士)」と、また前項の規定により公表する場合は、当該論文の要旨に、「国際医療福祉大学審査学位論文(博士)の要旨」と明記しなければならない。

(学位の名称)

第16条 本学の授与する学位には、国際医療福祉大学と付記するものとする。

(学位授与の取消)

第17条 本学において博士又は修士の学位を授与された者につき、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、当該研究科会議の議を経て、すでに授与した学位を取り消し、学位記を返還させるものとする。

2 研究科会議において、前項の議決を行う場合は、第12条第2項の規定を準用する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年5月27日から施行する。
- 2 第8条及び第9条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表1

学部	学科	学位(専攻分野)
保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	視機能療法学科	学士(視機能療法学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士(医療福祉学)、学士(医療マネジメント学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
医学部	医学科	学士(医学)
成田看護学部	看護学科	学士(看護学)
成田保健医療学部	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
成田薬学部	薬学科	学士(薬学)
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	学士(心理学)
	医療マネジメント学科	学士(医療マネジメント学)
小田原保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
福岡保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
福岡薬学部	薬学科	学士(薬学)

別表2

研究科	専攻	学位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	修士(保健医療学)、修士(看護学)、修士(助産学)、 修士(言語聴覚学)、修士(生殖補助医療学)、 修士(医療福祉教育・管理学)、修士(臨床検査学)、修士(災害医療学)、 修士(遺伝カウンセリング学)
	医療福祉経営専攻	修士(医療福祉学)、修士(診療情報管理学)、 修士(医療ビジネス経営学)、修士(医療福祉管理学)、 修士(医療福祉国際協力学)、 修士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 修士(自立支援介護学)、 修士(自立支援実践ケアマネジメント学)、 修士(医療福祉ジャーナリズム学) 修士(医療通訳・国際医療マネジメント学)
	臨床心理学専攻	修士(臨床心理学)
薬科学研究科	生命薬科学専攻	修士(薬科学)
医学研究科	公衆衛生学専攻	修士(公衆衛生学)、修士(医科学)

別表3

研究科	専攻	学位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	博士(保健医療学)、博士(看護学)、 博士(助産学)、博士(言語聴覚学)、 博士(生殖補助医療学)、博士(医療福祉教育・管理学)、 博士(臨床検査学)、博士(災害医療学)、博士(医療遺伝学)、 博士(医療福祉経営学)、博士(医療福祉学)、 博士(診療情報管理学)、博士(医療福祉国際協力学)、 博士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 博士(臨床心理学)、博士(医療福祉ジャーナリズム学)
薬学研究科	医療・生命薬学専攻	博士(薬学)
医学研究科	医学専攻	博士(医学)

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程
(案)

(目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則第25条に基づき、各学部学科の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定めることを目的とする。

(授業科目等)

第2条 各学部学科の授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

(卒業に必要な単位数)

第3条 各学部学科の卒業に必要な単位数は、別表2のとおりとする。

2 前項において、国際医療福祉大学学則第31条の2第2項に定める授業科目により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1				2		30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
	死生学・死を通して生を考える・	1	2	3	4		2	30	
生きがい論	1	2	3	4		2	30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法 ※	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		2			1		30	
	地球環境論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
	手話入門	1	2	3	4		2	30	
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
自然・情報系	統計学		2			2		30	
	疫学・保健医療統計学		3			2		30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1	2	3	4		2	30	
	コンピュータの基礎	1				2		30	
	データリテラシー	1				1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1		30	
	医学／医療史	1	2	3	4		2	30	
人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30	
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15	
	食と人間	1	2				1	15	
	人間と性	1	2	3	4		1	15	
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30	
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15	
	現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15	
	ボランティア実践	1	2	3	4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30
		英語講読2 (Basic)	1	1		30
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30
		中国語入門	1 2 3 4		1	30
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
	韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論 ※	1 2 3 4		1	15
		健康科学実践 ※	1 2 3 4		1	30

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎 ／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
	専門基礎	生体形態論Ⅰ（運動器系・循環器系）	1	1		30	
		生体形態論Ⅱ（内臓学・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生体機能論Ⅰ（循環・呼吸・消化・腎臓）	1	1		30	
		生体機能論Ⅱ（神経・運動・感覚）	1	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	1	1		30	
		薬理学	2	1		30	
		老年学	2		1	30	
		機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	2	1		30	
		機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	2	1		30	
		機能障害論Ⅲ（生殖・腎泌尿器・運動・免疫）	2	1		30	
	機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）	2	1		30		
	専門	基礎看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護方法論（看護過程）	2	1		30	
		日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1	1		30	
日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）		1	1		30		
看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）		1	1		30		
看護技術論Ⅱ（診療支援技術）		1	1		30		
基礎看護学実践演習		2	1		30		
看護管理学		3	2		30		
基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）		1	1		45		
基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）		2	2		90		
成人看護学概論		2	1		15		
急性期看護学方法論		2	1		30		
慢性期・回復期看護学方法論		2	1		30		
がん・緩和ケア看護学方法論		2	1		30		
急性期看護学演習		3	1		30		
慢性期・回復期看護学演習		3	1		30		
救急医療とクリティカルケア看護		3		1	15		
高齢者看護学概論		2	1		15		
高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）		2	1		30		
高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）		3	1		15		
高齢者看護学演習		3	1		30		
小児看護学概論		2	1		15		
小児看護学方法論		2	2		30		
小児看護学演習		3	1		30		
リプロダクティブヘルス看護学概論		2	1		15		
リプロダクティブヘルス看護学方法論		2	2		30		
リプロダクティブヘルス看護学演習		3	1		30		

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	精神看護学概論	2	1		15	
	精神看護学方法論	2	2		30	
	精神看護学演習	3	1		30	
	生活療養支援実習Ⅰ(介護予防・生活支援実習)	2	1		45	
	生活療養支援実習Ⅱ(周手術期・クリティカルケア看護学実習)	3	2		90	
	生活療養支援実習Ⅲ(慢性・回復期看護学実習)	3	3		135	
	生活療養支援実習Ⅳ(施設看護実習)	3	2		90	
	生活療養支援実習Ⅴ(地域療養支援サービス実習)	3	1		45	
	小児看護学実習	3	2		90	
	リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
	精神看護学実習	3	2		90	
	地域・在宅看護学概論	1	2		30	
	地域・在宅看護学方法論Ⅰ(生活を支える看護)	2	2		30	
	地域・在宅看護学方法論Ⅱ(対象別看護)	3	1		15	
	地域・在宅看護学演習	3	1		15	
	看護研究	3	2		30	
	看護研究ゼミⅠ(ベーシック)	4	1		30	
	看護研究ゼミⅡ(アドバンス)	4	1	1	30	
	看護学統合特論	4	1		45	
	看護管理学演習	4		1	30	
	国際看護学	4		1	15	
	家族看護学	2	1		15	
	看護倫理学	2		1	15	
	災害看護学	4		2	30	
	地域・在宅看護学実習	3	2		90	
	地域統合看護学実習(地域包括生活療養支援実習)	4	3		135	
	公衆衛生看護学概論	1	2		30	
	公衆衛生看護学方法論	4	2		30	
	対象別保健活動論Ⅰ(発達段階別)※	4		2	30	
	対象別保健活動論Ⅱ(障害別) ※	4		1	15	
	地域診断論 ※	3		1	30	
	健康教育論	3	2		30	
	産業保健論	2	1		15	
	学校保健論	2	1		15	
	健康危機管理論 ※	3		1	15	
	公衆衛生看護管理論 ※	4		2	30	
公衆衛生看護特論 ※	4		1	30		
公衆衛生看護学実習 ※	4		4	180		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
	演劇論	1	2	3	4		1	15		
	心理学	1	2	3	4		2	30		
	哲学	1	2	3	4		2	30		
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
	人間学	1	2	3	4		2	30		
	歴史学	1	2	3	4		2	30		
	倫理学	1	2	3	4		2	30		
	宗教学	1	2	3	4		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4		2	30		
	教育学	1	2	3	4		2	30		
	教育方法論	1	2	3	4		2	30		
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
生きがい論	1	2	3	4		2	30			
社会系	法学	1	2	3	4		2	30		
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30		
	社会学	1	2	3	4		2	30		
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30		
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30		
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30		
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30		
	国際関係論	1	2	3	4		2	30		
	世界の経済	1	2	3	4		2	30		
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30		
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30		
	地球環境論	1	2	3	4		2	30		
ボランティア論	1	2	3	4		2	30			
ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30			
手話入門	1	2	3	4		2	30			
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30			
経済の歴史	1	2	3	4		2	30			
自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30		
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30		
	数学	1	2	3	4		2	30		
	物理学	1	2	3	4		2	30		
	化学	1	2	3	4		2	30		
	生物学	1	2	3	4		2	30		
	コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30		
	データリテラシー	1	2	3	4	1		30		
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)			2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)			2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30		
医学/医療史	1	2	3	4		2	30			
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15		
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15		
	食と人間	1	2				1	15		
	人間と性	1	2	3	4		1	15		
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
	現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15		
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1	30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1	30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4	1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4	1	30		
	系保 育健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	3	4		2	30			
		救急医学		2	3		1		15			
		微生物と病気	1	2	3	4		2	30			
		リハビリテーション概論	1				2		30			
		関連職種連携論		2			2		30			
		看護論	1					2	30			
		ケアマネジメント論		2	3	4		1	15			
		ケースワーク論	1	2	3	4		1	15			
		医療管理学	1	2	3	4		2	30			
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30			
		社会福祉学	1	2	3	4		2	30			
		臨床心理学概論		2			2		30			
		福祉支援工学概論	1	2	3	4		2	30			
		関連職種連携ワーク			3		1		30			
		関連職種連携実習				4		1	45			
		リスクマネジメント論			3	4		2	30			
		電子カルテシステム入門		2	3	4		1	15			
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4		1	15			
		レクリエーション概論		2	3	4		1	15			
		専門教育	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1				1		30	
解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1						1		30			
解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1						1		45			
解剖学実習Ⅱ（組織）	1						1		45			
生理学Ⅰ（植物性機能）	1						1		30			
生理学Ⅱ（動物性機能）	1						1		30			
生理学実習	1						1		45			
運動学Ⅰ（基礎）	1						1		30			
運動学Ⅱ（応用）	1						1		30			
運動生理学	1						2		30			
病理学				2			1		30			
臨床医学概論				2			1		30			
内科学Ⅰ（基礎）				2			1		30			
内科学Ⅱ（臨床）				2			1		30			
神経学Ⅰ（基礎）				2			1		30			
神経学Ⅱ（臨床）				2			1		30			
整形外科Ⅰ（基礎）				2			1		30			
整形外科Ⅱ（臨床）				2			1		30			
精神医学Ⅰ（総論・各論）				2			1		30			
精神医学Ⅱ（各論）				2				1	30			
運動学実習Ⅰ（基礎）				2			1		45			
運動学実習Ⅱ（応用）				2			1		45			
人間発達学				2			1		30			
リハビリテーション医学					3		1		30			
小児科学				2			1		30			
老年学				2	3	4		1	30			
神経心理学概論				2	3	4		2	30			
臨床薬理学概論				2	3	4	1		15			
スポーツ傷害学				2	3	4		1	15			
外科学				2	3	4		1	15			
栄養学				2	3	4		1	15			
専門教育	専門			パルペーション（運動機能）	1					1	15	
				理学療法概論	1					2	30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1				1		30			
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）		2			1		30			
		PTスキルⅢ演習（課題学習）			3		1		30			
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）			3		2		60			
		病態運動学			3		2		30			
		運動解剖学		2			2		30			
		バイオメカニクス	1	2	3	4		1	15			
		運動心理学	1	2	3	4		1	15			
		スポーツ心理学	1	2	3	4		1	15			
		スポーツ医科学	1	2	3	4		1	15			
		理学療法評価学		2				2	30			
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）		2			1		30			
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）		2			1		30			
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）		2			1		15			
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）		2	3	4		1	15			
動作分析学		2	3	4		1	15					

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門教育	専門	臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2 3 4	1		15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2		1	30	
		運動療法学総論	2		1	30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		生活技術学	3		1	30	
		生活環境学	3		1	30	
		義肢学	3		1	30	
		装具学	3		1	30	
		理学療法治療総論	3		1	15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3		1	30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3		1	30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3		1	30	
		小児理学療法学	3		1	30	
		循環器系理学療法学	3		1	15	
		呼吸器系理学療法学	3		1	15	
		代謝系理学療法学	3		1	15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3		1	30	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	3 4		1	15	
		基礎実習	1		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		地域リハビリテーション実習	3 4		1	45	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習		4	12	540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）		4	2	30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法		4	1	15	
		理学療法管理学	2 3 4	2		30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15			
理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15			
卒業研究		4	4	180			

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 作業療法学科

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備 考	
							必修	選択			
人間系		文学論	1	2	3	4		2	30		
		演劇論	1	2	3	4		1	15		
		心理学	1	2	3	4		2	30		
		哲学	1	2	3	4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
		人間学	1	2	3	4		2	30		
		歴史学	1	2	3	4		2	30		
		倫理学	1	2	3	4		2	30		
		宗教学	1	2	3	4		2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
		文化人類学	1	2	3	4		2	30		
		教育学	1	2	3	4		2	30		
		教育方法論	1	2	3	4		2	30		
	社会系		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
		生きがい論	1	2	3	4		2	30		
		法学	1	2	3	4		2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30		
		社会学	1	2	3	4		2	30		
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30		
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30		
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30		
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30		
		国際関係論	1	2	3	4		2	30		
		世界の経済	1	2	3	4		2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
総合教育			海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30		
		地球環境論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30		
		手話入門	1	2	3	4		2	30		
		経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
		経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
	自然・情報系		統計学	1	2	3	4		2	30	
			疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
			数学	1	2	3	4		2	30	
			物理学	1	2	3	4		2	30	
			化学	1	2	3	4		2	30	
			生物学	1	2	3	4		2	30	
			コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30	
		データリテラシー	1	2	3	4	1		30		
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30		
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30		
		医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
総合系		人間工学	1	2	3	4		2	30		
		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15		
		総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15		
		食と人間	1	2				1	15		
		人間と性	1	2	3	4		1	15		
		持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
		読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
		現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15		
		ボランティア実践	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1	30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1	30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4	1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4	1	30		
	体育保健系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
専門教育 ／学部共通		公衆衛生学	1	2	3	4	2		30			
		救急医学		2	3	4	1		15			
		微生物と病気	1	2	3	4		2	30			
		リハビリテーション概論	1	2	3	4	2		30			
		関連職種連携論		2			2		30			
		看護論	1					2	30			
		ケアマネジメント論		2	3	4		1	15			
		ケースワーク論	1	2	3	4		1	15			
		医療管理学	1	2	3	4		2	30			
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30			
		社会福祉学	1	2	3	4		2	30			
		臨床心理学概論	1	2	3	4	2		30			
		福祉支援工学概論	1	2	3	4		2	30			
		関連職種連携ワーク			3		1		30			
		関連職種連携実習				4		1	45			
		リスクマネジメント論			3	4		2	30			
		電子カルテシステム入門		2	3	4		1	15			
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4		1	15			
		レクリエーション概論		2	3	4		1	15			
		専門教育	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1				1		30	
				解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1				1		30	
				解剖学実習	1				1		45	
				生理学Ⅰ（植物性機能）	1				1		30	
				生理学Ⅱ（動物性機能）	1				1		30	
				生理学実習	1				1		45	
				運動学Ⅰ（基礎）	1				1		30	
				運動学Ⅱ（応用）	1				1		30	
				運動学実習		2			1		45	
運動生理学				2			1		30			
病理学				2			1		30			
内科学				2			1		30			
神経学Ⅰ（基礎）				2			1		30			
神経学Ⅱ（臨床）				2			1		30			
整形外科Ⅰ（基礎）				2			1		30			
整形外科Ⅱ（臨床）				2			1		30			
精神医学Ⅰ（基礎）				2			1		30			
精神医学Ⅱ（臨床）					3		1		30			
小児科学				2			1		30			
老年学					3		1		30			
リハビリテーション医学					3		1		30			
人間発達学	1						1		30			
病態生理学				2				1	15			
臨床薬理学概論				2			1		15			
栄養学				2				1	15			
外科学				2				1	15			
脳神経外科学				2				1	15			
神経心理学概論				2				1	15			
対人援助論				2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	専門	作業療法概論	1	1		15
		作業学概論	1	1		15
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30
		作業工程技術学・応用論	1	1		30
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30
		作業応用論	2 3 4		1	30
		研究法概論	3	1		15
		研究法演習	3	1		30
		卒業研究	4		1	30
		作業療法管理学（倫理・管理）	4	1		15
		作業療法評価学概論	2	1		15
		作業療法評価学各論	2	1		30
		作業療法評価学演習	2	1		30
		基礎運動機能評価法	2	1		30
		生活機能論	2	1		30
		上肢機能評価法	2		1	15
		日常生活活動評価法	2		1	15
		認知機能評価法	3		1	15
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15
		作業療法適用学概論	2	1		15
		内科系疾患作業療法学	3	1		30
		運動器疾患作業療法学	3	1		30
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		老年作業療法学	3	1		30
		認知障害作業療法学	3	1		30
		認知症作業療法特論	3		1	15
		作業療法適用学特論	3		1	15
		作業療法応用学概論	4	1		15
		就学・就労支援論	4	1		15
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30
		コミュニケーション技術論	2	1		30
		職業関連技術学	3	1		30
		作業療法の諸外国事情	2 3 4		1	15
		地域生活作業療法論	4	1		30
		地域ケアシステム論	3 4		1	15
		生活支援計画論	3 4		1	15
		障害代償学概論	2	1		15
		義肢適用論	3	1		15
		装具・副子適用論	3	1		30
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30
		住環境整備論	3	1		15
		バリアフリー論	2 3 4		1	15
		作業療法総括論	4	1		30
		臨床実習特論Ⅰ（OSCE）	3		1	15
		臨床実習特論Ⅱ（OSCE）	4		1	15
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	3		135
臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	3	5		225		
総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	6		270		
総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270		
地域リハビリテーション実習	4	1		45		
臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1		1	15		
臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2		1	15		
臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3		1	15		
臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
生きがい論	1	2	3	4		2	30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
	地球環境論	1	2	3	4		2	30	
ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30		
手話入門	1	2	3	4		2	30		
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2		30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1	2	3	4		2	30	
	コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1	2	3	4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30	
医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30	
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15	
	食と人間	1	2				1	15	
	人間と性	1	2	3	4		1	15	
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30	
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15	
	現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15	
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4		1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4		1	30		
	系保 育健	健康科学理論	1 2 3 4	1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1		30	

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備考		
							必修	選択				
専門基礎 ／学部共通		公衆衛生学	1	2	3	4		2	30			
		救急医学		2	3				1	15		
		微生物と病気	1	2	3	4			2	30		
		リハビリテーション概論	1	2				2		30		
		関連職種連携論		2				2		30		
		看護論	1						2	30		
		ケアマネジメント論		2	3	4			1	15		
		ケースワーク論	1	2	3	4			1	15		
		医療管理学	1	2	3	4			2	30		
		保健医療福祉制度論	1					2		30		
		社会福祉学	1	2	3	4			2	30		
		臨床心理学概論	1	2	3	4			2	30		
		福祉支援工学概論	1	2	3	4			2	30		
		関連職種連携ワーク			3			1		30		
		関連職種連携実習				4			1	45		
		リスクマネジメント論			3	4			2	30		
		電子カルテシステム入門		2	3	4			1	15		
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4			1	15		
		レクリエーション概論		2	3	4			1	15		
	専門教育		解剖学	1					2		30	
			生理学	1					2		30	
		病理学	1					1		15		
		医学概論	1					1		15		
		内科学			3			1		30		
		精神医学			3			1		30		
		リハビリテーション医学		2				1		30		
		小児科学		2				1		30		
		耳鼻咽喉科学			3			1		30		
		臨床神経学		2				1		30		
		形成外科学			3			1		15		
		臨床歯科医学		2				1		15		
		口腔外科学			3			1		15		
		音声言語医学		2				1		30		
		中枢神経機能学		2				1		30		
		聴覚医学		2				1		30		
		児童精神医学	1	2	3	4			1	15		
		老年学	1	2	3	4			1	30		
		遺伝学	1	2	3	4			1	15		
		脳神経外科学	1	2	3	4			1	15		
		臨床心理学		2				1		30		
		生涯発達心理学	1					1		30		
		学習心理学		2				1		30		
		神経心理学	1					1		30		
		認知心理学		2				1		30		
		心理測定法		2				1		30		
		心理測定法演習		2				1		30		
		言語学	1					1		30		
		言語心理学		2				1		30		
		言語発達学		2				1		30		
		基礎音声学	1					1		30		
		音声学		2				1		30		
		音声音響学		2				1		30		
	聴覚心理学			3			1		30			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30
		コミュニケーション技能演習	1	1		30
		コミュニケーション障害演習	2	1		15
		言語聴覚障害診断学	3	1		30
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30
		失語症Ⅰ(評価・診断)	3	1		30
		失語症Ⅱ(治療)	3	1		30
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30
		高次脳機能障害学	3	1		30
		言語発達障害学総論	2	1		30
		言語発達障害学各論	2	1		30
		言語発達障害学Ⅰ(評価・診断)	3	1		30
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価・診断)	3	1		30
		言語発達障害学Ⅱ(指導)	3	1		30
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	3	1		30
		聴覚障害学総論	2	1		30
		聴覚機能評価学	2	2		60
		聴覚補償論(補聴器・人工内耳など)	3	1		30
		小児聴覚障害学Ⅰ(評価・診断)	3	1		30
		小児聴覚障害学Ⅱ(指導)	3	1		30
		成人聴覚障害学(二重障害を含む)	3	1		30
		発声発語障害学総論	2	2		30
		構音障害学Ⅰ(理論)	2	1		30
		構音障害学Ⅱ(評価・診断)	3	1		30
		構音障害学演習(治療)	3	1		45
		流暢性障害学	2	1		30
		音声障害学	3	1		30
		摂食・嚥下障害学Ⅰ(理論・評価診断)	3	1		30
		摂食・嚥下障害学Ⅱ(治療)	3	1		30
		言語聴覚障害学研究法	3		2	30
		言語聴覚障害基礎演習	3	1		15
		言語聴覚療法特論	4	1		15
		言語聴覚障害学特論(総括)	4	1		15
		卒業研究	4		4	60
		臨床実習Ⅰ(基礎)	3	2		80
		臨床実習Ⅱ(総合)	4	10		400

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4	2		30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
	死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
生きがい論	1	2	3	4		2	30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
	地球環境論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
	手話入門	1	2	3	4		2	30	
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2		30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2		30	
	数学	1	2	3	4	2		30	
	物理学	1	2	3	4	2		30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1	2	3	4	2		30	
	コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1	2	3	4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30	
医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30	
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15	
	食と人間	1	2				1	15	
	人間と性	1	2	3	4		1	15	
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30	
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15	
	現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15	
	ボランティア実践	1	2	3	4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1	30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1	30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4	1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4	1	30		
	系保 育健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門基礎 ／学部共通	公衆衛生学	1	2		30		
	救急医学	2		1	15		
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		
	リハビリテーション概論	1	2		30		
	関連職種連携論	2	2		30		
	看護論	1		2	30		
	ケアマネジメント論	2		1	15		
	ケースワーク論	1 2		1	15		
	医療管理学	1 2		2	30		
	保健医療福祉制度論	1 2		2	30		
	社会福祉学	1	2		30		
	臨床心理学概論	2	2		30		
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習	4		1	45		
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
	専門教育	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病理学	2		1	30	
		関係法規・医学概論	2	1		15	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30	
		神経学	2		1	30	
精神衛生		2	1		30		
リハビリテーション医学		2	1		30		
小児科学		2	1		30		
老年学		2		1	30		
神経心理学概論		2		2	30		
薬理学		2	1		30		
外科学		2		1	15		
栄養学		2		1	15		
保育		2	1		15		
視能学概論		1	2		30		
視器解剖生理学		1	2		30		
視器解剖病態学		2	2		30		
視覚運動生理学		2	2		30		
生理光学Ⅰ（基礎）		1	2		30		
視覚臨床生理学		3	2		30		
高次脳機能障害		3	1		30		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	専門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2	30	
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2	30	
		生理光学実習	2	2	90	
		臨床屈折矯正学演習	3	1	30	
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2	30	
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2	30	
		神経眼科学	3	2	30	
		視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	1	2	30	
		視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	2	2	30	
		視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	2	2	30	
		視能矯正学実習	2	2	90	
		視能検査学Ⅰ（機能検査）	3	2	30	
		視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	3	2	30	
		視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	3	3	135	
		視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	3	3	135	
		視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2	30	
		視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）	3	2	30	
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2	30	
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2	60	
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1	30	
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1	45	
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1	45	
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12	540	
		視能学評価実習	4	1	45	
		保健福祉実習	3	1	45	
		視覚リハビリテーション	3	1	30	
		視覚リハビリテーション演習	3	1	30	
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1	15	
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1	15	
		卒業研究	4	2	60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 放射線・情報科学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
生きがい論	1	2	3	4		2	30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
	地球環境論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
	手話入門	1	2	3	4		2	30	
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1					2	30	
	コンピュータの基礎	1					2	30	
	データリテラシー	1				1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30	
	医学/医療史	1	2	3	4		2	30	
人間工学	1	2	3	4		2	30		
大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15		
総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15		
食と人間	1	2				1	15		
人間と性	1	2	3	4		1	15		
持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15		
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30
		英語講読2 (Basic)	1	1		30
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30
		中国語入門	1 2 3 4		1	30
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
	韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎／学部共通		公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベーストプラクティス (研究と文献)	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎		基礎数学	1	1		30
		基礎統計学	2	1		30	
		自然科学概論	1	2		30	
		基礎物理学	1	1		30	
		基礎化学	1	1		30	
		基礎生物学	1	1		30	
		自然科学実験	1	1		45	
		解剖学Ⅰ (運動器系・循環器系・内臓系)	1	1		30	
		解剖学Ⅱ (内臓系・神経系・感覚器系)	1	1		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	2	2		30	
		病態生理学	2	1		15	
		臨床解剖学	3	1		30	
		医学概論	1	2		30	
		看護概論	3	1		15	
専門			応用数学	1		1	30
		放射線物理学Ⅰ (基礎)	1	1		30	
		放射線物理学Ⅱ (発展)	2	1		30	
		放射化学	2	1		30	
		放射線生物学	2	1		30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学	2	1		30	
		放射線計測学実験	2	1		45	
		放射線管理学	2	2		30	
		放射線管理学実験	4	1		45	
		放射線関係法規	3	1		15	
		画像情報学Ⅰ (感光理論・処理)	1	2		30	
		画像情報学Ⅱ (画質評価)	1	2		30	
		画像情報学実験	1	1		45	
		画像情報学特論	4		1	30	
		コンピュータ演習Ⅰ (データ処理)	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ (プログラミング)	2		1	30	
		医療情報システム論	3	1		15	
		医用工学	1	1		30	
		医用工学演習	2	1		30	
		X線機器工学	1	2		30	
		診療画像機器工学	2	1		30	
		X線機器工学実験	2	1		45	
		診療画像機器工学実験	2	1		45	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	専門	診療放射線概論	1	1		15
		診療画像検査学概論	1	1		15
		X線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2	1		30
		X線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2	1		30
		X線CT検査学	2	2		30
		MRⅠ検査学	2	2		30
		MRⅠ特論	4		1	30
		超音波検査学	2	2		30
		診療画像学実験Ⅰ（X線検査・他）	2	1		45
		診療画像学実験Ⅱ（CT・MRI・超音波検査・他）	2	1		45
		核医学Ⅰ（基礎）	2	2		30
		核医学Ⅱ（臨床）	3	2		30
		核医学実験	3	2		60
		核医学特論	4		1	30
		放射線治療学Ⅰ（物理・技術）	2	2		30
		放射線治療学Ⅱ（臨床）	3	2		30
		放射線治療機器工学	2	1		15
		放射線治療学実験	3	2		60
		放射線腫瘍特論	4		1	30
		画像解剖学	2	1		30
		画像診断学	4	1		30
		画像診断学演習	4		1	30
		死亡時画像診断学	4		1	30
		臨床医学Ⅰ（基礎）	3	1		30
		臨床医学Ⅱ（発展）	4	1		30
		臨床薬理学	3	1		15
		放射線救急医学	3	2		30
		医療安全概論	3	1		30
		医療安全管理学	4	1		30
		臨床画像学演習	3	2		60
		診療画像臨床実習	3	8		360
		核医学検査臨床実習	3	2		90
		放射線治療臨床実習	3	2		90
		診療放射線特論	4	1		30
		放射線学演習Ⅰ（基礎）	4	1		30
		放射線学演習Ⅱ（総合）	4	1		30
卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45		
卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45		

別表1 授業科目の名称及び単位数
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
	死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
生きがい論	1	2	3	4	2		30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
	地球環境論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
	手話入門	1	2	3	4		2	30	
経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1	2	3	4		2	30	
	コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1	2	3	4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30	
医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30	
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15	
	食と人間	1	2	3	4		1	15	
	人間と性	1	2	3	4		1	15	
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30	
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15	
	現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15	
	ボランティア実践	1	2	3	4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
総合教育系	英語講読1 (Primary)	1	1		30		
	英語講読2 (Basic)	1	1		30		
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
	英語CALL1 (Primary)	1	1		30		
	英語CALL2 (Basic)	1	1		30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
	聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30		
	フランス語入門	1 2 3 4		1	30		
	フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		
	ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		
	ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
	中国語入門	1 2 3 4		1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
	韓国語入門	1 2 3 4		1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4		1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4		1	30		
	系保健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備考	
							必修	選択			
専門基礎 ／学部共通		公衆衛生学	1	2	3	4		2	30		
		救急医学		2	3	4		1	15		
		微生物と病気	1	2	3	4		2	30		
		リハビリテーション概論	1	2	3	4		2	30		
		関連職種連携論		2			2		30		
		看護論	1					2	30		
		ケアマネジメント論	1	2	3	4		1	15		
		ケースワーク論	1	2	3	4		1	15		
		医療管理学	1	2	3	4		2	30		
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30		
		社会福祉学	1	2	3	4		2	30		
		臨床心理学概論	1	2	3	4		2	30		
		福祉支援工学概論	1	2	3	4		2	30		
		関連職種連携ワーク			3		1		30		
		関連職種連携実習				4		1	45		
		リスクマネジメント論			3	4		2	30		
		電子カルテシステム入門		2	3	4		1	15		
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4		1	15		
		レクリエーション概論		2	3	4		1	15		
	専門教育		入門ゼミ	1	2			1		30	
			こころとからだのしくみⅠ（身体）	1	2				2	30	
		こころとからだのしくみⅡ（精神）	1	2				2	30		
		医学概論	1					2	30		
		医療概論	1					2	30		
		社会福祉の原理と政策	1	2				4	60		
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1					2	30		
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1					2	30		
		介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）	1	2				4	60		
		生活支援技術Ⅰ（生活支援）	1	2				2	30		
		人間関係とチームケア	1	2				2	30		
		医療管理総論	1					2	30		
		経営学	1					4	60		
		簿記論Ⅰ（基礎）	1					4	60		
		臨床医学総論	1					2	30		
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	1					1	30		
		診療情報・マネジメント基礎演習	1					1	30		
		簿記演習Ⅰ（基礎）	1	2				2	60		
		レクリエーション指導法	1	2	3	4		4	60		
		こころとからだのしくみⅢ（生活支援）		2				4	60		
		コミュニケーション技術		2				4	60		
		介護の基本Ⅱ（自立に向けた介護等）		2				4	60		
		介護過程Ⅰ（介護過程の意義・展開）		2				4	60		
		障害の理解		2				4	60		
		生活支援技術Ⅱ（身支度・移動の介護）		2				4	60		
		生活支援技術Ⅲ（入浴・排泄・食事の介護）		2				4	60		
		生活支援技術Ⅳ（住環境・家事）		2				4	60		
		生活支援技術Ⅴ（睡眠・終末期の介護）		2				2	30		
		医療的ケア論Ⅰ		2				1	15		
		介護実習Ⅰ（多様な施設における実習）		2	3			2	90		
		介護総合演習Ⅰ（基礎）		2	3			2	60		
		医療福祉関連法規		2				2	30		
		医療管理各論Ⅰ（病院管理）		2				2	30		
		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）		2				2	30		
		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）		2				2	30		
		保健医療情報学		2				2	30		
		医療統計Ⅰ（統計理論）		2				2	30		
		医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）		2				2	30		
		医療情報統計演習		2	3			1	30		
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1	2				2	30		
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1	2				2	30		
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)		2	3			2	30		
	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)		2	3			2	30			
	ゼミナールⅠ（基礎）		2				2	60			
	経営学演習		2				2	60			
	診療報酬請求論Ⅰ（初級）		2				2	30			
	簿記論Ⅱ（商業簿記）		2	3			2	30			

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
	簿記論Ⅲ（工業簿記）	2 3		2	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		2	60	
	認知症の理解	2		4	60	
	発達と老化の理解	2		4	60	
	社会保障	2 3 4		4	60	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2 3 4		4	60	
	児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	
	子ども家庭援助論	2 3 4		2	30	
	障害者福祉	2 3 4		2	30	
	地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	
	高齢者福祉	2 3 4		2	30	
	精神医学と精神医療	2 3 4		4	60	
	現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60	
	精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60	
	高齢者援助論	2 3 4		2	30	
	障害者援助論	2 3 4		2	30	
	心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	
	カウンセリング論	2 3 4		2	30	
	医学・医療用語	1 2 3 4		2	30	
	薬学概論	2 3 4		2	30	
	医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30	
	医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30	
	会計学	2 3 4		2	30	
	経営戦略論	3 4		2	30	
	人事労務管理論	3 4		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		2	90	
	介護の基本Ⅲ（リスキリング・連携等）	3		4	60	
	介護過程Ⅱ（介護過程の実践的展開）	3		4	60	
	介護過程Ⅲ（介護過程とチームアプローチ）	3		2	30	
	介護総合演習Ⅱ（応用）	3		2	60	
	生活支援技術Ⅵ（形態別に応じた介護）	3		4	60	
	医療的ケア論Ⅱ	3		2	30	
	医療的ケア論Ⅲ	3		2	30	
	医療的ケア論Ⅳ(演習)	3		1	30	
	介護実習Ⅱ（ケアプラン作成）	3		4	180	
	介護実習Ⅲ（ケアプラン実施）	3		4	180	
	ゼミナールⅡ（応用）	3		2	60	
	診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	3		2	30	
	診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	3		2	30	
	診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	3		2	30	
	診療報酬請求演習	3		1	30	
	診療報酬請求論Ⅱ（中級）	2		2	30	
	診療報酬請求論Ⅲ（上級）	3		2	30	
	病院原価計算概論	3		2	30	
	病院施設管理論	3		2	30	
	病院管理演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
	病院管理演習Ⅱ（応用）	3		1	30	
	病院実習	3		4	180	
	簿記演習Ⅱ（応用）	2 3		2	60	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	
	医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30	
	権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	
	貧困に対する支援	3 4		2	30	
	刑事司法と福祉	3 4		2	30	
	社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	
	福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	
	メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60	
	精神保健福祉制度論	3 4		2	30	
	精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	
	保健医療と福祉	3 4		2	30	
	マーケティング論	3 4		2	30	
	マネジメント論	3 4		2	30	
	経営分析論	3 4		2	30	

専門教育

専門

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
専門教育	専門	財務管理論	3	4	2	30	
		国際統計分類Ⅰ（国際疾病分類）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ（分類コードの実際）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅰ特別講義（基礎）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ特別講義（応用）	3		2	30	
		診療情報管理演習Ⅰ（基礎）	3	4	1	30	
		診療情報管理演習Ⅱ（専門）	3	4	1	30	
		診療情報管理演習Ⅲ（分類法）	3	4	1	30	
		医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60	
		医療ソーシャルワーク実習	4		4	180	
		医療福祉実習指導	4		1	30	
		医療福祉実習	4		2	90	
		介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅰ（人と社会）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅱ（相談援助）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅲ（地域福祉）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅳ（福祉とサービスの知識）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅴ（関連サービスの知識）	4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習A	4		4	180	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習B	4		5	225	
		精神保健福祉特別講義Ⅰ（基礎）	4		2	30	
		精神保健福祉特別講義Ⅱ（応用）	4		2	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅰ（基礎）	4		1	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅱ（応用）	4		1	30	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
薬学部 薬学科

授業科目の名称		配当年次					単位数		時間	備考	
							必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15	
	心理学	1						2		30	
	哲学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	コミュニケーション概論	1						2		30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30	
	人間学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	教育学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4	5	6		2	30	
生きがい論	1	2	3	4	5	6		2	30		
社会系	法学	1						2		30	
	日本国憲法	1	2	3	4	5	6		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30	
	社会学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	日本政治経済論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	福祉経済学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	海外保健福祉事情	1	2	3	4	5	6		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	5	6	1		30	
	地球環境論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30		
経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30		
自然・情報系	統計学	1						2		30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	数学	1						2		30	
	物理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	化学	1						2		30	
	生物学	1						2		30	
	コンピュータの基礎	1	2	3	4	5	6		2	30	
	データリテラシー	1						1		30	
	医療データサイエンスⅠ (DS基礎)		2	3	4	5	6		1	30	
	医療データサイエンスⅡ (AI基礎)		2	3	4	5	6		1	30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1						1		30	
医学／医療史	1	2	3	4	5	6		2	30		
人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30		
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1						1		30	
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4	5	6		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	5	6		1	15	
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4	5	6		1	15	
	食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15	
	人間と性	1	2	3	4	5	6		1	15	
	持続可能な発展	1	2	3	4	5	6		2	30	
	読書ゼミナール	1	2	3	4	5	6		1	15	
	現代医療福祉事情	1	2	3	4	5	6		1	15	
	ボランティア実践	1	2	3	4	5	6		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読2 (Basic)	2	1	30		
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1	30		
		英語CALL2 (Basic)	2	1	30		
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
	中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
	韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30		
	系 体保健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎／学部共通	専門基礎	公衆衛生学	3	2		30	
		救急医学	3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携論	2		2	30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		臨床心理学概論	1		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3		1	30	
		関連職種連携実習	5		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 5 6		1	15		
	レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15		
	専門基礎	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2		1	30	
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3		1	30	
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3		1	30	
		薬学計算	2		1	30	
		病原微生物学	3		2	30	
		コミュニケーション実習	2		1	45	
		基礎薬学実習Ⅰ（物理）	1		1	45	
	基礎薬学実習Ⅱ（生物）	1		1	45		
	専門教育	薬学概論	1		2	30	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1		2	30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2		2	30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2		2	30	
		生薬学	2		2	30	
天然物化学		2		1	15		
医薬品構造化学		3		1	15		
分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）		1		2	30		
分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）		2		2	30		
医薬品構造解析		2		2	30		
薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）		1		2	30		
薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）		2		2	30		
放射化学		2		1	15		
生化学Ⅰ（生体分子）		1		2	30		
生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）		2		2	30		
分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）		2		2	30		
分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）		2		2	30		
解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）		1		2	30		
解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）		2		2	30		
解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）		2		2	30		
がん薬物療法学		3		2	30		
ゲノム医療		3		1	15		
化学療法学		3		2	30		
免疫学		2		2	30		
疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）		2		2	30		
疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）		3		2	30		
疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）		3		2	30		
薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）		3		2	30		
薬理学Ⅱ（中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等）		3		2	30		
薬理学Ⅲ（循環器薬理、消化器薬理等）		4		2	30		
薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）		4		2	30		
医薬品安全性学		4		2	30		
臨床検査医学		3		2	30		
薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）		4		2	30		
薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）		4		2	30		
薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6		2	30			

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専 門 教 育	専 門	物理薬剤学	2	2		30	
		製剤設計とDDS	4	2		30	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15	
		薬物動態学	3	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	6	1		15	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		医療関係法規	4	2		30	
		日本薬局方	3	1		15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4	1		15	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
		物理系薬学実習	2	1		45	
		生物系薬学実習	4	1		45	
		分子生物学実習	3	1		45	
		臨床検査医学実習	3	1		45	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		早期体験実習	1	1		45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4	2		90	
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4	2		90	
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5 6	10		450	
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5 6	10		450	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		15	
総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		15			
卒業研究	5 6	8		360			

別表1 授業科目の名称及び単位数
 留学生用日本語科目(保健医療学部・医療福祉学部・薬学部 共通)

授業科目の名称		配当年次						単位数			時間	備考	
								必修	選択	自由			
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		作文・読解Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		作文・読解Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6	1			30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6	1			30	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1	2							3	90	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1	2							3	90	

別表1 授業科目の名称及び単位数
 医学部 医学科

	授業科目の名称	配当年次	履修区分・単位数			時間	備考
			必修	選択	自由		
総合 教育 科目	人間系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1 2	1		30	
		死生学	1		1	15	
		医学史	1		1	15	
		芸術政策論	1		1	15	
		日本の近現代史	1		1	15	
		医療プロフェッショナルリズムⅠ（入門）	1	2		60	
		医療プロフェッショナルリズムⅡ（応用）	2	1		30	
		医療プロフェッショナルリズムⅢ（発展）	3	1		30	
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2	1		30	
		法と医療	1 2	1		15	
		社会保障と医療制度	1	1		15	
		英字新聞で読む社会学・政治学	1		1	15	
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1		1	15	
		海外保健福祉事情	2		2	90	
	全地球 的な 課題	国際機関論	1		1	15	
		持続可能な発展	1		1	15	
		異文化コミュニケーション	1		1	15	
		国際関係論	1		1	15	
		経済成長をめぐる世界の諸問題	1		1	15	
		国際医療保健学Ⅰ（入門）	1	1		15	
		国際医療保健学Ⅱ（応用）	2	1		15	
		国際医療保健学Ⅲ（発展）	3	1		30	
	数学・ 自然 科学系	医療必修－医療の倫理と医療プロフェッショナルリズム－	1 2	1		30	
		データリテラシー	1	1		15	
		数学	1		1	15	
		生物学	1		1	15	
		化学	1		1	15	
		物理学	1		1	15	
		医療生物学	1	1		15	
		医療化学	1	1		15	
		医療物理学・医用工学	1	1		15	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	3		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	3		1	30		
	外国 語系	英語ⅠA（入門）	1	2		60	
		英語ⅠB（初級）	1	1		30	
		英語Ⅱ（中級）	2	1		30	
		英語Ⅲ（上級）	3	1		30	
		英語コミュニケーションA（入門）	1 2 3		2.5	75	
		英語コミュニケーションB（実践）	1 2 3		2.5	75	
		英語コミュニケーションC（発展）	1 2 3		2.5	75	
		ドイツ語入門(会話含む)	1		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1		1	30	
ビルマ語入門(会話含む)		1		1	30		
ドイツ語応用(会話含む)		1		1	30		
中国語応用(会話含む)		1		1	30		
韓国語応用(会話含む)		1		1	30		
フランス語応用(会話含む)		1		1	30		
スペイン語応用(会話含む)		1		1	30		
タイ語応用(会話含む)		1		1	30		
ベトナム語応用(会話含む)		1		1	30		
ビルマ語応用(会話含む)		1		1	30		
日本語Ⅰ-A(作文)		1		1	30		
日本語Ⅰ-B(文法・語彙)		1		1	30		
日本語Ⅱ-A(作文)		1		1	30		
日本語Ⅱ-B(文法・語彙)		1		1	30		
日本語Ⅱ-C(発表討論)		1		1	30		
日本語Ⅱ-D(専門日本語)		1		1	30		
日本語Ⅲ-A(作文)		1		1	30		
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)		1		1	30		
日本語Ⅲ-C(発表・討論)		1		1	30		
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1		1	30			

		授業科目の名称	配当年次	履修区分・単位数			時間	備考		
				必修	選択	自由				
総合教育科目	外国語系	医療福祉専門漢字	1			1	30			
		医療福祉専門語彙	1			1	30			
		日本語IV・C(発表・討論)	2 3			1	30			
		日本語V・C(発表・討論)	2 3			1	30			
		日本語IV・E(読解・作文)	2 3			1	30			
		日本語V・E(読解・作文)	2 3			1	30			
専門科目	専門基礎	医学英語Ⅰ(基礎)	1		2		60			
		医学英語Ⅱ(臨床英語の基本)	2		1		30			
		医学英語Ⅲ(臨床英語の応用)	3		1		30			
		医学英語Ⅳ(医学英語の実践・基本)	4		1		30			
		医学英語Ⅴ(医学英語の実践・応用)	5		1		30			
		医学英語Ⅵ(医学英語の総括)	6		1		30			
		骨学・神経解剖学	2		1		30			
		医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1		1		30			
		医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2		1		30			
		基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1		3		45			
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1		2		30			
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1		1		15			
		基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1		2		30			
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1		2		30			
		基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1		1		15			
		基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1		1		30			
		基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1		1		15			
		基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1		1		30			
		人体発生学	1		1		15			
		生殖・妊娠・分娩	1		1		15			
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1		5		75			
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	2		5		75			
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2		5		75			
		器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2		4		60			
		器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2		3		45			
		器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2		4		60			
		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2		4		60			
		器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2		6		90			
		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	3		3		45			
		器官別統合講義Ⅹ(血液系)	3		3		45			
		人体解剖学実習	2		3		135			
		早期体験実習Ⅰ(基礎)	1		0.5		15			
		早期体験実習Ⅱ(応用)	2		0.5		15			
		早期体験実習Ⅲ(発展)	3		0.5		15			
		関連職種連携ワーク	4		1		30			
		関連職種連携実習	5			1	45			
		専門	専門	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	3		2		30	
				感染症	1		3		45	
				腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	3		3		45	
				救急と集中治療	3		1		15	
				麻酔	3		1		15	
				予防医学・行動科学	3		1		15	
				老年医学	3		1		15	
				社会医学Ⅰ(医療管理学)	3		1		15	
				社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3		3		45	
				社会医学Ⅲ(法医学)	3		1.5		23	
				社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3		1.5		23	
				総合臨床医学	3 4		11		165	
				臨床診断入門	3 4		9.5		285	
				症候と臨床推論	3 4		8		240	
総括講義	6				8		120			
医学研究	6				8		360			
臨床実習Ⅰ(基礎)	4				20		900			
臨床実習Ⅱ(応用)	5				20		900			
臨床実習Ⅲ(専門)	5				20		900			
臨床実習Ⅳ(実践)	6				16		720			
臨床実習Ⅴ(発展)	6				8		360			

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田看護学部 看護学科

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
				必修	選択			
総合教育科目	人間系	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
			演劇論	1 2 3 4		1	15	
			パフォーマンス表現論	1		2	30	
			心理学	1 2 3 4		2	30	
			哲学	1 2 3 4		2	30	
			コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
			人間学	1 2 3 4		2	30	
			文化人類学	1 2 3 4		2	30	
			宗教学	1 2 3 4		2	30	
			歴史学	1 2 3 4		2	30	
			倫理学	1 2 3 4		2	30	
			教育学	1 2 3 4		2	30	
			教育方法論	1 2 3 4		2	30	
			死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
			雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1 2 3 4		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30			
	社会系	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
			法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
			医療関連法規	1		2	30	
			我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
			経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
			経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
			世界の経済	1 2 3 4		2	30	
			アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
			世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
			世界遺産と国際文化政策	1 2 3 4		2	30	
			経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
			組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
			社会学(人間と社会)	1 2 3 4		2	30	
			マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
			新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
			国際関係論	1 2 3 4		2	30	
			国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
			海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1 2	1		30	
			海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	2 3	1		45	
			ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
			ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
			手話入門	1 2 3 4		2	30	
			防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	自然・情報系	保健統計	1		2	30	
			疫学	1		2	30	
			数学	1 2 3 4		2	30	
物理学			1 2 3 4		2	30		
化学			1 2 3 4		2	30		
生物学			1 2 3 4		2	30		
データリテラシー			1	1		30		
医療データサイエンスⅠ(DS基礎)			2 3 4		1	30		
医療データサイエンスⅡ(AI基礎)			2 3 4		1	30		
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-			1	1		30		
医学/医療史			1 2 3 4		2	30		
人間工学			1 2 3 4		2	30		
総合系	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30		
		郷土論	1 2 3 4		1	15		
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15		
		食と人間	1 2 3 4		1	15		
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30		
		総合講義	1 2 3 4		1	15		

			授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
					必修	選択		
			英語講読1 (Primary)	1		1	30	
			英語講読2 (Basic)	1		1	30	
			英語CALL1 (Primary)	1		1	30	
			英語CALL2 (Basic)	1		1	30	
			英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
			英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
			英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
			英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
			英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
			英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
			英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
			英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
			国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
			資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
			資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
			基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
			基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
			上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
			上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
			上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
			ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
			日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
			医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
			医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健 体育系	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
			健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	1 2 3 4		1	15	
		感染と免疫	1	2		30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	4		1	15	
		レクリエーション概論	1 2 3 4		1	15	
		国際医療保健学	1	1		15	
	異文化体験実習	1 2 3 4		1	45		
	学部設置科目	行動科学とモチベーション	1 2		1	15	
		キャリアデザイン	1		1	15	
		からだの構造	1	1		30	
		からだの機能	1	1		30	
		疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	1	2		30	
		疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	2	2		30	
		疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	2	2		30	
		疾病・治療学Ⅳ（小児、感覚器）	2	2		30	
		疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	2	2		30	
		人間と栄養	1	1		15	
		薬理学	2	2		30	
		遺伝と医療	1	1		15	
先端医療とヘルスケアテクノロジー		4		1	15		
人間発達学	1	1		15			

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	基礎看護学	看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		基礎看護学方法論Ⅰ(看護コミュニケーション)	1	1		15	
		基礎看護学方法論Ⅱ(看護過程)	2	2		30	
		基礎看護学演習Ⅰ(日常生活援助技術)	1	2		60	
		基礎看護学演習Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1	1		30	
		基礎看護学演習Ⅲ(医療支援技術)	2	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ(入門)	1	1		45	
	管理看護学	看護情報リテラシー	1	1		15	
		看護管理学概論	4	1		15	
		看護管理学演習	4		1	30	
		保健事業戦略とマネジメント	4		1	15	
	ティップログダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学概論	1	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ(病院・施設実習)	2	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ(産科病棟外来実習)	3	1		45	
	小児看護学	小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	3	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習	3	2		90	
	成人看護学	成人看護学概論	2	1		15	
		成人看護学方法論Ⅰ	3	2		60	
		成人看護学方法論Ⅱ	3	2		60	
		成人看護学方法論Ⅲ	3	1		30	
		成人看護学実習Ⅰ	3	2		90	
		成人看護学実習Ⅱ	3	2		90	
	老年看護学	老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	3	2		30	
		老年看護学演習	3	1		30	
		老年看護学実習	3	2		90	
	精神看護学	精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	3	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
	国際看護学	国際看護学Ⅰ(異文化と看護)	2	1		15	
		国際看護学Ⅱ(活動の実際)	2	3	4	1	15
		国際看護研修(途上国)	3	4		2	90
	災害看護学	感染看護論	2	1		15	
		災害関連健康危機管理論	4	1		15	
		国際検疫看護論	4		1	15	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	2		30	
		産業・学校保健	2		2	30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅰ(公衆衛生看護技術)	2		2	30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅱ(地域アセスメント)	3		2	30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅰ(発達段階別保健活動)	2		2	30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅱ(健康課題別保健活動)	3		2	30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅲ(地域包括ケア等)	4		1	15	
		家族看護論	2		1	15	
		公衆衛生看護活動展開論	4		2	30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政保健)	4		4	180	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業保健)	4		1	45		
地域在宅看護学	地域・在宅看護学概論	2	1		15		
	地域・在宅看護学方法論Ⅰ	3	2		30		
	地域・在宅看護学方法論Ⅱ	3	2		30		
	地域・在宅看護学演習	3	1		30		
	地域・在宅看護学実習	3	2		90		
統合分野	看護総合実習	4	5		225		
	看護倫理学	4	1		15		
	看護研究	4	2		30		
	研究ゼミナール	4	1		30		
	海外看護研修	4		2	90		

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	パフォーマンス表現論	1	2	3	4		2	30	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	歴史学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1				2		30	
	教育方法論	1	2	3	4		2	30	
死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
	法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
	医療関連法規	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30	
	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
	経済の歴史	1	2	3	4		2	30	
	世界の経済	1	2	3	4		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
	世界の中の和文化	1	2	3	4		1	15	
	経営の仕組み	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	社会学(人間と社会)	1	2	3	4		2	30	
	マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
	新聞でみた日本と世界	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1	2			1		30	
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)		2	3		1		45	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
	手話入門	1	2	3	4		2	30	
	防災と生活デザイン	1	2	3	4		2	30	
自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	化学	1	2	3	4		2	30	
	生物学	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1				1		30	
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)		2	3	4		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1				1		30	
医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30	
	郷土論	1	2	3	4		1	15	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	食と人間	1	2	3	4		1	15	
総合講義	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読2 (Basic)	1	1	30	
		英語C A L L 1 (Primary)	1	1	30	
		英語C A L L 2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30		
保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考		
				必修	選択				
専門基礎科目 / 学部共通		公衆衛生学	1 2		2	30			
		救急医学	2		1	15			
		感染と免疫	1 2		2	30			
		リハビリテーション概論	1		1	30			
		関連職種連携論	2		2	30			
		ケアマネジメント論	2 3		1	15			
		ケースワーク論	1 2		1	15			
		医療管理学	1 2		2	30			
		保健医療福祉制度論	1 2		2	30			
		社会福祉学	1 2		2	30			
		臨床心理学概論	2		2	30			
		医療情報学概論	2 3		2	30			
		福祉支援工学概論	1 2		2	30			
		関連職種連携ワーク	3	1		30			
		関連職種連携実習	4		1	45			
		リスクマネジメント論	3 4		2	30			
		電子カルテシステム入門	2 3		1	15			
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	2 3		1	15			
		レクリエーション概論	3		1	15			
		災害保健学	1 2 3		1	15			
		予防保健学	1 2 3		1	15			
		国際医療保健学	1 2 3 4		1	15			
		異文化体験実習	1 2 3 4		1	45			
		専門教育科目	専門基礎科目	解剖学 I (運動器系、内臓器系)	1		1	30	
				解剖学 II (内臓器系、神経系)	1		1	30	
				解剖学実習 I (肉眼)	1		1	45	
				解剖学実習 II (組織)	1		1	45	
				生理学 I (植物性機能)	1		1	30	
				生理学 II (動物性機能)	1		1	30	
				生理学実習	1		1	45	
				運動学 I (基礎)	1		1	30	
				運動学 II (応用)	1		1	30	
				運動生理学	1		1	30	
				病理学	2		1	30	
				臨床医学概論	2		1	30	
内科学 I (基礎)	2				1	30			
内科学 II (臨床)	2				1	30			
神経学 I (基礎)	2				1	30			
神経学 II (臨床)	2				1	30			
整形外科 I (基礎)	2				1	30			
整形外科 II (臨床)	2				1	30			
精神医学 I (総論・各論)	2				1	30			
精神医学 II (各論)	2 3				1	30			
運動学特論	2				2	60			
人間発達学	2				1	30			
リハビリテーション医学	2				1	30			
小児科学	2				1	30			
老年学	2 3				1	30			
神経心理学概論	2 3				2	30			
臨床薬理学概論	2				1	15			
スポーツ傷害学	2 3				1	15			
外科学	2 3				1	15			
栄養学	2 3				1	15			
国際医療保健学演習	2 3 4				1	15			
国際医療保健学実習	2 3 4				1	45			
専門科目				理学療法概論	1		2	30	
				機能解剖学	2		1	30	
				病態運動学	3		1	30	
		物理療法 I (理論)	1		1	30			
		物理療法 II (実践)	2		1	30			
		PTスキル I 演習(キャリアデザイン)	1		1	30			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考		
			必修	選択				
専門 教育 科目	専門 科目	PTスキルⅡ演習(検査・測定)	2	1		30		
		PTスキルⅢ演習(専門知識の確認)	3	2		60		
		PTスキルⅣ演習(臨床PBL)	3	2		60		
		理学療法評価学	2	2		30		
		理学療法診断学Ⅰ(基礎)	2	1		30		
		理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	2	1		30		
		理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)	2	1		30		
		スポーツバイオメカニクス	2		1	15		
		動作分析学	2	1		15		
		運動処方理論	2		1	15		
		運動療法学総論	3	1		30		
		理学療法治療学総論	3	1		30		
		メディカルイングリッシュボキャブラリー	2		1	15		
		グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	3		1	15		
		グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	3		1	15		
		運動系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30		
		運動系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30		
		神経系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30		
		神経系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30		
		内科系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30		
		内科系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30		
		高齢者理学療法学	3		1	15		
		装具学	3	1		30		
		義肢学	3	1		30		
		生活技術学	3	1		30		
		生活環境学	3	1		30		
		地域理学療法演習(在宅・地域)	3	1		30		
		小児理学療法学	3	1		30		
		理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	3		1	30		
		理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	3		1	30		
		先端機能解剖学	3	4	1	15		
		先端運動系理学療法学	3	4	1	15		
		先端神経系理学療法学	3	4	1	15		
		先端内科系理学療法学	3	4	1	15		
		先端スポーツ理学療法学	3	4	1	15		
		先端予防理学療法学	3	4	1	15		
		テーピング治療学	3		1	15		
		クリニカルリーディング	3	1		30		
		リハビリテーション栄養学	3		1	15		
		運動心理学	3		1	15		
		理学療法管理学	3	2		30		
		ウイメンズヘルス理学療法学	3		1	15		
		理学療法国際実習		4		1	45	
		障がい者スポーツ概論	3		1	15		
		理学療法特論		4	1		30	
		基礎実習	1		1		45	
		地域リハビリテーション実習(訪問・通所)	2		1		45	
		検査実習	2		2		90	
		評価実習	3		4		180	
		総合臨床実習		4	12		540	
理学療法研究のデザイン	3		1		30			
卒業研究		4	2		60			

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
	演劇論	1	2	3	4		1	15		
	パフォーマンス表現論	1	2	3	4		2	30		
	心理学	1	2	3	4		2	30		
	哲学	1	2	3	4		2	30		
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
	人間学	1	2	3	4		2	30		
	歴史学	1	2	3	4		2	30		
	倫理学	1	2	3	4		2	30		
	宗教学	1	2	3	4		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4		2	30		
	教育学	1	2	3	4		2	30		
	教育方法論	1	2	3	4		2	30		
	死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4		2	30	
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		1				1		30		
経済の仕組み		1	2	3	4		2	30		
経済の歴史		1	2	3	4		2	30		
世界の経済		1	2	3	4		2	30		
アジア諸国の経済・社会・文化		1	2	3	4		2	30		
世界の中の和 문화		1	2	3	4		1	15		
経営の仕組み		1	2	3	4		2	30		
組織運営管理論		1	2	3	4		2	30		
社会学(人間と社会)		1	2	3	4		2	30		
マスメディア論		1	2	3	4		2	30		
新聞でみた日本と世界		1	2	3	4		2	30		
国際関係論		1	2	3	4		2	30		
国際医療福祉論		1	2	3	4		2	30		
海外保健福祉事情Ⅰ(講義)		1	2			1		30		
海外保健福祉事情Ⅱ(実習)			2	3		1		45		
ボランティア論		1	2	3	4		2	30		
ボランティアコーディネータ論		1	2	3	4		2	30		
手話入門		1	2	3	4		2	30		
防災と生活デザイン		1	2	3	4		2	30		
自然・情報系		統計学	1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30		
	数学	1	2	3	4		2	30		
	物理学	1	2	3	4		2	30		
	化学	1	2	3	4		2	30		
	生物学	1	2	3	4		2	30		
	データリテラシー	1				1		30		
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)		2	3	4		1	30		
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)		2	3	4		1	30		
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1				1		30		
	医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
	郷土論	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	食と人間	1	2	3	4		1	15		
	総合講義	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考			
			必修	選択					
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30			
		英語講読2 (Basic)	1	1		30			
		英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30			
		英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30			
		英語講読3 (Intermediate)	2	3	4	1	30		
		英語講読4 (Advanced)	2	3	4	1	30		
		英語会話1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2	3	4	1	30		
		英語会話4 (Advanced)	2	3	4	1	30		
		英語ライティング1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		国際医療通訳入門	1	2	3	4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		上級英語文献講読	1	2	3	4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1	2	3	4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		中国語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
日本語Ⅲ-B (記述)	1	2	3	4	1	30			
日本語Ⅲ-C (読解)	1	2	3	4	1	30			
日本語Ⅲ-D (会話)	1	2	3	4	1	30			
医療福祉専門漢字	1	2	3	4	1	30			
医療福祉専門語彙	1	2	3	4	1	30			
保健 体育系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15		
	健康科学実践	1	2	3	4	1	30		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考		
				必修	選択				
専門基礎科目 / 学部共通		公衆衛生学	1	2		30			
		救急医学	2	1		15			
		感染と免疫	1 2		2	30			
		リハビリテーション概論	1	2		30			
		関連職種連携論	2	2		30			
		ケアマネジメント論	2 3		1	15			
		ケースワーク論	1 2		1	15			
		医療管理学	2 3		2	30			
		保健医療福祉制度論	3 4		2	30			
		社会福祉学	1 2		2	30			
		臨床心理学概論	2	2		30			
		医療情報学概論	2 3		2	30			
		福祉支援工学概論	1 2		2	30			
		関連職種連携ワーク	3	1		30			
		関連職種連携実習	4		1	45			
		リスクマネジメント論	3 4		2	30			
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15			
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	2 3		1	15			
		レクリエーション概論	3 4		1	15			
		災害保健学	1 2		1	15			
		予防保健学	1 2		1	15			
		国際医療保健学	1 2		1	15			
		異文化体験実習	1 2		1	45			
		専門教育科目		解剖学Ⅰ (運動器系、循環器系)	1	1		30	
				解剖学Ⅱ (内臓学、神経系、感覚器系)	1	1		30	
				解剖学実習	1	1		45	
				生理学Ⅰ (植物性機能)	1	1		30	
				生理学Ⅱ (動物性機能)	1	1		30	
				生理学実習	1	1		45	
				運動学Ⅰ (基礎)	1	1		30	
				運動学Ⅱ (応用)	1	1		30	
				運動学実習	2	1		45	
				運動生理学	2	1		30	
				病理学	2	1		30	
				内科学	2	1		30	
				神経学Ⅰ (基礎)	2	1		30	
				神経学Ⅱ (臨床)	2	1		30	
				整形外科Ⅰ (基礎)	2	1		30	
				整形外科Ⅱ (臨床)	2	1		30	
精神医学Ⅰ (基礎)	2			1		30			
精神医学Ⅱ (臨床)	2			1		30			
小児科学	2			1		30			
老年学	2			1		30			
リハビリテーション医学	2			1		30			
人間発達学	1			1		30			
病態生理学	2 3				1	15			
臨床薬理学概論	2			1		15			
栄養学	2 3				1	15			
外科学	2 3				1	15			
脳神経外科学	2 3				1	15			
神経心理学概論	2 3				1	15			
対人援助論	1 2				1	15			
国際医療保健学演習	2 3 4				1	15			
国際医療保健学実習	2 3 4				1	45			
専門教育科目				作業療法概論	1	1		15	
				作業学概論	1	1		15	
				作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
				作業工程技術学・応用論	3	1		30	
				作業分析学Ⅰ (基礎)	1	1		30	
				作業分析学Ⅱ (応用)	2	1		30	
				作業応用論	2 3		1	30	
				研究法概論	3	1		15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	研究法演習	3	1		30
		卒業研究	4		1	30
		作業療法管理学Ⅰ（基礎）	3	1		15
		作業療法管理学Ⅱ（応用）	4	1		15
		作業療法総括論	4	1		30
		作業療法評価学概論	2	1		15
		作業療法評価学各論	2	1		30
		作業療法評価学演習	2	1		30
		基礎運動機能評価法	2	1		30
		生活機能論	2	1		15
		基礎精神機能評価法	2	1		30
		上肢機能評価法	2 3		1	15
		日常生活活動評価法	2 3		1	15
		高次脳機能評価法	2 3		1	15
		作業療法適用学概論	2	1		15
		内科系疾患作業療法学	3	1		30
		運動器疾患作業療法学	3	1		30
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		精神疾患作業療法学Ⅰ（各論）	3	1		30
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30
		老年作業療法学	3	1		30
		作業療法諸理論	4		1	15
		作業療法応用学概論	3	1		15
		就学・就労支援論	3	1		15
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30
		コミュニケーション技術論	1 2		1	30
		職業関連技術学	3	1		30
		地域生活作業療法論	3	1		30
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	2 3		1	15
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	2 3		1	15
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15
		認知症作業療法特論	3 4		1	15
		先端作業療法特論	1 2		1	15
		地域生活支援論	3 4		1	15
		障害代償学概論	3	1		15
		住環境整備論	3	1		15
		義肢・装具・副子適用論	3	1		30
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30
		バリアフリー論	2 3		1	15
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1		1	45
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2		1	45
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	2		90
		臨床実習Ⅳ（臨床推論）	3	5		225
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	7		315
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270
		地域リハビリテーション実習	3	1		45
		地域生活支援システム実習	4	1		45
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1 2		1	15
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2 3		1	15
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3 4		1	15
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15
臨床実習特論	3		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
人間系	文学論	1 2 3		2	30		
	演劇論	1 2 3		1	15		
	パフォーマンス表現論	1 2 3		2	30		
	心理学	1 2		2	30		
	哲学	1 2 3		2	30		
	コミュニケーション概論	1 2		2	30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3		2	30		
	人間学	1 2		2	30		
	歴史学	1 2		2	30		
	倫理学	1 2		2	30		
	宗教学	1 2		2	30		
	日本近現代史	1 2		2	30		
	文化人類学	1 2 3		2	30		
	教育学	1 2		2	30		
	教育方法論	1 2 3 4		2	30		
	死生学・死を通して生を考える	1 2		2	30		
	社会系	法学	1 2		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2		2	30	
		医療関連法規	1 2 3		2	30	
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		1	1		30		
経済の仕組み		1 2 3		2	30		
経済の歴史		1 2		2	30		
世界の経済		1 2 3		2	30		
アジア諸国の経済・社会・文化		1 2		2	30		
世界の中の和 문화		1 2 3		1	15		
経営の仕組み		1 2 3		2	30		
組織運営管理論		1 2 3		2	30		
社会学(人間と社会)		1 2 3		2	30		
マスメディア論		1 2		2	30		
新聞でみた日本と世界		1 2 3		2	30		
国際関係論		1 2 3		2	30		
国際医療福祉論		1 2 3		2	30		
海外保健福祉事情Ⅰ(講義)		1 2	1		30		
海外保健福祉事情Ⅱ(実習)		2 3	1		45		
ボランティア論		1 2		2	30		
ボランティアコーディネータ論		1 2		2	30		
手話入門		1 2 3		2	30		
防災と生活デザイン		1 2 3		2	30		
自然・情報系		統計学	1	2		30	
	疫学・保健医療統計学	1 2		2	30		
	数学	1 2 3		2	30		
	物理学	1 2 3		2	30		
	化学	1 2 3		2	30		
	生物学	1 2 3		2	30		
	データリテラシー	1	1		30		
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	2 3 4		1	30		
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2 3 4		1	30		
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1		30		
	医学/医療史	1 2		2	30		
人間工学	1 2		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30		
	郷土論	1 2 3		1	15		
	医療福祉教養講義	1 2		1	15		
	メディカルマナー入門	1 2		2	30		
	食と人間	1 2		1	15		
	総合講義	1 2 3 4		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30
		英語講読2 (Basic)	1	1		30
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30
		英語講読3 (Intermediate)	2 3		1	30
		英語講読4 (Advanced)	2		1	30
		英語会話1 (Primary)	1 2 3		1	30
		英語会話2 (Basic)	1 2		1	30
		英語会話3 (Intermediate)	2 3		1	30
		英語会話4 (Advanced)	2		1	30
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3		1	30
		英語ライティング2 (Basic)	1 2		1	30
		国際医療通訳入門	1 2 3		1	30
		資格英語1 (Primary)	1 2 3		1	30
		資格英語2 (Basic)	1 2		1	30
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3		1	30
		基礎英文法2 (Basic)	1 2		1	30
		上級英語文献講読	1 2 3		1	30
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3		1	30
		上級英語会話2 (総合)	1 2		1	30
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		中国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		中国語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		韓国語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		フランス語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		タイ語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2		1	30
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3		1	30
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2		1	30
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2		1	30
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3		1	30
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2		1	30
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2		1	30
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30
日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3		1	30		
日本語Ⅲ-C (読解)	1 2		1	30		
日本語Ⅲ-D (会話)	1 2		1	30		
医療福祉専門漢字	1 2 3		1	30		
医療福祉専門語彙	1 2 3		1	30		
保健 体育系	健康科学理論	1	1		15	
	健康科学実践	1	1		30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
				必修	選択			
専門基礎科目 / 学部共通		公衆衛生学	1 2		2	30		
		救急医学	2 3		1	15		
		感染と免疫	1 2		2	30		
		リハビリテーション概論	1	2		30		
		関連職種連携論	2	2		30		
		ケアマネジメント論	2 3		1	15		
		ケースワーク論	1 2		1	15		
		医療管理学	2 3		2	30		
		保健医療福祉制度論	1	2		30		
		社会福祉学	1 2		2	30		
		臨床心理学概論	3		2	30		
		医療情報学概論	2 3		2	30		
		福祉支援工学概論	1 2		2	30		
		関連職種連携ワーク	3	1		30		
		関連職種連携実習	4		1	45		
		リスクマネジメント論	2		2	30		
		電子カルテシステム入門	2		1	15		
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15		
		レクリエーション概論	1 2		1	15		
		災害保健学	1 2 3		1	15		
		予防保健学	1 2 3		1	15		
		国際医療保健学	1 2 3		1	15		
		教職教養	2 3		1	30		
		異文化体験実習	1 2		1	45		
	専門教育科目		解剖学	1	2		30	
			生理学	1	2		30	
			病理学	1	1		15	
			医学概論	1	1		15	
			内科学	1	1		30	
			精神医学	2	1		30	
			リハビリテーション医学	2	1		30	
			小児科学	2	1		30	
			耳鼻咽喉科学	2	1		30	
			臨床神経学	2	1		30	
			形成外科学	2	1		15	
			臨床歯科医学	2	1		15	
			口腔外科学	2	1		15	
			音声言語医学	1	1		30	
			中枢神経機能学	1	1		30	
		聴覚医学	1	1		30		
		小児神経学	1 2		1	15		
		老年学	1 2		1	15		
		遺伝学	1 2		1	15		
		脳神経外科学	1 2		1	15		
		臨床心理学	2	1		30		
		生涯発達心理学	1	1		30		
		学習心理学	2	1		15		
		神経心理学	2	1		30		
		認知心理学	1	1		30		
		心理測定法Ⅰ（基礎）	2	1		30		
		心理測定法Ⅱ（応用）	3	1		15		
		言語学	1	1		30		
		言語心理学	3	1		30		
		言語発達学	1	1		30		
		基礎音声学	1	1		30		
		音声学	2	1		30		
		音声音響学	2	1		30		
		聴覚心理学	3	1		30		
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15		
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	専門 科目	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		言語聴覚障害学診断学	3	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅱ（発展）	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価・診断)	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ(評価・診断)	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		30	
		流暢性障害学	3	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	2	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3	1		30	
		英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1 2		1	15	
		言語聴覚療法英語論文抄読	3 4		1	15	
		特別支援教育	3		1	30	
		日本語教授法	1 2		1	15	
		基礎ゼミナールⅠ	1		1	30	
		基礎ゼミナールⅡ	1		1	30	
		言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）		4	1	30	
		言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）		4	1	30	
		卒業研究		4	4	60	
		コミュニケーション技能実習	1		1	40	
		コミュニケーション障害実習	2		1	40	
		言語聴覚障害基礎実習	3		2	80	
		言語聴覚療法総合実習	4		1	40	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3		2	80	
		臨床実習Ⅱ（応用）		4	4	160	
		臨床実習Ⅲ（総合）		4	6	240	
災害リハビリテーション学	3 4		1	15			

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 放射線・情報科学科

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30		
	演劇論	1 2 3 4		1	15		
	パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30		
	心理学	1 2 3 4		2	30		
	哲学	1 2 3 4		2	30		
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30		
	人間学	1 2 3 4		2	30		
	歴史学	1 2 3 4		2	30		
	倫理学	1 2 3 4		2	30		
	宗教学	1 2 3 4		2	30		
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30		
	文化人類学	1 2 3 4		2	30		
	教育学	1 2 3 4		2	30		
	教育方法論	1 2 3 4		2	30		
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30		
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
医療関連法規		1 2 3 4		2	30		
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		1	1		30		
経済の仕組み		1 2 3 4		2	30		
経済の歴史		1 2 3 4		2	30		
世界の経済		1 2 3 4		2	30		
アジア諸国の経済・社会・文化		1 2 3 4		2	30		
世界の中の和文化		1 2 3 4		1	15		
経営の仕組み		1 2 3 4		2	30		
組織運営管理論		1 2 3 4		2	30		
社会学（人間と社会）		1 2 3 4		2	30		
マスメディア論		1 2 3 4		2	30		
新聞でみた日本と世界		1 2 3 4		2	30		
国際関係論		1 2 3 4		2	30		
国際医療福祉論		1 2 3 4		2	30		
海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		1 2	1		30		
海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3	1		45		
ボランティア論	1 2 3 4		2	30			
ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30			
手話入門	1 2 3 4		2	30			
防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30			
疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30			
自然・情報系	数学	1 2 3 4		2	30		
	物理学	1 2 3 4		2	30		
	化学	1 2 3 4		2	30		
	生物学	1 2 3 4		2	30		
	情報処理Ⅰ（初歩）	1 2 3 4		1	30		
	情報処理Ⅱ（基礎）	1 2 3 4	1		30		
	情報処理Ⅲ（応用）	1 2 3 4		1	30		
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1		30		
	医学/医療史	1 2 3 4		2	30		
	人間工学	1 2 3 4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30		
	郷土論	1 2 3 4		1	15		
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15		
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30		
	食と人間	1 2 3 4		1	15		
	総合講義	1 2 3 4		1	15		
外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30		
	英語講読2 (Basic)	1	1		30		
	英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30		
	英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30		
	英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
	英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
	英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
	英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
	英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
総合 教育 科目	国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30		
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
	基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
	上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30		
	上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30		
	上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30		
	ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
専門 教育科目	専門 基礎科目 / 学部 共通	統計学	2	2		30	
		公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		感染と免疫	2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		電子カルテによるチーム医療概論	2 3 4		2	30	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		災害保健学	2 3 4		1	15	
		予防保健学	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学	2 3 4		1	15	
		異文化体験実習	2 3 4		1	45	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門基礎科目 / 学部共通	基礎数学	1	2		30	
	自然科学概論	1	2		30	
	基礎物理学	1	1		30	
	基礎化学	1	1		30	
	基礎生物学	1	1		30	
	解剖学Ⅰ (運動器系・循環器系・内臓系)	1	1		30	
	解剖学Ⅱ (内臓系・神経系・感覚器系)	1	1		30	
	生理学	1	2		30	
	病理学	2	2		30	
	病態生理学	2	1		15	
	医学概論	1	2		30	
	看護概論	3	1		15	
	放射線救急医学	3	2		30	
	自然科学実験	1	1		45	
	専門教育科目	応用数学	1		1	30
放射線物理学Ⅰ (基礎)		1	1		30	
放射線物理学Ⅱ (発展)		2	1		30	
放射線計測学		2	1		30	
放射線科学演習		2		1	30	
放射線計測学実験		2	1		45	
放射化学		2	1		30	
放射線生物学		2	1		30	
画像解剖学		2	2		30	
医療画像基礎論		1	2		30	
画像情報学		1	2		30	
画像情報学実験		1	1		45	
医用工学		1	1		30	
医用工学演習		2	1		30	
コンピュータ演習Ⅰ (データ処理)		1		1	30	
コンピュータ演習Ⅱ (プログラミング)		2		1	30	
医療情報システム論		3	1		15	
X線機器工学		1	2		30	
医療安全管理学		4	2		30	
診療放射線概論		1	1		15	
診療画像検査学概論		1	1		15	
X線検査学Ⅰ		2	1		30	
X線検査学Ⅱ		2	1		30	
X線CT検査学		2	2		30	
MRⅠ検査学		2	2		30	
超音波検査学		2	2		30	
診療画像学実験Ⅰ		2	2		90	
診療画像学実験Ⅱ		2	2		90	
核医学検査技術学		2	2		30	
核医学		3	2		30	
核医学検査技術学実験		3	2		90	
放射線治療技術学		2	2		30	
放射線腫瘍学		3	2		30	
放射線治療技術学実験		3	2		90	
臨床医学Ⅰ (基礎)		3	1		30	
臨床医学Ⅱ (発展)		4	1		30	
放射線管理学		2	2		30	
放射線管理学実験		4	1		45	
放射線関係法規		3	1		15	
画像診断学		4	1		30	
画像診断学演習		4		1	30	
臨床薬理学		4	1		30	
医療安全学概論		3	1		30	
臨床画像学演習		3	2		60	
診療画像検査学臨床実習		3	8		360	
核医学検査技術学臨床実習		3	2		90	
放射線治療技術学臨床実習		3	2		90	
診療放射線特論	4	2		30		
放射線学演習Ⅰ (基礎)	4	2		60		
放射線学演習Ⅱ (総合)	4	2		60		
放射線腫瘍学特論	4		1	30		
核医学特論	4		1	30		
MRⅠ検査学特論	4		1	30		
画像情報学特論	4		1	30		
死亡時画像診断学	4		1	15		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45
		卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45
		診療画像機器工学	2	1		15
		放射線治療機器工学	3	1		15

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
	演劇論	1	2	3	4		1	15		
	パフォーマンス表現論	1	2	3	4		2	30		
	心理学	1	2	3	4		2	30		
	哲学	1	2	3	4		2	30		
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
	人間学	1	2	3	4		2	30		
	歴史学	1	2	3	4		2	30		
	倫理学	1	2	3	4		2	30		
	宗教学	1	2	3	4		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4		2	30		
	教育学	1	2	3	4		2	30		
	教育方法論	1	2	3	4		2	30		
	死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4		2	30	
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		1				1		30		
経済の仕組み		1	2	3	4		2	30		
経済の歴史		1	2	3	4		2	30		
世界の経済		1	2	3	4		2	30		
アジア諸国の経済・社会・文化		1	2	3	4		2	30		
世界の中の和文化		1	2	3	4		1	15		
経営の仕組み		1	2	3	4		2	30		
組織運営管理論		1	2	3	4		2	30		
社会学(人間と社会)		1	2	3	4		2	30		
マスメディア論		1	2	3	4		2	30		
新聞でみた日本と世界		1	2	3	4		2	30		
国際関係論		1	2	3	4		2	30		
国際医療福祉論		1	2	3	4		2	30		
海外保健福祉事情Ⅰ(講義)		1	2			1		30		
海外保健福祉事情Ⅱ(実習)			2	3		1		45		
ボランティア論		1	2	3	4		2	30		
ボランティアコーディネータ論		1	2	3	4		2	30		
手話入門	1	2	3	4		2	30			
防災と生活デザイン	1	2	3	4		2	30			
自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30		
	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30		
	数学	1	2	3	4		2	30		
	物理学	1	2	3	4		2	30		
	化学	1	2	3	4	2		30		
	生物学	1	2	3	4		2	30		
	データリテラシー	1				1		30		
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)		2	3	4		1	30		
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)		2	3	4		1	30		
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1				1		30		
	医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
	郷土論	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	食と人間	1	2	3	4		1	15		
総合講義	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考			
			必修	選択					
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30			
		英語講読2 (Basic)	1	1		30			
		英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30			
		英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30			
		英語講読3 (Intermediate)	2	3	4	1	30		
		英語講読4 (Advanced)	2	3	4	1	30		
		英語会話1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		英語会話2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2	3	4	1	30		
		英語会話4 (Advanced)	2	3	4	1	30		
		英語ライティング1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		国際医療通訳入門	1	2	3	4	1	30	
		資格英語1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		資格英語2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1	2	3	4	1	30	
		上級英語文献講読	1	2	3	4	1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1	2	3	4	1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		中国語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1	2	3	4	1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1	2	3	4	1	30	
日本語Ⅲ-B (記述)	1	2	3	4	1	30			
日本語Ⅲ-C (読解)	1	2	3	4	1	30			
日本語Ⅲ-D (会話)	1	2	3	4	1	30			
医療福祉専門漢字	1	2	3	4	1	30			
医療福祉専門語彙	1	2	3	4	1	30			
保健 体育系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15		
	健康科学実践	1	2	3	4	1	30		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	2	1		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		医療情報学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
		予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
		専門基礎科目 / 学部共通	解剖学	1	2		30
	肉眼解剖学実習		1	1		45	
	生理学		1	1		30	
	病理学		1	2		30	
	臨床医学概論		2	1		30	
	内科学		1	1		30	
	臨床神経学		1 2 3		1	30	
	精神医学		1 2 3		1	30	
	リハビリテーション医学		1 2 3		1	30	
	小児科学		1 2 3		1	30	
	老年学		1 2 3		1	30	
	薬理学		1	1		15	
	栄養学		1 2 3		1	15	
遺伝学	1		1		15		
微生物学	1		2		30		
分析化学	1		1		30		
生化学	1		1		30		
生化学実習	1		1		45		
医用工学・情報概論	1		2		30		
医用工学・情報実習	1		1		45		
検査機器学・情報システム学総論	2		2		30		
保健機能食品学	2 3			1	30		
食の安全管理学	2 3		1	30			
専門教育科目	専門科目	病理検査学演習	2	1		30	
		病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ(基礎)	3	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ(応用)	3	1		45	
		細胞診断検査学	3	2		30	
		細胞診断検査学実習	3	1		45	
		血液検査学Ⅰ(総論)	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ(各論)	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ(基礎)	3	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ(応用)	3	1		45	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ(総論)	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		45	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	微生物検査学Ⅰ（総論）	2	2		30
		微生物検査学Ⅱ（各論）	2	2		30
		微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45
		微生物検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45
		医動物検査学演習	2	1		30
		免疫検査学	2	2		30
		免疫検査学実習	2	1		45
		移植検査学	2	1		15
		輸血・移植検査学	3	2		30
		輸血・移植検査学実習	3	1		45
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45
		超音波検査学	3	2		30
		超音波検査学実習	3	1		45
		循環動態画像診断学	3	1		15
		臨床検査管理総論	1	2		30
		精度保証学	3	1		15
		臨床検査診断学	3	1		15
		臨床検査基礎演習	1	1		30
		先進臨床検査技術学	3		1	15
		臨床検査統計学	3	1		30
		医療安全管理学	2	2		30
		臨床検査研究論	3	2		30
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	4	1		30
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	1		30
		臨地実習	4	11		330
		客観的臨床能力試験	3	1		30
		卒業研究	4	4		120

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田薬学部 薬学科

授業科目の名称		配当年次						単位数		時間	備考	
								必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	心理学	1						2		30		
	哲学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	コミュニケーション概論	1						2		30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30		
	人間学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	教育学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30		
死生学・死を通して生を考える	1	2	3	4	5	6		2	30			
社会系	法学	1						2		30		
	法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30		
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4						1		30		
	経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30		
	経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30		
	世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30		
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30		
	世界の中の和文化	1	2	3	4	5	6		1	15		
	経営の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30		
	組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	社会学(人間と社会)	1	2	3	4	5	6		2	30		
	マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	5	6		2	30		
	国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	2						1		30		
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	2						1		45		
	ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30		
防災と生活デザイン	1	2	3	4	5	6		2	30			
自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	数学	1						2		30		
	物理学	1							2	30		
	化学	1						2		30		
	生物学	1						2		30		
	データリテラシー	1						1		30		
	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	2						3	4	5	6	
	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2						3	4	5	6	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1							1		30	
	医学/医療史	1	2	3	4	5	6		2	30		
人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1						1		30		
	郷土論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30		
	食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	2	1		30	
		英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語C A L L 2 (Basic)	2	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30
		国際医療通訳入門	1 2 3 4 5 6		1		30
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30
		上級英語文献講読	1 2 3 4 5 6		1		30
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1		30
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4 5 6		1		30
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1		30
日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4 5 6		1		30		
日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4 5 6		1		30		
日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4 5 6		1		30		
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6		1		30		
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6		1		30		
保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30		

		授業科目の名称	配当年次						単位数		時間	備考		
									必修	選択				
専門基礎科目 / 学部共通		救急医学	1	2	3	4	5	6		1	15			
		感染と免疫	1	2	3	4	5	6		2	30			
		リハビリテーション概論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		関連職種連携論	2							2	30			
		ケアマネジメント論	1	2	3	4	5	6		1	15			
		ケースワーク論	1	2	3	4	5	6		1	15			
		医療管理学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		社会福祉学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		臨床心理学概論	1							2	30			
		医療情報学概論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		福祉支援工学概論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		関連職種連携ワーク	3							1	30			
		関連職種連携実習	5							1	45			
		リスクマネジメント論	2	3	4	5	6		2	30				
		電子カルテシステム入門	2							1	15			
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1	2	3	4	5	6		1	15			
		レクリエーション概論	1	2	3	4	5	6		1	15			
		医療関連法規Ⅰ(医薬品全般に関わる法律)	3							1	15			
		医療関連法規Ⅱ(医薬品開発と薬害に関する法律の理解)	4							1	15			
		災害保健学	1	2	3	4	5	6		1	15			
		予防保健学	1	2	3	4	5	6		1	15			
		国際医療保健学	1	2	3	4	5	6		1	15			
		異文化体験実習	1	2	3	4	5	6		1	45			
		専門基礎科目		公衆衛生学Ⅰ(保健統計、疫学、制度)	2							2	30	
				公衆衛生学Ⅱ(感染症と予防)	3							1	15	
				薬学演習Ⅰ(物理・化学・生物:基礎)	2							1	30	
				薬学演習Ⅱ(物理・化学・生物:応用)	3							1	30	
				薬学演習Ⅲ(医療倫理・ヒューマニズム)	3							1	30	
				病原微生物学	2							2	30	
				コミュニケーション実習	2							1	45	
				基礎薬学実習	1							1	45	
				薬学概論	1							2	30	
				医薬品レギュラトリーサイエンス概論							6	1	15	
		専門教育科目		医療データサイエンス概論	4							1	15	
				医療データサイエンス演習	6							1	30	
				早期体験実習	1							1	45	
				分析化学Ⅰ(化学平衡と滴定)	1							2	30	
分析化学Ⅱ(機器分析)	2							2	30					
分析化学Ⅲ(分離分析と臨床分析)	3							2	30					
薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1									2	30			
薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2							2	30					
放射化学	2							2	30					
日本薬局方Ⅰ(通則、総則、一般試験法)	3							1	15					
日本薬局方Ⅱ(代表的な医薬品の試験と生産管理)							6	1	15					
物理系薬学実習	2							1	45					
有機化学Ⅰ(脂肪族化合物1)	1									2	30			
有機化学Ⅱ(脂肪族化合物2)	2							2	30					
有機化学Ⅲ(芳香族化合物)	2							2	30					
生薬学	2							2	30					
天然物化学	2							1	15					
生物有機化学	3							1	15					
医薬品構造化学Ⅰ(コア構造と作用機構)	4							1	15					
医薬品構造化学Ⅱ(代表的医薬品の構造と作用)							6	1	15					
医薬品構造解析演習	2							1	30					
化学系薬学実習Ⅰ(有機合成)	2							1	45					
化学系薬学実習Ⅱ(天然資源)	2							1	45					
有機化学演習	1									1	30			
免疫学	3							2	30					
生化学Ⅰ(生体分子)	1									2	30			
生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)	2							2	30					
分子生物学	2							2	30					
細胞生物学	2							1	15					
解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1									2	30			
解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)	2							2	30					
分子生物学実習	3							1	45					
免疫微生物学実習	3							1	45					
基礎統計学	1							1	15					

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	専門 科目	疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		臨床検査医学	4	2		30	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		薬物動態学	4	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		薬剤学実習	3	1		45	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4	1		15	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4	1		45	
		薬局実務実習	5 6	10		450	
		病院実務実習	5 6	10		450	
		卒業研究	5 6	8		360	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考		
			必修	選択				
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30		
		コミュニケーション概論	1	2		30		
		雑談と傾聴	1	2		30		
		人間学	1 2 3 4		2	30		
		宗教学	1 2 3 4		2	30		
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30		
		教育学	1 2 3 4		2	30		
		死生学	1 2 3 4		2	30		
	社会系	法学	1	2		30		
		社会学	1 2 3 4		2	30		
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30		
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30		
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30		
	自然・情報系	経済学	1 2 3 4		2	30		
		数学	1	2		30		
		生物学	1 2 3 4		2	30		
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30		
		医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	1 2 3 4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2 3 4		1	30		
		生命倫理	1 2 3 4		2	30		
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1		30		
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30		
		総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30	
	医療福祉教養講義		1 2 3 4		1	15		
	メディカルマナー入門		1 2 3 4		2	30		
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30		
		英語講読Ⅱ (Basic)	1	1		30		
		英語CALLⅠ (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語会話Ⅰ (Primary)	1	1		30		
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30		
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30		
	系 体 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30		
	専門教育	専門基礎 学部共通	公衆衛生学		3	2	30	
			関連職種連携論	2	2		30	
			関連職種連携ワーク		3	1		30
			関連職種連携実習		4		1	45
			保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
			リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
			災害医療論	1 2 3 4		2	30	
			心理学史	1	2		30	
		専門基礎	臨床心理学概論		2	2		30
知覚・認知心理学			1	2		30		
学習・言語心理学			1	2		30		
感情・人格心理学				3	2		30	
神経・生理心理学				3	2		30	
人体の構造と機能及び疾病			1	2		30		
精神疾患とその治療				3	2		30	
心身医学				3	2		30	
社会・集団・家族心理学Ⅰ (社会・集団)				3	2		30	
心理学統計法Ⅰ (単変量解析講義・データリテラシー)			1	2		30		
心理学統計法Ⅱ (多変量解析講義)				2	2		30	
心理学統計法Ⅲ (単変量解析演習)			1	1		30		
心理学統計法Ⅳ (多変量解析演習)				2	1		30	
心理学実験Ⅰ (基礎)			2	1		45		
心理学実験Ⅱ (応用)			2	1		45		
発達心理学Ⅰ (胎児期から青年期)			2	2		30		
発達心理学Ⅱ (成人期から高齢期)			2	2		30		
心理学研究法Ⅰ (量的研究法)			1	2		30		
心理学研究法Ⅱ (質的研究法)			2	2		30		
障害者・障害児心理学			2	2		30		
教育・学校心理学		2	2		30			
心理学入門演習		1	2		60			
心理学初級演習		2	2		60			
専門		公認心理師の職責		3	2		30	
		心理学的支援法		3	2		30	
		心理学中級演習		3	2		60	
		心理学上級演習		4	2		60	
		心理的アセスメントⅠ (講義)	2	2		30		
		心理的アセスメントⅡ (演習)		3	2		60	
		心理演習Ⅰ (人間理解)		3	1		30	
		心理演習Ⅱ (ロールプレイング)		3	1		30	
		心理演習Ⅲ (事例検討)		4	1		30	
		社会・集団・家族心理学Ⅱ (家族)		3	2		30	
		家族援助技法講義		3	2		30	
		家族援助技法演習		4	1		30	

授業科目の名称		配当年次	修区分・単位		時間	備 考		
			必修	選択				
専門教育	専門	福祉心理学	4	2		30		
		環境心理学	4		2		30	
		健康・医療心理学	2		2		30	
		精神保健学	3		2		30	
		産業・組織心理学	4		2		30	
		司法・犯罪心理学	3		2		30	
		心理実習Ⅰ（基礎）	2		1		45	
		心理実習Ⅱ（福祉領域）	3			1	45	
		心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	3		1		45	
		心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	3			1	45	
		心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	3			1	45	
		関係行政論	3		2		30	
		メンタルヘルスチェック制度演習	3			1	30	
		メンタルヘルス支援演習	4			1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	人間系	心理学概論	1			30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
	死生学	1 2 3 4		2	30		
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1		30	
	医学/医療史	1 2 3 4		2	30		
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2		30	
	外国語系	英語講読Ⅰ(Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅠ(Primary)	1	1		30	
		英語CALLⅡ(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ(Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅱ(Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ(基礎)	1 2 3 4		1	30	
	中国語初級Ⅱ(応用)	1 2 3 4		1	30		
	系 体育健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
	専門基礎 学部共通	公衆衛生学		3		2	30
		関連職種連携論		2		2	30
		関連職種連携ワーク		3		1	30
		関連職種連携実習		4		1	45
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
災害医療論		1 2 3 4		2	30		
医療概論		1		2	30		
経営学		1		2	30		
会計学		1		2	30		
専門基礎	医療管理総論	1		2	30		
	保健医療情報学	2		2	30		
	医療福祉関連法規	2		2	30		
	医療マネジメント論Ⅰ(外部・内部環境分析)	2		2	30		
	人体構造・機能論	1		2	30		
	臨床医学総論	1		2	30		
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1		2	30		
専門教育	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2		2	30		
	経営学演習	1		1	30		
	簿記論Ⅰ(初級)	1		2	30		
	簿記論Ⅱ(応用)	2		2	30		
	簿記演習	2		1	30		
	医療財務会計論	2		2	30		
	医学・医療用語	1		2	30		
	臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1		2	30		
	臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1		2	30		
	臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2		2	30		
	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2		2	30		
	データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)	1		2	30		
	データ処理Ⅱ(中級)	3		2	30		
	データ処理Ⅲ(上級)	3		2	30		
	ゼミナールⅠ(入門)	1		2	60		
	ゼミナールⅡ(基礎)	2		2	60		
	ゼミナールⅢ(応用)	3		2	60		
	ゼミナールⅣ(発展)	4		2	60		
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2		2	30		
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2		2	30		
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3		2	30		
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2		2	30		
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2		2	30		
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2		2	30		
	地域包括ケア論	2		2	30		

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門教育	専門	医療マネジメント論Ⅱ(業務・物流の改善)	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3	2		30	
		医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3	2		30	
		人的資源管理論	2		2		30
		診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2		2		30
		診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	1		2		30
		診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	2		2		30
		国際統計分類Ⅰ(基礎)	2		2		30
		国際統計分類Ⅱ(応用)	3		2		30
		国際統計分類特別講義	3		2		30
		薬学概論	2		2		30
		医療福祉施設実習	3	4			180
		病院施設管理論	3	2			30
		病院管理演習Ⅰ(基礎)	3	1			30
		病院管理演習Ⅱ(応用)	3	1			30
		経営戦略論	3		2		30
		経営組織論	3		2		30
		医療管理会計論	3		2		30
		経営分析論	3		2		30
		マーケティング論	3	2			30
		病院原価計算論	3		2		30
		社会福祉運営管理論	3		2		30
		地域医療計画論	3		2		30
		医療福祉マーケティング論	3	2			30
		診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目A)	3		1		45
		診療情報管理演習Ⅱ(基礎科目B)	3		1		45
		診療情報管理演習Ⅲ(専門科目A)	3		1		45
		診療情報管理演習Ⅳ(専門科目B)	3		1		45
		介護システム論	3		2		30
		ケア・マネジメント論	3		2		30
		保健医療制度論	3		2		30
		医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4		2		30
		医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4		2		30

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
		演劇論	1 2 3 4	1	15	
		心理学	1 2 3 4	2	30	
		哲学	1 2 3 4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
		人間学	1 2 3 4	2	30	
		歴史学	1 2 3 4	2	30	
		倫理学	1 2 3 4	2	30	
		宗教学	1 2 3 4	2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
		文化人類学	1 2 3 4	2	30	
	教育学	1 2 3 4	2	30		
	死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30		
	社会系	法学	1 2 3 4	2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
		社会学	1 2 3 4	2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4	2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
	自然・情報系	ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
		医療関連法規	1	2	30	
		統計学	1	2	30	
		物理学	1 2 3 4	2	30	
化学		1 2 3 4	2	30		
生物学		1 2 3 4	2	30		
データリテラシー		1	1	30		
データサイエンスとAIの基礎		1	1	30		
医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30		
医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30		
総合教育	総合系	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1	30	
		医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
		人間工学	1 2 3 4	2	30	
		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1	30	
	外国語系	総合講義	1 2 3	1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
		英語A-1（講読基礎）	1	1	30	
		英語A-2（講読応用）	1	1	30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1	30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1	30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4	1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4	1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4	1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4	1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4	1	30			
系保育健	ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30		
	ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30		
	中国語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30		
	中国語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30		
系保育健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考	
				必修	選択			
専門基礎	公衆衛生学	1		2		30		
	救急医学		2 3 4		1	15		
	リハビリテーション概論	1		2		30		
	関連職種連携論		2		2		30	
	関連職種連携ワーク			3		1	30	
	関連職種連携実習				4		1	45
	ケアマネジメント論		2			1	15	
	ケースワーク論		1 2 3 4			1	15	
	医療管理学		1 2 3 4			2	30	
	保健医療福祉制度論		1		2		30	
	社会福祉学		1 2 3 4			2	30	
	臨床心理学概論		1			1	30	
	医療情報学概論			2 3 4		2	30	
	生体情報処理概論			2 3 4		2	30	
	福祉支援工学概論		1 2 3 4			2	30	
	リスクマネジメント論		1 2 3 4			2	30	
	教職入門		1			2	30	
	教育課程論		1 2			2	30	
	道徳教育の理論と実践			2 3		1	15	
	特別活動及び総合的な学習の時間の基礎			2 3		1	15	
	教育方法論			2 3		2	30	
	発達心理学		1 2			1	15	
	特別支援教育概論		1 2			1	15	
	教育相談の基礎と方法			2 3		1	15	
	生徒指導論			2 3		1	15	
	教職実践演習（養護教諭）				4		2	30
	養護概説			2 3		2	30	
	疫学			2		2	30	
	保健統計学Ⅰ（基礎）			2		1	15	
	保健統計学Ⅱ（発展）				3		1	15
	解剖学Ⅰ（運動器系・内臓系・循環器系）		1		1		30	
	解剖学Ⅱ（内臓系・神経系）		1		1		30	
	生理学Ⅰ（植物性機能）		1		1		30	
	生理学Ⅱ（動物性機能、内分泌）		1		1		30	
	解剖学・生理学演習			2		1	30	
	栄養学		1		1		30	
	微生物学		1		1		30	
	病理学			2		1	30	
	薬理学			2		1	30	
	疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）			2		1	30	
	疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）			2		1	30	
	疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）			2		1	30	
	疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）			2		1	30	
疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）			2		1	30		
看護英語Ⅰ（基礎）			2		1	30		
看護英語Ⅱ（発展）				3		1	30	
専門教育	看護学原論	1		1		30		
	看護コミュニケーション論	1		1		15		
	看護援助論Ⅰ（看護援助の基本）	1		1		30		
	看護援助論Ⅱ（生活援助）	1		2		60		
	看護援助論Ⅲ（診療援助）		2		2		60	
	看護過程展開論	1		1		30		
	看護過程演習		2		1		30	
	フィールド体験実習	1		1		45		
	フィジカルアセスメントⅠ（基礎）	1		1		30		
	フィジカルアセスメントⅡ（発展）		2		1		15	
	基礎看護学実習Ⅰ（基礎）	1		1		45		
	基礎看護学実習Ⅱ（発展）		2		2		90	
	リプロダクティブヘルス看護学概論		2		1		15	
	リプロダクティブヘルス看護学方法論			3		2	60	
	リプロダクティブヘルス看護学演習			3		1	30	
	リプロダクティブヘルス看護学実習			3		2	90	
	小児看護学概論		2		1		15	
	小児看護学方法論			3		2	60	
	小児看護学演習			3		1	30	
	小児看護学実習			3		2	90	
	成人看護学概論		2		1		15	
	成人看護学方法論Ⅰ（急性期、周手術期看護）			2		2	60	
	成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）			3		2	60	
	成人看護学方法論Ⅲ（がん看護、終末期看護）			3		1	30	

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
	老年看護学概論	2	1		15	
	老年看護学方法論	3	2		60	
	老年看護学演習	3	1		30	
	成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期看護）	3	2		90	
	成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	3	2		90	
	成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者の理解）	3	1		45	
	成人・老年看護学実習Ⅳ（健康障害のある高齢者の看護）	3	2		90	
	成人・老年看護学実習Ⅴ（認知症を有する高齢者の看護）	4	1		45	
	精神看護学概論	2	1		15	
	精神看護学方法論	2	2		60	
	精神看護学演習	3	1		30	
	精神看護学実習	3	2		90	
	地域・在宅看護学概論	2	1		15	
	地域・在宅看護学方法論Ⅰ（地域生活の理解）	2	2		60	
	地域・在宅看護学方法論Ⅱ（地域療養の支援）	3	2		60	
	地域・在宅看護学演習	4	1		30	
	地域・在宅看護学実習	4	2		90	
	国際看護論	4		1	15	
	災害看護論	3	1		15	
	家族看護論	2		1	15	
	バリアティブケア	3	4		1	15
	統合看護演習	4		1	30	
	統合技術演習	4		1	30	
	看護研究法概説	3	1		15	
	看護研究	4	2		60	
	看護倫理学	2	3	4	1	15
	看護管理論	3	1		15	
	看護マネジメント実習	4	1		45	
	統合看護実習	4	2		90	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	3		2	90	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	4		2	90	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	4		1	45	
	健康危機管理論	4		1	15	
	保健医療福祉行政論	4		2	30	
	公衆衛生看護学概論	1		2	30	
	健康教育・保健指導論	2		1	30	
	公衆衛生看護学対象別活動論	3		2	30	
	コミュニティアセスメント論	3		1	30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ（基礎）	3		1	30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ（発展）	4		1	30	
	産業における看護活動	4		1	15	
	学校における看護活動	3		1	15	
	公衆衛生看護管理論	4		1	15	
	養護実習	4		5	150	
	学校看護学実習	3	4		1	45

専門教育

専門

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考
						必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30	
		自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
	物理学		1	2	3	4	2	30	
	化学		1	2	3	4	2	30	
	生物学		1	2	3	4	2	30	
	データリテラシー		1				1	30	
	データサイエンスとAIの基礎		1	2	3		1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）			2	3	4	1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）			2	3	4	1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-		1				1	30	
	医学/医療史		1	2	3	4	2	30	
	人間工学		1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30	
		総合講義	1	2	3		1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1				1	30	
		英語A-2（講読応用）	1				1	30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1				1	30	
英語B-2（聴解・発話応用）		1				1	30		
英語A-3（講読中級1）			2	3	4	1	30		
英語A-4（講読中級2）			2	3	4	1	30		
英語C-1（英会話初級）			2	3	4	1	30		
英語C-2（英会話中級）			2	3	4	1	30		
資格英語1（Primary）		1	2	3	4	1	30		
資格英語2（Basic）		1	2	3	4	1	30		
基礎英文法1（Primary）		1	2	3	4	1	30		
基礎英文法2（Basic）		1	2	3	4	1	30		
ドイツ語初級1（基礎）		1	2	3	4	1	30		
ドイツ語初級2（応用）		1	2	3	4	1	30		
中国語初級1（基礎）		1	2	3	4	1	30		
中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30			
体保健系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15		
	健康科学実践	1	2	3	4	1	30		

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1	2	3	4		2	30			
		救急医学	1				1			15		
		リハビリテーション概論	1					2		30		
		関連職種連携論		2					2	30		
		関連職種連携ワーク			3			1		30		
		関連職種連携実習				4			1	45		
		ケアマネジメント論			2	3	4		1	15		
		ケースワーク論		1	2	3	4		1	15		
		医療管理学		1	2	3	4		2	30		
		保健医療福祉制度論		1	2	3	4		2	30		
		社会福祉学		1	2	3	4		2	30		
		臨床心理学概論			2			2		30		
		医療情報学概論			2	3	4		2	30		
		生体情報処理概論			2	3	4		2	30		
		福祉支援工学概論		1	2	3	4		2	30		
		リスクマネジメント論				3	4		2	30		
		疫学・保健医療統計学			2				2	30		
		解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）		1				1		30		
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）		1				1		30		
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）		1				1		45		
		解剖学実習Ⅱ（組織）		1				1		45		
		生理学Ⅰ（植物性機能）		1				1		30		
		生理学Ⅱ（動物性機能）		1				1		30		
		生理学実習		1				1		45		
		運動学Ⅰ（基礎）		1				1		30		
		運動学Ⅱ（応用）		1				1		30		
		運動生理学		1					2	30		
		病理学			2				1	30		
		臨床医学概論			2				1	30		
		内科学Ⅰ（基礎）			2				1	30		
		内科学Ⅱ（臨床）			2				1	30		
		神経学Ⅰ（基礎）			2				1	30		
		神経学Ⅱ（臨床）			2				1	30		
		整形外科Ⅰ（基礎）			2				1	30		
		整形外科Ⅱ（臨床）			2				1	30		
		精神医学Ⅰ（総論・各論）			2				1	30		
		精神医学Ⅱ（各論）			2					1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）			2				1	45		
		運動学実習Ⅱ（応用）			2				1	45		
		人間発達学			2				1	30		
		リハビリテーション医学				3			1	30		
		小児科学			2				1	30		
		老年学			2	3	4		1	30		
		神経心理学概論			2	3	4		2	30		
		臨床薬理学概論			2				1	15		
		スポーツ傷害学			2	3	4		1	15		
		外科学			2	3	4		1	15		
		脳神経外科学			2	3	4		1	30		
		栄養学			2	3	4		1	15		

専門教育	専門	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
		バルペーション (運動機能)	1		1	15	
		理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習 (課題発表・PBL)	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習 (課題学習・口頭試問)	2		1	30	
		PTスキルⅢ演習 (課題学習)	3		1	30	
		PTスキルⅣ演習 (口頭試問・OSCE・CBT)	3		2	60	
		病態運動学	3		2	30	
		運動解剖学	2		2	30	
		理学療法用語論	1 2 3 4		1	15	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2		2	30	
		理学療法診断学Ⅰ (基礎)	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅱ (疾患編)	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅲ (神経・画像評価学を含む)	2		1	15	
		理学療法診断学Ⅳ (電気診断学)	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	
		臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2		1	15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ (基礎)	1		1	30	
		物理療法学Ⅱ (応用)	2		1	30	
		運動療法学総論	2		1	30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		呼吸管理	2 3		1	15	
		生活技術学	3		1	30	
		生活環境学	3		1	30	
		義肢学	3		1	30	
		装具学	3		1	30	
		理学療法治療総論	3		1	15	
		運動系理学療法学Ⅰ (基礎)	3		1	30	
		運動系理学療法学Ⅱ (応用)	3		1	30	
		神経系理学療法学Ⅰ (脳血管)	3		1	30	
		神経系理学療法学Ⅱ (神経筋)	3		1	30	
		小児理学療法学	3		1	30	
		循環器系理学療法学	3		1	15	
		呼吸器系理学療法学	3		1	15	
		代謝系理学療法学	3		1	15	
		地域理学療法学演習 (在宅・地域)	3		1	30	
		老人理学療法学	2 3 4		1	15	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		精神科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ (神経筋促進治療学)	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ (神経発達学的治療学)	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ (マニュアルセラピー関節)	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ (マニュアルセラピー脊柱)	2 3 4		1	15	
		基礎実習	1		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		地域リハビリテーション実習	3 4		1	45	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習	4		12	540	
		理学療法特論Ⅰ (基礎)	4		2	30	
		理学療法特論Ⅱ (応用)	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法	4		1	15	
		理学療法管理学	2		2	30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
	演劇論	1 2 3 4		1	15	
	心理学	1 2 3 4		2	30	
	哲学	1 2 3 4		2	30	
	コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
	人間学	1 2 3 4		2	30	
	歴史学	1 2 3 4		2	30	
	倫理学	1 2 3 4		2	30	
	宗教学	1 2 3 4		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4		2	30	
	教育学	1		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4		2	30	
死生学・死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30		
社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
	社会学	1 2 3 4		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
	経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4		2	30	
	経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
	海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30	
	ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
	医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
	統計学	1		2	30	
	自然・情報系	物理学	1 2 3 4		2	30
化学		1 2 3 4		2	30	
生物学		1 2 3 4		2	30	
データリテラシー		1		1	30	
データサイエンスとAIの基礎		1 2 3		1	30	
医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4		1	30	
医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4		1	30	
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-		1		1	30	
医学/医療史		1 2 3 4		2	30	
人間工学		1 2 3 4		2	30	
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	
	総合講義	1 2 3		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
外国語系	英語A-1（講読基礎）	1		1	30	
	英語A-2（講読応用）	1		1	30	
	英語B-1（聴解・発話基礎）	1		1	30	
	英語B-2（聴解・発話応用）	1		1	30	
	英語A-3（講読中級1）	2 3 4		1	30	
	英語A-4（講読中級2）	2 3 4		1	30	
	英語C-1（英会話初級）	2 3 4		1	30	
	英語C-2（英会話中級）	2 3 4		1	30	
	資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
	資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
	基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
	ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
	中国語初級1（基礎）	1 2 3 4		1	30	
	中国語初級2（応用）	1 2 3 4		1	30	
系 体 保 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
	健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1	2		30
		救急医学	2	1		15
		リハビリテーション概論	1	2		30
		関連職種連携論	2	2		30
		関連職種連携ワーク	3	1		30
		関連職種連携実習	4		1	45
		ケアマネジメント論	2		1	15
		ケースワーク論	1		1	15
		医療管理学	1		2	30
		保健医療福祉制度論	1		2	30
		社会福祉学	1		2	30
		臨床心理学概論	1		2	30
		医療情報学概論	2		2	30
		生体情報処理概論	2		2	30
		福祉支援工学概論	1		2	30
		リスクマネジメント論	3		2	30
		疫学・保健医療統計学	2		2	30
		解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系、感覚器系）	1	1		30
		解剖学実習	1	1		45
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30
		生理学実習	1	1		45
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30
		運動学実習	1	1		45
		運動生理学	2	1		30
		病理学	2	1		30
		内科学	2	1		30
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30
		小児科学	2	1		30
		老年学	2	1		30
		リハビリテーション医学	3	1		30
		人間発達学	2	1		30
		臨床薬理学概論	2	1		15
		栄養学	2		1	15
		外科学	2		1	15
		脳神経外科学	2		1	30
		神経心理学概論	2		1	30
		レクリエーション概論	3		1	15
		対人援助論	2		1	15

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	専門英語	3	1		30	
	作業療法概論	1	1		15	
	作業学概論	1	1		15	
	作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
	作業工程技術学・応用論	3	1		30	
	作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
	作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
	作業応用論	3		1	30	
	研究法概論	3	1		15	
	研究法演習	3	1		30	
	卒業研究	4		1	30	
	作業療法倫理・管理	4	2		30	
	作業療法評価学概論	2	1		30	
	作業療法評価学各論	2	1		30	
	作業療法評価学演習	2	1		30	
	基礎運動機能評価法	2	1		30	
	上肢機能評価法	2		1	15	
	日常生活活動評価法	2		1	15	
	認知機能評価法	3		1	15	
	作業療法諸理論	4		1	15	
	作業療法適応学概論	3	1		15	
	内科系疾患作業療法学	3	1		30	
	運動器疾患作業療法学	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
	中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
	精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
	小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
	小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
	老年作業療法学	3	1		30	
	認知障害作業療法学	3	1		30	
	作業療法適応学特論	4		1	15	
	作業療法応用学概論	3		1	15	
	就学・就労支援論	3		1	15	
	生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
	生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
	コミュニケーション技術論	2	1		30	
	職業関連技術学	3	1		30	
	作業療法の諸外国事情	3		1	15	
	地域生活作業療法論	3	1		30	
	地域ケアシステム論	3		1	15	
	障害代償学概論	3	1		30	
	義肢適用論	3		1	15	
	装具・副子適用論	3		1	30	
	自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
	住環境整備論	3	1		30	
	バリアフリー論	3		1	15	
	臨床実習特論	3	1		15	
	作業療法総括論	4	1		30	
	基礎実習	1	1		45	
検査実習	2	2		90		
評価実習	3	5		225		
総合実習Ⅰ（基礎的介入）	4	7		315		
総合実習Ⅱ（応用的介入）	4	7		315		
地域リハビリテーション実習	3	4	1	45		
臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	3		1	15		
臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	3		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(小田原保健医療学部)

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考				
			必修	選択						
総合教育	外国語系	日本語Ⅰ-A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ-A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ-A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ-C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考	
						必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
	死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
	演劇論	1	2	3	4		1	15		
	心理学	1	2	3	4		2	30		
	哲学	1	2	3	4		2	30		
	コミュニケーション概論	1				2		30		
	雑談と傾聴～話す力と訊く力～	1	2	3	4		2	30		
	人間学	1	2	3	4		2	30		
	倫理学	1	2	3	4		2	30		
	宗教学	1	2	3	4		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4		2	30		
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1		30		
	教育学	1	2	3	4		2	30		
	社会科学系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		1				1		30		
国際医療福祉論		1	2	3	4		2	30		
手話入門		1	2	3	4		2	30		
国際関係論		1	2	3	4		2	30		
海外保健福祉事情Ⅰ(講義)			2			1		15		
海外保健福祉事情Ⅱ(実習)			2			1		45		
医療関連法規		1				2		30		
自然・情報系	生物学	1	2	3	4		2	30		
	情報処理Ⅰ(基礎)	1				1		30		
	情報処理Ⅱ(応用)	1	2	3	4		1	30		
	物理学	1	2	3	4		2	30		
	化学	1	2	3	4		2	30		
	医学/医療史	1	2	3	4		2	30		
	人間工学	1	2	3	4		2	30		
総合系	郷土論-大川学	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30		
	医療福祉教養講義	1				1		15		
外国語系	英語講読1(Primary)	1				1		30		
	英語講読2(Basic)	1				1		30		
	英語CALL1(Primary)	1				1		30		
	英語CALL2(Basic)	1				1		30		
	英会話	1	2	3	4		1	30		
	実用英会話		2	3	4		1	30		
	中国語	1	2	3	4		2	60		
	実用中国語会話		2	3	4		1	30		
	韓国語	1	2	3	4		2	60		
	実用韓国語会話		2	3	4		1	30		
	資格英語1(Primary)	1	2	3	4		1	30		
資格英語2(Basic)	1	2	3	4		1	30			
保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15		
	健康科学実践	1	2	3	4		1	30		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1	2		30	
		生化学	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論		3 4		2	30
		保健医療福祉制度論	1		2		30
		保健医療福祉行政論	2			1	15
		保健統計学	2		2		30
		疫学		3		2	30
		ケアマネジメント論	2 3 4		1		15
		ケースワーク論	1 2 3 4			1	15
		医療管理学	1 2 3 4		2		30
		社会福祉学	1 2 3 4		2		30
		リスクマネジメント論	2 3 4		2		30
		臨床心理学概論	2 3 4		2		30
		医療情報学概論	2 3 4		2		30
		国際医療保健学	1 2 3 4		1		15
		関連職種連携論	2		2		30
		関連職種連携ワーク		3		1	30
		関連職種連携実習		4		1	45
		からだの構造	1		2		30
		からだの機能	1		2		30
		臨床薬理学	2		2		30
		栄養と健康	2		1		15
		遺伝と医療	1		1		15
		放射線科学概論	1			1	15
		疾病の成り立ち(病理学)	1		1		30
		疾病・治療論Ⅰ(呼吸、循環、腎泌尿器系)	1		1		30
		疾病・治療論Ⅱ(消化、代謝・内分泌系)	1		1		30
		疾病・治療論Ⅲ(免疫、脳神経、運動器、精神系)	2		1		30
		疾病・治療論Ⅳ(感覚器、口腔、皮膚系)	2		1		30
		疾病・治療論Ⅴ(リプロダクティブヘルス、小児)	2		1		30

専門教育科目	専門科目	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
		看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護コミュニケーション	1	1		15	
		看護技術論Ⅰ(共通基本技術)	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ(日常生活援助技術)	1	2		60	
		看護技術論Ⅲ(医療支援技術)	2	1		30	
		看護過程展開論	2	1		30	
		フィジカルアセスメントⅠ(概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系)	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ(運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覚器系)	2	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ(生活支援)	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)	2	2		90	
		地域・在宅看護論Ⅰ(地域での暮らしと健康)	1	1		15	
		地域・在宅看護論Ⅱ(地域での療養支援)	2	2		30	
		地域・在宅看護方法論	3	2		30	
		地域・在宅看護論演習	3	1		30	
		地域・在宅看護論実習Ⅰ(対象理解)	1	1		45	
		地域・在宅看護論実習Ⅱ(地域療養支援)	3	2		90	
		地域・在宅看護論実習Ⅲ(継続看護)	4	1		45	
		成人看護学概論	2	2		30	
		成人看護学方法論Ⅰ(急性期・回復期)	3	2		45	
		成人看護学方法論Ⅱ(慢性期・終末期)	2	2		45	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	2	2		30	
		老年看護学演習	3	1		30	
		成人・老年看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅲ(高齢者施設)	3	1		45	
		小児看護学概論	1	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習Ⅰ(保育所)	1	1		45	
		小児看護学実習Ⅱ(病棟)	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ(地域育児支援)	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ(病棟)	3	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	3	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		感染看護論	2	1		15	
		国際看護論	4	1		15	
		看護管理論	4	1		15	
		看護倫理学	2	1		15	
		看護教育学	4	1		15	
		家族看護論	2	1		15	
		災害看護論	4	2		30	
		看護学特論	4	1		15	
		看護研究Ⅰ(研究方法)	3	2		30	
		看護研究Ⅱ(卒業論文)	4	2		60	
		看護統合実習	4	3		135	
		公衆衛生看護学概論	2	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅰ(母子・成人・高齢者保健)	3	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅱ(難病・精神・障害等保健活動)	3	2		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅰ(家庭訪問・健康診査等)	4	1		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅱ(地区踏査・地域診断)	4	1		30	
		公衆衛生看護活動展開論	4	2		30	
		産業保健	2	1		15	
		学校保健	2	1		15	
		健康教育・保健指導論	2	2		30	
		公衆衛生看護管理論	4	1		15	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政保健)	4	4		90	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業保健)	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1		2	30	
	教育方法論		3 4		2	30	
	社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30	
		統計学		2	2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1		1	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4		1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4		1	30
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
生物学		1 2 3 4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30		
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30		
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15		
	郷土論-大川学	1 2 3 4		1	15		
外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1		1	30		
	医学英語Ⅱ（応用）	1		1	30		
	英会話	1		1	30		
	中国語 ※1	1 2 3 4		2	60	※1から2単位以上選択必修	
	韓国語 ※1	1 2 3 4		2	60		
	実用英会話 ※2		2		1	30	
	実用中国語会話 ※2		2		1	30	
	実用韓国語会話 ※2		2		1	30	
	資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30		
資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30			
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		

		授業科目の名称	配当年次				単位数		時間	備 考	
							必修	選択			
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1	2	3	4		2	30		
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30		
		ケアマネジメント論	1	2	3	4		1	15		
		リスクマネジメント論			3	4		2	30		
		関連職種連携実習				4		1	45		
		リハビリテーション概論	1				2		30		
		臨床心理学概論		2			2		30		
		救急医学		2			1		15		
		関連職種連携論		2			2		30		
		関連職種連携ワーク			3		1		30		
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）		1			1		30		
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）		1			1		30		
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）		1			1		45		
		解剖学実習Ⅱ（組織）		1			1		45		
		生理学Ⅰ（植物性機能）		1			1		30		
		生理学Ⅱ（動物性機能）		1			1		30		
		生理学実習		1			1		45		
		病理学			2		1		30		
		臨床医学概論		1			1		30		
		内科学Ⅰ（基礎）			2		1		30		
		内科学Ⅱ（臨床）			2		1		30		
		神経学Ⅰ（基礎）			2		1		30		
		神経学Ⅱ（臨床）			2		1		30		
		整形外科Ⅰ（基礎）			2		1		30		
		整形外科Ⅱ（臨床）			2		1		30		
		精神医学Ⅰ（総論・各論）			2		1		30		
		精神医学Ⅱ（各論）			2	3		1	30		
		リハビリテーション医学		1			1		30		
		小児科学			2		1		30		
		老年学			2		1		30		
		臨床薬理学概論		1			1		15		
		栄養学		1	2	3	4		1	15	
		人間発達学		1			1		30		
	カウンセリング論		1	2	3	4		1	15		
	運動学Ⅰ（基礎）		1			1		30			
	運動学Ⅱ（応用）		1			1		30			
	運動生理学		1			2		30			
	運動学演習Ⅰ（基礎）			2		1		30			
	運動学演習Ⅱ（応用）			2		1		30			
	理学療法概論		1			2		30			
	PTスキルⅠ演習		1			1		30			
	PTスキルⅡ演習			2		1		30			
PTスキルⅢ演習				3	2		60				
PTスキルⅣ演習					4	2	30				
病態運動学				3	2		30				
運動解剖学		1			2		30				
理学療法用語論		1			1		15				
	専門										

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育	専門	バイオメカニクス	1	1		15
		理学療法評価学	1	1		30
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	2		60
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	2		30
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15
		物理療法学Ⅰ（基礎）	2	1		30
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30
		運動療法学総論	2	2		30
		生活技術学	2	1		30
		生活環境学	2	1		30
		義肢学	2	1		30
		装具学	2	1		30
		理学療法治療総論	3	1		15
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30
		小児理学療法学	2	1		30
		呼吸器系理学療法学	3	2		30
		循環器系理学療法学	3	1		15
		代謝系理学療法学	3	1		15
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	2		30
		老人理学療法学	2	1		15
		スポーツ理学療法学	3 4		1	15
		障害者スポーツⅠ（入門）	1 2 3 4		1	15
		障害者スポーツⅡ（応用）	3 4		1	45
		癌のリハビリテーション	2 3 4		1	15
		福祉住環境論	3 4		1	15
		理学療法技術学	3 4		1	30
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	1		30
		理学療法特論Ⅱ（総合）	4	1		30
		理学療法管理学	3	2		30
		卒業研究	4		4	120
		基礎実習	1	1		45
		検査実習	2 3	1		45
		評価実習	3	1		45
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45
		臨床実習Ⅰ（入門）	3 4	8		360
臨床実習Ⅱ（応用）	4	8		360		

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
	教育方法論			3	4		2	30	
社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）			2	3	4	1	15	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）			2	3	4	1	45	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法学	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1					1	30	
自然・情報系	統計学		2				2	30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1					1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1					1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30	
	医学/医療史	1	2	3	4		2	30	
	教学	1	2	3	4		2	30	
生物学	1	2	3	4		2	30		
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1					1	30	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	郷土論-大川学	1	2	3	4		1	15	
外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1					1	30	
	医学英語Ⅱ（応用）	1					1	30	
	英会話	1					1	30	
	中国語 ※1	1	2	3	4		2	60	※1から2単位以上選択必修
	韓国語 ※1	1	2	3	4		2	60	
	実用英会話 ※2		2				1	30	※2から1単位以上選択必修
	実用中国語会話 ※2		2				1	30	
	実用韓国語会話 ※2		2				1	30	
資格英語Ⅰ（Primary）	1	2	3	4		1	30		
資格英語Ⅱ（Basic）	1	2	3	4		1	30		
保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門教育科目	専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		リスクマネジメント論		3 4		2	30
		関連職種連携実習		4		1	45
		リハビリテーション概論	1		2		30
		臨床心理学概論		2	2		30
		救急医学		2	1		15
		関連職種連携論		2	2		30
		関連職種連携ワーク		3	1		30
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1		1		30
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1		1		30
		解剖学実習	1		1		45
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1		30
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1		30
		生理学実習	1		1		45
		病理学	1		1		30
		臨床医学概論	1 2 3 4		1		30
		内科学Ⅰ（基礎）		2	1		30
		内科学Ⅱ（臨床）		2 3		1	30
		神経学Ⅰ（基礎）		2	1		30
		神経学Ⅱ（臨床）		2	1		30
		整形外科Ⅰ（基礎）		2	1		30
		整形外科Ⅱ（臨床）		2	1		30
		精神医学Ⅰ（基礎）		2	1		30
		精神医学Ⅱ（臨床）		2	1		30
		リハビリテーション医学	1		1		30
		小児科学		2	1		30
		老年学		2	1		30
		臨床薬理学概論	1		1		15
	栄養学	1 2 3 4		1		15	
	人間発達学	1		1		30	
	カウンセリング論	1 2 3 4		1		15	
	運動学Ⅰ（基礎）	1		1		30	
	運動学Ⅱ（応用）	1		1		30	
	運動生理学		2	1		30	
	運動学実習		2	1		45	
	専門科目	作業療法概論	1		1		15
		作業学概論	1		1		15
		作業工程技術学	1		1		45
		作業分析学		2		1	45
		作業応用論		2 3 4		1	30
		研究法概論		3	1		15
		研究法演習		3	1		30
		卒業研究		4		4	120
作業療法管理学			4	1		15	
作業療法教育学			3	1		15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門 教育科目	専門 科目	作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2	1		15	
		高次脳機能評価法	2	1		15	
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
		作業療法適応学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		作業療法応用学概論		4	1	15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	3	1		30	
		職業関連技術学	3 4		1	15	
		地域生活作業療法論	3	1		15	
		地域ケアシステム論	3	1		15	
		地域生活支援論	3	1		15	
		地域生活支援演習	3	1		30	
		障害代償学概論	2	1		15	
		義肢適用論	3	1		15	
		装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		15	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		作業療法総括論		4	1	30	
		基礎実習	1		1	45	臨床実習
検査実習	2		1	45	臨床実習		
地域作業療法実習	3	1		45	臨床実習		
評価実習	3	3		135	臨床実習		
総合実習	4	18		810	臨床実習		

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考
						必修	選択		
人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30	
	演劇論	1	2	3	4		1	15	
	心理学	1	2	3	4		2	30	
	哲学	1	2	3	4		2	30	
	コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
	人間学	1	2	3	4		2	30	
	倫理学	1	2	3	4		2	30	
	宗教学	1	2	3	4		2	30	
	日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
	文化人類学	1	2	3	4		2	30	
	教育学	1	2	3	4		2	30	
社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2	3	4	1		15	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3	4	1		45	
	社会学	1	2	3	4		2	30	
	国際関係論	1	2	3	4		2	30	
	ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
	国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
	組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
	日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
	法学	1	2	3	4		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30	
自然・情報系	統計学		2			2		30	
	物理学	1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー	1				1		30	
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30	
	医学／医療史	1	2	3	4		2	30	
	数学	1	2	3	4		2	30	
	基礎生物学	1					2	30	
	基礎化学	1					1	30	
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30	
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
	郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15	
外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1				1		30	
	医学英語Ⅱ（応用）	1				1		30	
	英会話	1				1		30	
	中国語 ※3	1	2	3	4		2	60	※3から2単位以上選択必修
	韓国語 ※3	1	2	3	4		2	60	
	実用英会話 ※4		2				1	30	※4から1単位以上選択必修
	実用中国語会話 ※4		2				1	30	
	実用韓国語会話 ※4		2				1	30	
	資格英語Ⅰ（Primary）	1	2	3	4		1	30	
資格英語Ⅱ（Basic）	1	2	3	4		1	30		
保健体育系	健康科学理論 ※5	1	2	3	4		1	15	
	健康科学実践 ※5	1	2	3	4		1	30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	保健医療福祉制度論	1	2		30
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30
		公衆衛生学	2	1		30
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30
		救急医学	1 2 3 4		1	15
		関連職種連携論	2	2		30
		関連職種連携ワーク	3	1		30
		関連職種連携実習	4		1	45
		解剖学Ⅰ（総論）	1	1		30
		解剖学Ⅱ（各論）	1	1		30
		解剖組織学実習	1	1		45
		食品栄養学	4	2		30
		生理学	1	1		30
		病理学	1	1		30
		臨床医学概論	1	1		30
		内科学	2	2		30
		臨床神経学	2		1	30
		薬理学	1 2 3 4		1	15
		遺伝学	1	1		30
		分析化学	1	1		30
		生化学	1	1		30
		生化学実習	1	1		45
		医用工学・情報概論	1	1		30
		医用工学・情報実習	2	1		45
	検査機器学・情報システム学総論	3	2		30	
	保健機能食品学	4		1	30	
	食の安全管理学	3		1	30	
	専門科目	病理検査学	2	2		30
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45
		細胞診断検査学	2	2		30
		細胞検査学実習	2	1		45
		血液検査学Ⅰ（基礎）	1	2		30
		血液検査学Ⅱ（臨床）	2	2		30
		血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	2	1		45
	血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	2	1		45	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	一般検査学Ⅰ（分析）	1	2		30	
	一般検査学Ⅱ（形態）	2	2		30	
	一般検査学実習Ⅰ（分析）	2	1		45	
	一般検査学実習Ⅱ（形態）	2	1		45	
	臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
	臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
	臨床化学検査学実習	3	1		45	
	遺伝子検査学	2	2		30	
	遺伝子検査学実習	3	1		45	
	分子病態検査学演習	3 4		1	30	
	微生物検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
	微生物検査学Ⅱ（各論）	1	2		30	
	微生物学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
	微生物学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
	医動物検査学演習	3	1		30	
	免疫検査学	2	2		30	
	輸血検査学	2	2		30	
	免疫検査学実習	2	1		45	
	輸血検査学実習	3	1		45	
	生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
	生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
	生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
	生理検査学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
	超音波画像検査学	3	2		30	
	超音波検査学実習	3	1		45	
	検査学入門	1	1		30	
	精度管理学	3	2		30	
	検査管理運営学	4	2		30	
	臨床検査統計学	3	2		30	
	臨床検査医学総論	3	2		30	
	医療安全管理学	4	1		15	
	医学検査特論Ⅰ（応用）	4	2		60	
	医学検査特論Ⅱ（発展）	4		1	30	
	臨地実習	3	12		315	
	総合病態学演習	3	2		60	
	卒業研究	4	4		120	
移植検査学	3	1		15		
シミュレーション医学検査演習	2	1		15		
先端臨床検査学	4		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(福岡保健医療学部・福岡薬学部 共通)

授業科目の名称		配当年次					単位数			時間	備考		
							必修	選択	自由				
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		作文・読解Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		作文・読解Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6	1			30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6	1			30	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1	2							3	90	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1	2							3	90	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡薬学部薬学科

授業科目の名称		配当年次	単位数			時間	備考
			必修	選択	自由		
人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	演劇論	1 2 3 4 5 6		1		15	
	心理学	1		2		30	
	哲学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	コミュニケーション概論	1		2		30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2 3 4 5 6		2		30	
	人間学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	倫理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	宗教学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	文化人類学	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	教育学	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
社会系	法学	1		2		30	
	日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2		30	
	社会学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	国際関係論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2		1		15	
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2		1		45	
	社会保障制度論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2		30	
経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2		30		
自然・情報系	統計学	1		2		30	
	数学	1		2		30	
	物理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
	化学	1		2		30	
	生物学	1		2		30	
	情報処理	1		1		15	
	生命倫理	1		2		30	
総合系	医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	大学入門講座Ⅰ（基礎）	1		1		15	
	大学入門講座Ⅱ（展開）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	郷土論～大川学～	1 2 3 4 5 6		1		15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1		15	メディア授業
	メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
外国語系	英語講読1 (Primary)	1		1		15	留学生は選択
	英語講読2 (Basic)	2		1		15	留学生は選択
	英語CALL1 (Primary)	1		1		15	留学生は選択
	英語CALL2 (Basic)	2		1		15	留学生は選択
	英会話	1 2 3 4 5 6		1		15	
	実用英会話	2 3 4 5 6		1		15	
	医学英語Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	医学英語Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		15	
	資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		15	
	中国語	1 2 3 4 5 6		2		30	
	実用中国語会話	2 3 4 5 6		1		15	
	韓国語	1 2 3 4 5 6		2		30	
実用韓国語会話	2 3 4 5 6		1		15		
留学生用日本語科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	作文・読解Ⅱ（応用）	1		1		15	留学生は必修
	作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	文法・語彙Ⅱ（応用）	1		1		15	留学生は必修
	文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	発表・討論Ⅰ（応用）	1		1		15	留学生は必修
	発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		15	
	医療福祉専門漢字	1		1		15	留学生は必修
	医療福祉専門語彙	1		1		15	留学生は必修
系 体 育 健	日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	15	
	日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	15	
	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1		15	
	健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1		30	

	授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備考	
			必修	選択	自由			
専門基礎科目	公衆衛生学	3	2			30	共同	
	救急医学(救命救急を含む)	2 3		1		15		
	リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2		30		
	微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2		30		
	関連職種連携論	2	2			30	共同	
	ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1		15		
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2		30		
	臨床心理学概論	1	2			30		
	関連職種連携ワーク	3	1			30	共同	
	関連職種連携実習	5		1		45	共同	
	リスクマネジメント論	3 4 5 6		2		30	メディア授業	
	薬学科	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2	1			30	
		薬学演習Ⅱ(化学系等)	3	1			30	
		薬学演習Ⅲ(生物系等)	3	1			30	
		薬学計算	2	1			15	
		病原微生物学	3	2			30	
		コミュニケーション実習	2	1			45	共同
		基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1	1			45	共同
		基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1	1			45	共同
		薬学概論	1	2			30	
		有機化学Ⅰ(脂肪族化合物1)	1	2			30	
		有機化学Ⅱ(脂肪族化合物2)	2	2			30	
有機化学Ⅲ(芳香族化合物)		2	2			30		
生薬学		2	2			30		
天然物化学		2	1			15		
医薬品構造化学	3	1			15			
専門教育科目	分析化学Ⅰ(溶液中の化学平衡と滴定法)	1	2			30		
	分析化学Ⅱ(機器分析、分離分析および臨床分析)	2	2			30		
	医薬品構造解析	2	2			30	共同	
	薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1	2			30		
	薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2	2			30		
	放射化学	2	1			15		
	生化学Ⅰ(生体分子)	1	2			30		
	生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)	2	2			30		
	分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達)	2	2			30		
	分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝)	2	2			30		
	解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1	2			30		
	解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)	2	2			30	共同	
	解剖生理学Ⅲ(消化器系、呼吸器系、泌尿器系)	2	2			30	共同	
	がん薬物療法学	3	2			30		
	ゲノム医療	3	1			15		
	化学療法学	3	2			30		
	免疫学	2	2			30		
	疾病と病態生理学Ⅰ(内分泌系、神経精神系疾患等)	2	2			30		
	疾病と病態生理学Ⅱ(循環器系疾患、消化器系疾患等)	3	2			30	共同	
	疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等)	3	2			30	共同	
	薬理学Ⅰ(総論、末梢神経薬理等)	3	2			30		
	薬理学Ⅱ(中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等)	3	2			30		
	薬理学Ⅲ(循環器薬理、消化器薬理等)	4	2			30		
	薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)	4	2			30		
	医薬品安全性学	4	2			30	共同	
	臨床検査医学	3	2			30	共同	
	薬物治療学Ⅰ(神経精神系疾患、内分泌系疾患等)	4	2			30	共同	
	薬物治療学Ⅱ(循環器系疾患、呼吸器系疾患等)	4	2			30		
	薬物治療学Ⅲ(症例・病態解析)	6	2			30	共同	
	物理薬剤学	2	2			30		
	製剤設計とDDS	4	2			30		
	臨床薬学Ⅰ(調剤の基礎)	3	2			30		
	臨床薬学Ⅱ(調剤の実践)	4	2			30	共同	
	臨床薬学Ⅲ(薬物療法の実践)	4	2			30	共同	
	臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)	4 5	1			15	共同	
	薬物動態学	3	2			30		
	臨床薬物動態学	4	2			30		
	医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用)	3	2			30		
	医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究)	6	1			15	共同	
	衛生化学Ⅰ(食品・栄養)	2	2			30		
	衛生化学Ⅱ(毒性・代謝)	3	2			30		
	環境衛生学	3	2			30		
医療関係法規	4	2			30	共同		

授業科目の名称		配当年次	単位数			時間	備考
			必修	選択	自由		
専門 教育 科目	専門 科目	日本薬局方	3	1		15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4	1		15	
		OTC医薬品概論	3	2		30	共同
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	共同
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	共同
		物理系薬学実習	2	1		45	共同
		生物系薬学実習	4	1		45	共同
		分子生物学実習	3	1		45	共同
		臨床検査医学実習	3	1		45	共同
		衛生系薬学実習	3	1		45	共同
		早期体験実習	1	1		45	共同
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3	1		45	共同
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	共同
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4	2		90	共同
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4	2		90	共同
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5 6	10		450	共同
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5 6	10		450	共同
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）	6	1		30	共同
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6	1		30	共同
卒業研究	5 6	4		120	共同		

別表2 卒業に必要な単位数

区 分	保 健 医 療 学 部												医 療 福 祉 学 部										薬学部			
	看護学科												医療福祉・マネジメント学科												薬学科	
	看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース		薬学科			
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—	4	—	
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	3	—	3	—	3	2以上	1	—	1	—	3	—	
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	4	—	4	—	2	—	2	—	2	3以上	2	—	2	—	10	—	
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	
	外国語系	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4以上	4	4以上	4	—	4	—	4	—	4	—	4	—	4	—	
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	専門	—	4以上	—	12以上	—	10以上	—	8以上	—	3以上	—	5以上	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上	16	—	
卒業に必要な単位数		114	10以上	100	26以上	102	24以上	98	26以上	116	10以上	110	18以上	64	60以上	65	59以上	111	19以上	69	55以上	69	55以上	182	12以上	
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		124単位以上		126単位以上		128単位以上		124単位以上		124単位以上		130単位以上		124単位以上		124単位以上		194単位以上		

区 分	医学部		区 分	成田看護学部		成 田 保 健 医 療 学 部										成田薬学部		
	医学科			看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		医学検査学科		放射線・情報科学科		薬学科		
	必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
総合教育	人間系	5	1以上	人間系	—	2	2以上	—	4以上	—	6以上	—	2以上	—	2	4		
	社会系	2	—	社会系	5	3	2以上	3	2以上	3	3以上	3	2以上	3	—	5		
	全地球的な課題	3	1以上	自然・情報系	2	2	2以上	2	2以上	4	1以上	4	2以上	2	—	8		
	数学・自然科学系	5	—	総合系	1	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1		
	外国語系	5	—	外国語系	4	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4	4		
				保健体育系	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	
専門教育	専門基礎	73.5	—	専門基礎	27	30	4以上	33	—	39	—	26	—	27	—	17		
	専門	123.5	8	専門	72	59	11以上	61	10以上	49	10以上	77	3以上	79	5以上	142		
卒業に必要な単位数		217	10以上	卒業に必要な単位数	111	101	25以上	104	22以上	102	24以上	115	13以上	116	16以上	181	10以上	
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計	124単位以上		126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		132単位以上		191単位以上	

区 分		赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部				区 分		小田原保健医療学部								区 分		福岡保健医療学部								福岡薬学部	
		心理学科		医療マネジメント 学科				看護学科		理学療法学科		作業療法学科		看護学科				理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		薬学科			
		必修	選択	必修	選択			必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択			必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
総合 教育	人間系	6		2		総合 教育	人間系	2	-	-	4以上	2	4以上	総合 教育	人間系	2	-	13	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	10以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	4	10以上				
	社会系	3		1			社会系	1	-	1	2以上	1	2以上		社会系	5	-		4								
	自然・情報系	3	11以上	3	12以上		自然・情報系	5	2**	2	2以上	4	1**		自然・情報系	2	-		11								
	総合系	1		3			総合系	1	-	1	-	1	-		総合系	1	-		1								
	外国語系	3		2			外国語系	4	2**	4	2以上	4	2以上		外国語系	4	2		4								
	保健体育系	-		-			保健体育系	-	2**	-	-	-	1**		保健体育系	-	-		-								
専門 教育	専門基礎	42	13以上	17	38以上	専門 教育	専門基礎	28	2以上	34	12以上	33	12以上	専門 教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	7以上	24	4以上	16			
	専門	30		46			専門	70	2以上	58		59			専門	74		65		65		81		140			
卒業に必要な単位数		88	36以上	74	50以上	卒業に必要な単位数		111	13以上	100	26以上	104	22以上	卒業に必要な単位数		113	11以上	113	13以上	109	17以上	116	12以上	180	10以上		
卒業単位数合計		124単位以上		124単位以上		卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		190単位以上			

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の1**は自然・情報系、外国語系、保健体育系から1単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の2**は自然・情報系及び保健体育系から2単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数(留学生用)

区分	保健医療学部											医療福祉学部											
	看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医療福祉・マネジメント学科										
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース		
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	3	—	3	—	3	2以上	1	—	1	—
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	2	—	4	—	2	—	2	—	2	3以上	2	—	2	—
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—
	外国語系	5	3以上または5以上	5	3以上	5	3以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上
	専門	75	4以上	58	12以上	61	10以上	47	8以上	60	3以上	76	5以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
卒業に必要な単位数	115	9以上または11以上	101	25以上	103	23以上	99	25以上または27以上	117	9以上または11以上	111	17以上または19以上	65	59以上または61以上	66	58以上または60以上	112	21以上または23以上	70	54以上または56以上	70	54以上または56以上	
卒業単位数合計	124単位以上または126単位以上		126単位以上		126単位以上		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		128単位以上または130単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		133単位以上または135単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区分	薬学部		区分	福岡保健医療学部								小田原保健医療学部						区分	福岡薬学部								
	薬学科			看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		看護学科		理学療法学科		作業療法学科			薬学科								
	必修	選択		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		必修	選択							
総合教育	人間系	4	-	総合教育	人間系	2	-	15	6以上 (うち5は日本語の選択必修)	13	8以上 (うち5は日本語の選択必修)	13	看護学科	2	-	3以上	8以上	理学療法学科	2	-	1以上	2以上	1以上	1以上			
	社会系	3	-		社会系	5	-						看護学科	1	-			理学療法学科	1	-					作業療法学科	1	-
	自然・情報系	10	-		自然・情報系	2	-						看護学科	5	-			理学療法学科	2	-					作業療法学科	4	1* 1*
	総合系	1	-		総合系	1	-						看護学科	1	-			理学療法学科	1	-					作業療法学科	1	-
	外国語系	5	3以上 または 5以上		外国語系	5	5 (日)						看護学科	-	10以上			理学療法学科	-	10以上					作業療法学科	-	10以上
	保健体育系	-	-		保健体育系	-	-						看護学科	-	-			理学療法学科	-	-					作業療法学科	-	1* 1*
専門教育	専門基礎	16	8以上	専門教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	7以上	24	4以上	看護学科	28	2以上	34	12以上	33	12以上	16	140					
	専門	144			専門	74								65	65	81							70	2以上	58	59	
卒業に必要な単位数	183	11以上 または 13以上	卒業に必要な単位数	114	12以上	115	11以上	111	15以上	118	12以上	107	17以上	96	30以上	100	26以上	181	9以上								
卒業単位数合計	194単位以上 または 196単位以上		卒業単位数合計	126単位以上		126単位以上		126単位以上		130単位以上		124単位以上		126単位以上		126単位以上		卒業単位数合計		190単位以上							

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1* *は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第53条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）の学部の入学検定料及び学生納付金について定めることを目的とする。

（定義）

第2条 入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。

2 学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。

一 保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部、成田薬学部

入学金、授業料、実験実習費、施設設備費

二 医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

入学金、授業料、実習・文献費、施設費

3 前項に定めるもののほか、保健医療学部看護学科保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コース、福岡保健医療学部看護学科保健師履修コース、成田看護学部保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程及び「海外保健福祉事情」を履修する者については、別表に定める「履修費」をその学生納付金に含めるものとする。

（入学検定料の額）

第3条 入学検定料の額は、別表1のとおりとする。

（学生納付金の額）

第3条の2 学生納付金の額は、別表2のとおりとする。

（学生納付金の納付）

第4条 学生納付金は、当該学生納付金に係る年度の前年度の3月31日までに、原則として一括して納付しなければならない。ただし、分割納入（以下「分納」という。）及び納付期限後の納付（以下「延納」という。）を認めることがある。

（学生納付金の分納）

第5条 学生納付金を一括して納付することが困難な場合、その他特別の事情がある場合は、分納の申請により、当該年度の学生納付金を、第1回と第2回の2回に分けて納付することを認めることがある。

2 前項に規定する分納の納付期限は、第1回については、当該年度の前年度の3月31日、第2回については、当該年度の9月30日とする。

3 第1項に規定する分納に係る第1回及び第2回の学生納付金の額は、別表3のとおりとする。

（学生納付金の延納）

第6条 経済的理由により学生納付金を第4条又は前条第2項に規定する期限までに納付することが困難な者で、延納を希望するものは、所定の様式により願い出ることにより、3箇月以内の延納を認めることがある。

(分納及び延納の手続き)

第7条 学生納付金の分納又は延納を希望する場合は、所定の様式により、分納申請書又は延納願を、保証人連署のうえ、次の各号に定める期限までに提出しなければならない。

- | | | |
|---------|------------|----------------|
| 一 分納申請書 | | 当該年度の前年度の3月31日 |
| 二 延納願 | 一括納付又は第1回分 | 当該年度の前年度の3月31日 |
| | 第2回分 | 当該年度の9月30日 |

(学生納付金の特例)

第7条の2 所定の修業年限を超えて在学する者が、学年の前期末までに卒業する場合は、第3条の2の規定にかかわらず、第5条第3項に規定する第1回の学生納付金の額をもって当該年度の学生納付金の額とする。

(滞納処分)

第8条 第4条、第6条に規定する手続きを経ることなく、学生納付金を滞納した場合は、次の各号に規定する資格を停止することができる。

- 一 授業への出席及び定期試験等を受験すること
- 二 本学が発行する証明書及び学校学生生徒旅客運賃割引証の発行を受けること
- 三 その他学内において、教務事務主管課、学生事務主管課、図書館、大学クリニック等のサービスを受けること

2 学生納付金の督促を受けた者が、指定された期限までに納付しない場合は、大学学則第41条の規定により除籍とする。

別表1 入学検定料

別表2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

別表3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田看護学部、成田保健医療学部入学検定料について

ては、平成28年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料については、平成29年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部入学検定料については、平成30年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年5月27日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の福岡薬学部入学検定料については、令和2年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田薬学部入学検定料については、令和6年度入学に係る入学試験から適用する。

別表1 入学検定料

単位：円

学 部 名	入 学 検 定 料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部 成田薬学部	35,000
医学部	60,000

- (※1) 大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料は、各学部20,000円とする。但し、医学部は50,000円とする。
- (※2) 特待奨学生特別選抜及び一般選抜前期において、1日の試験で複数学部に出願する場合は、2学部目を10,000円引き、3学部目以降は1学部に出願することにより入学検定料を10,000円とする。
- (※3) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、同一学部複数回出願する場合は、2回目を10,000円引き、3回目の入学検定料を10,000円とする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※4) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、複数学部複数回出願する場合は、2学部目の1回目の入学検定料を10,000円引きとし、2回目以降は1回出願することにより入学検定料を10,000円とする。また、3学部目以降は1回出願することにより入学検定料を10,000円とする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※5) 一般選抜前期で同一学部2回以上出願し、さらに同一学部の大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合、大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料を10,000円引きとする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料の割引を適用する。)
- (※6) 当該年度中に実施された入試で、既に入学手続を行っている者（二段階納入方式の1次手続のみ完了者及び手続見込者も含む）が、特待奨学生特別選抜で手続済みの学部・学科を第一志望として出願（チャレンジ受験）する場合、入学検定料を10,000円とする。
- (※7) 医学部留学生特別選抜の入学検定料は15,000円とする。
但し、政府機関による推薦等、本学が特に認めた場合については、入学検定料を減免することがある。

別表 2 - 1 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学部名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 (※2) 小田原保健医療学部 (※2) (※3) 福岡保健医療学部 (理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科) 成田看護学部 (※2) 成田保健医療学部	1	300,000	900,000	50,000 (200,000)	300,000	1,550,000 (1,700,000)
	2	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	3	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	4	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
福岡保健医療学部 (医学検査学科)	1	300,000	800,000	50,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,600,000)
	2	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	3	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	4	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
医療福祉学部 (※4)	1	250,000	700,000	30,000 (150,000)	100,000	1,080,000 (1,200,000)
	2	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	3	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	4	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
薬学部	1	300,000	1,100,000	50,000 (200,000)	250,000	1,700,000 (1,850,000)
	2	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	3	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	4	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	5	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	6	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、平成28年度入学者について、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

但し、平成27年度以前入学者は、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コースのみ、上記以外に履修費30,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。

(※5) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (※4) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	250,000	700,000	30,000	130,000	1,110,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。

(※5) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-3 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉・マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-4 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-5 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

- (※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
- (※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。
- (※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。
- (※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表2-6 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表3-1 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学部名	学年	納付時期	学 生 納 付 金				合 計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
保健医療学部 (※2) 小田原保健医療学部 (※2) (※3) 福岡保健医療学部 (理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科) 成田看護学部 (※2) 成田保健医療学部	1	第1回	300,000	450,000	25,000 (100,000)	300,000	1,075,000 (1,150,000)	
		第2回	—	450,000	25,000 (100,000)	—	475,000 (550,000)	
	2	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)	
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)	
	3	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)	
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)	
	4	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)	
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)	
	福岡保健医療学部 (医学検査学科)	1	第1回	300,000	400,000	25,000 (100,000)	300,000	1,025,000 (1,100,000)
			第2回	—	400,000	25,000 (100,000)	—	425,000 (500,000)
		2	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
			第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
3		第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)	
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)	
4		第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)	
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)	
医療福祉学部 (※4)		1	第1回	250,000	350,000	15,000 (75,000)	100,000	715,000 (775,000)
			第2回	—	350,000	15,000 (75,000)	—	365,000 (425,000)
		2	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
			第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	3	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)	
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)	
	4	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)	
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)	
	薬学部	1	第1回	300,000	550,000	25,000 (100,000)	250,000	1,125,000 (1,200,000)
			第2回	—	550,000	25,000 (100,000)	—	575,000 (650,000)
		2	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
			第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
3		第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)	
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)	
4		第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)	
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)	
5		第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)	
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)	
6		第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)	
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)	

(※1)～(※5) 別表2の脚注に同じ。

別表3-2 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (※4) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	250,000	350,000	15,000	130,000	745,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-2 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学 生 納 付 金				合 計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科		1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
		2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
3		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
4		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
5		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
6		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	

(※1)～(※5) 別表2の脚注に同じ。

別表3-3 分納に係る学生納付金(入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費)

■平成31年度以降の入学者

単位:円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表3-3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2の脚注に同じ。

別表3-4 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉・マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科		1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
			第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
		2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
			第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
			第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
		2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
			第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
3		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
4		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
薬学部 ・薬学科		1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
			第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
		2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
			第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	

別表3-4 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科		1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
2		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
3		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
4		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
5		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
6		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000	
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000	
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	

(※1)～(※4) 別表2の脚注に同じ。

別表3-5 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉・マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科		1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
			第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
		2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
			第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
			第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
		2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
			第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
3		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
4		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
薬学部 ・薬学科		1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
			第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
		2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
			第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	

別表3-5 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科		1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
		2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
3		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
4		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
5		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
6		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000	
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000	
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
福岡保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000	
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000	
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	

(※1)～(※4) 別表2の脚注に同じ。

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉・マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科		1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
			第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
		2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
			第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000	
	医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
			第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
		2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
			第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
3		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
4		第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000	
薬学部 ・薬学科		1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
			第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
		2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
			第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学部名	学年	納付時期	学生納付金				合計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000	
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000	
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000	
	成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
3		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
4		第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科		1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
		2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000	
	医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
		2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
			第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
3		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
4		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
5		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
6		第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000	
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000	
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000	
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000	
福岡保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000	
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000	
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000	

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学 年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1)～(※4) 別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程（案）

（趣旨）

第1条 国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程は、国際医療福祉大学学則第2条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）各学部、各学科の教育研究上の目的について定めるものである。

（学部の教育研究上の目的）

第2条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。

- 一 保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 二 医療福祉学部は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 三 薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 四 福岡保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 五 小田原保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 六 成田看護学部は、看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 七 成田保健医療学部は、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 八 医学部は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それ

ぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

九 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部は、心理学もしくは医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援もしくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成することを目的とする。

十 福岡薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

十一 成田薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第3条 前条第1項第一号に定める保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

- 一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。
- 二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。
- 三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。
- 四 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。
- 五 視機能療法学科は、繊細な目を守るエキスパートとしての質の高い専門知識や技術を幅広く修得し、医療人としての総合力を高め、「見ること」、「見えること」の素晴らしさを伝えることのできる視能訓練士の育成を目的とする。
- 六 放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場

における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

(医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的)

第4条 第2条第1項第二号に定める医療福祉学部の教育研究上の目的をふまえ、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医療福祉・マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、必要な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第5条 第2条第1項第三号に定める薬学部の教育研究上の目的をふまえ、薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

(福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第6条 第2条第1項第四号に定める福岡保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおりに定める。

- 一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。
- 二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。
- 三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。
- 四 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。
- 五 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身につけるとともに、高度先進医療に対応する能力ならびに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内学で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

(小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第7条 第2条第1項第五号に定める小田原保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

- 一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。
- 二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。
- 三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

(成田看護学部看護学科の教育研究上の目的)

第8条 第2条第1項第六号に定める成田看護学部の教育研究上の目的をふまえ、成田看護学部看護学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付け、国内外で活躍できる看護師、保健師の育成を目的とする。

(成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第9条 第2条第1項第七号に定める成田保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

- 一 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れ、国内外で活躍できる理学療法士の育成を目的とする。
- 二 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応し、国内外で活躍できる作業療法士の育成を目的とする。
- 三 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職として、国内外で活躍できる言語聴覚士の育成を目的とする。
- 四 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身につけるとともに、高度先進医療に対応する能力ならびに豊かな人間性とコミュニケーション能力を

備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

五 放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

(医学部医学科の教育研究上の目的)

第10条 第2条第1項第八号に定める医学部の教育研究上の目的をふまえ、医学部医学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医学科は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成することを目的とする。

(赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的)

第11条 第2条第1項第九号に定める赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の教育研究上の目的をふまえ、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

- 一 心理学科は、心理学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、人のこころの多様な問題の解決に、チームで適切に支援できる人材を育成することを目的とする。
- 二 医療マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第12条 第2条第1項第十号に定める福岡薬学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

(成田薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第13条 第2条第1項第十一号に定める成田薬学部の教育研究上の目的をふまえ、成田薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に

対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第5条第1項第4号については、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

学則の変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

国際医療福祉大学に成田薬学部薬学科を設置することに伴い、学則の一部を下記のとおり変更する。

2. 主な変更点

①国際医療福祉大学学則

- (1) 第2条（学部）第1項に、成田薬学部を追加するとともに、第2項別表に成田薬学部薬学科を追加する。
- (2) 第15条（修業年限）第2項に、成田薬学部を追加する。
- (3) 第16条（在学年限）第1項及び第2項に、成田薬学部を追加する。
- (4) 第31条（履修方法）第1項に、成田薬学部を追加する。
- (5) 第42条（卒業）に、成田薬学部を追加する。
- (6) 施行日（令和6年4月1日）の附則を追加するとともに、第2項に収容定員について追加する。

②国際医療福祉大学学位規程

- (1) 別表1の成田保健医療学部の次に成田薬学部薬科学士（薬学）を追加する。
- (2) 施行日（令和6年4月1日）の附則を追加する。

③国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程

- (1) 別表1（授業科目の名称及び単位数）の成田保健医療学部医学検査学科の次に、成田薬学部薬学科を追加する。
- (2) 別表2（卒業に必要な単位数）の成田保健医療学部の次に、成田薬学部を追加する。
- (3) 施行日（令和6年4月1日）の附則を追加する。

④国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程

- (1) 第2条（定義）第2項第一号に、成田薬学部を追加する。
- (2) 別表1（入学検定料）に、成田薬学部を追加する。
- (3) 別表2-6（学生納付金）に、成田薬学部薬学科を追加する。
- (4) 別表3-6（分納に係る学生納付金）に、成田薬学部薬学科を追加する。
- (5) 施行日（令和6年4月1日）の附則を追加するとともに、入学検定料の適

用を追加する。

⑤国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程

- (1) 第2条（学部の教育研究上の目的）第1項に、十一号として成田薬学部を追加する。
- (2) 第13条（成田薬学部薬学科の教育研究上の目的）として、成田薬学部薬学科の教育研究上の目的を追加する。
- (3) 施行日（令和6年4月1日）の附則を追加する

以 上

国際医療福祉大学学則新旧対照表（案）

新	旧
<p>第1条 （略）</p> <p>（学部）</p> <p>第2条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。</p> <p>一～九 （略）</p> <p>十 福岡薬学部</p> <p>薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うる应用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。</p> <p><u>十一 成田薬学部</u></p> <p><u>薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担うる应用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。</u></p> <p>2 前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。</p> <p>（大学院）</p> <p>第2条の2 本学に、大学院を置く。</p> <p>2 大学院に関する学則は、別に定める。</p> <p>（別科）</p>	<p>第1条 （略）</p> <p>（学部）</p> <p>第2条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。</p> <p>一～九 （略）</p> <p>十 福岡薬学部</p> <p>薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うる应用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。</p> <p style="text-align: right;">（新設）</p> <p>2 前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。</p> <p>（大学院）</p> <p>第2条の2 本学に、大学院を置く。</p> <p>2 大学院に関する学則は、別に定める。</p> <p>（別科）</p>

第2条の3 本学に留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科を置く。

2 留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

第3条～第14条 (略)

(修業年限)

第15条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、4年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

2 薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、6年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

(在学年限)

第16条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては8年を、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては12年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第22条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 薬学部、成田薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、5年次及び6年次については、通算で4年とする。

第2条の3 本学に留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科を置く。

2 留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

第3条～第14条 (略)

(修業年限)

第15条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、4年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

2 薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、6年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

(在学年限)

第16条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては8年を、薬学部、福岡薬学部及び医学部においては12年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第22条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、5年次及び6年次については、通算で4年とする。

3 医学部においては、第1項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、4年次及び5年次については、通算で4年とする。

第17条～第30条 (略)

(履修方法)

第31条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

2 前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

第31条の2～第41条 (略)

(卒業)

第42条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

3 医学部においては、第1項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、4年次及び5年次については、通算で4年とする。

第17条～第30条 (略)

(履修方法)

第31条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に4年以上、薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

2 前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

第31条の2～第41条 (略)

(卒業)

第42条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に4年以上、薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

(以下、略)

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する成田薬学部薬学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和6年度から令和10年度までは、次のとおりとする。

令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度

成田薬学部

薬学科 120名 240名 360名 480名 600名

別 表

学部名	学科等名	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
(略)				
成田保健医療 学部	理学療法学科	80	—	320
	作業療法学科	40	—	160
	言語聴覚学科	40	—	160
	放射線・情報 科学科	50	—	200
	医学検査学科	80	—	320
	合 計	290	—	1,160
成田薬学部	<u>薬学科</u>	<u>120</u>	<u>—</u>	<u>720</u>
	<u>合 計</u>	<u>120</u>	<u>—</u>	<u>720</u>
(略)				

(以下、略)

別 表

学部名	学科等名	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
(略)				
成田保健医療 学部	理学療法学科	80	—	320
	作業療法学科	40	—	160
	言語聴覚学科	40	—	160
	放射線・情報 科学科	50	—	200
	医学検査学科	80	—	320
	合 計			
(略)				

国際医療福祉大学学位規程新旧対照表（案）

新			旧		
第1条～第17条（略）			第1条～第17条（略）		
<p style="text-align: center;"><u>附 則</u></p> <p style="text-align: center;"><u>この規程は、令和6年4月1日から施行する。</u></p>					
別表1			別表1		
学 部	学 科	学 位（専攻分野）	学 部	学 科	学 位（専攻分野）
（略）			（略）		
成田保健医療 学部	理学療法学科	学士（理学療法学）	成田保健医療 学部	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）		作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）		言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報学）		放射線・情報科学科	学士（放射線・情報学）
	医学検査学科	学士（医学検査学）		医学検査学科	学士（医学検査学）
<u>成田薬学部</u>	<u>薬学科</u>	<u>学士（薬学）</u>	（略）		
（略）					
別表2～別表3（略）			別表2～別表3（略）		

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
<p>第1条～第3条 （略）</p> <p><u>附 則</u> <u>この規程は、令和6年4月1日から施行する。</u></p> <p>別表1 授業科目の名称及び単位数 <u>（別紙を追加）</u></p> <p>別表2 卒業に必要な単位数 <u>（別紙を追加）</u></p>	<p>第1条～第3条 （略）</p> <p>別表1 授業科目の名称及び単位数 （略）</p> <p>別表2 卒業に必要な単位数 （略）</p>

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案） 別紙

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田薬学部 薬学科

授業科目の名称		配当年次						単位数		時間	備考	
								必修	選択			
人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	心理学	1						2		30		
	哲学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	コミュニケーション概論	1						2		30		
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30		
	人間学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30		
	文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	教育学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30		
死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	5	6		2	30			
社会系	法学	1						2		30		
	法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30		
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識			4				1		30		
	経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30		
	経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30		
	世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30		
	アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30		
	世界の中の和文化	1	2	3	4	5	6		1	15		
	経営の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30		
	組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	社会学（人間と社会）	1	2	3	4	5	6		2	30		
	マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	5	6		2	30		
	国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2					1		30		
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2					1		45		
	ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30		
防災と生活デザイン	1	2	3	4	5	6		2	30			
自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	数学	1						2		30		
	物理学	1							2	30		
	化学	1						2		30		
	生物学	1						2		30		
	データリテラシー	1						1		30		
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	5	6		1		30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	5	6		1		30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1						1		30		
	医学/医療史	1	2	3	4	5	6		2	30		
総合系	人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1						1		30		
	郷土論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30		
食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15			

		授業科目の名称	配当年次						単位数		時間	備考	
									必修	選択			
		英語講読 1 (Primary)	1						1		30		
		英語講読 2 (Basic)	2						1		30		
		英語CALL1 (Primary)	1						1		30		
		英語CALL2 (Basic)	2						1		30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2	3	4	5	6			1	30		
		英語講読 4 (Advanced)	2	3	4	5	6		1		30		
		英語会話 1 (Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		英語会話 2 (Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		英語会話 3 (Intermediate)	2	3	4	5	6		1		30		
		英語会話 4 (Advanced)	2	3	4	5	6		1		30		
		英語ライティング 1 (Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		英語ライティング 2 (Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		国際医療通訳入門	1	2	3	4	5	6		1	30		
		資格英語 1 (Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		資格英語 2 (Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		基礎英文法 1 (Primary)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		基礎英文法 2 (Basic)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		上級英語文献講読	1	2	3	4	5	6		1	30		
		上級英語会話 1 (発展)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		上級英語会話 2 (総合)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ドイツ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ドイツ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		中国語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		中国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		韓国語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		韓国語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		フランス語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		フランス語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		スペイン語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		スペイン語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		タイ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		タイ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ベトナム語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ベトナム語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ビルマ語入門(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		ビルマ語基礎(会話含む)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 I-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 I-B (記述)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 I-C (読解)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 I-D (会話)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 II-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 II-B (記述)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 II-C (読解)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 II-D (会話)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 III-A (文法・表現)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 III-B (記述)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 III-C (読解)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		日本語 III-D (会話)	1	2	3	4	5	6		1	30		
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6		1	30		
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6		1	30		
総合教育科目	外国語系	保健	健康科学理論	1	2	3	4	5	6		1	15	
		体育系	健康科学実践	1	2	3	4	5	6		1	30	

	授業科目の名称	配当年次						単位数		時間	備考	
								必修	選択			
専門基礎科目 / 学部共通	救急医学	1	2	3	4	5	6		1	15		
	感染と免疫	1	2	3	4	5	6		2	30		
	リハビリテーション概論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	関連職種連携論	2							2	30		
	ケアマネジメント論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	ケースワーク論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	医療管理学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	保健医療福祉制度論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	社会福祉学	1	2	3	4	5	6		2	30		
	臨床心理学概論	1							2	30		
	医療情報学概論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	福祉支援工学概論	1	2	3	4	5	6		2	30		
	関連職種連携ワーク	3							1	30		
	関連職種連携実習	5							1	45		
	リスクマネジメント論	2	3	4	5	6		2	30			
	電子カルテシステム入門	2							1	15		
	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1	2	3	4	5	6		1	15		
	レクリエーション概論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	医療関連法規Ⅰ(医薬品全般に関わる法律)	3							1	15		
	医療関連法規Ⅱ(医薬品開発と薬害に関する法律の理解)	4							1	15		
	災害保健学	1	2	3	4	5	6		1	15		
	予防保健学	1	2	3	4	5	6		1	15		
	国際医療保健学	1	2	3	4	5	6		1	15		
	異文化体験実習	1	2	3	4	5	6		1	45		
	専門基礎科目	公衆衛生学Ⅰ(保健統計、疫学、制度)	2							2	30	
		公衆衛生学Ⅱ(感染症と予防)	3							1	15	
		薬学演習Ⅰ(物理・化学・生物:基礎)	2							1	30	
		薬学演習Ⅱ(物理・化学・生物:応用)	3							1	30	
		薬学演習Ⅲ(医療倫理・ヒューマニズム)	3							1	30	
		病原微生物学	2							2	30	
		コミュニケーション実習	2							1	45	
		基礎薬学実習	1							1	45	
		薬学概論	1							2	30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論							6	1	15	
	専門教育科目	医療データサイエンス概論							4	1	15	
		医療データサイエンス演習							6	1	30	
		早期体験実習	1							1	45	
分析化学Ⅰ(化学平衡と滴定)		1							2	30		
分析化学Ⅱ(機器分析)		2							2	30		
分析化学Ⅲ(分離分析と臨床分析)		3							2	30		
薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)		1							2	30		
薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)		2							2	30		
放射化学		2							2	30		
日本薬局方Ⅰ(通則、総則、一般試験法)		3							1	15		
日本薬局方Ⅱ(代表的な医薬品の試験と生産管理)								6	1	15		
物理系薬学実習		2							1	45		
有機化学Ⅰ(脂族化合物1)		1							2	30		
有機化学Ⅱ(脂族化合物2)		2							2	30		
有機化学Ⅲ(芳香族化合物)		2							2	30		
生薬学		2							2	30		
天然物化学		2							1	15		
生物有機化学		3							1	15		
医薬品構造化学Ⅰ(コア構造と作用機構)		4							1	15		
医薬品構造化学Ⅱ(代表的医薬品の構造と作用)		6							1	15		
医薬品構造解析演習		2							1	30		
化学系薬学実習Ⅰ(有機合成)		2							1	45		
化学系薬学実習Ⅱ(天然資源)		2							1	45		
有機化学演習		1							1	30		
免疫学		3							2	30		
生化学Ⅰ(生体分子)		1							2	30		
生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)		2							2	30		
分子生物学		2							2	30		
細胞生物学		2							1	15		
解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)		1							2	30		
解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)		2							2	30		
分子生物学実習		3							1	45		
免疫微生物学実習		3							1	45		
基礎統計学		1							1	15		

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		臨床検査医学	4	2		30	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		薬物動態学	4	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		薬剤学実習	3	1		45	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4	1		15	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4	1		45	
		薬局実務実習	5	6	10	450	
		病院実務実習	5	6	10	450	
		卒業研究	5	6	8	360	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）		6	1	30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）		6	1	30	

別表2 卒業に必要な単位数

区 分	医学部		区 分	成田看護学部		成 田 保 健 医 療 学 部										成田薬学部	
	医学科			看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		医学検査学科		放射線・情報科学科		薬学科	
	必 修	選 択		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合教育	人間系	5	1以上	人間系	—	2	2以上	—	4以上	—	6以上	—	2以上	—	2	4	10以上
	社会系	2	—	社会系	5	3	2以上	3	2以上	3	3以上	3	2以上	3	—	5	
	全地球的な課題	3	1以上	自然・情報系	2	2	2以上	2	2以上	4	1以上	4	2以上	2	—	8	
	数学・自然科学系	5	—	総合系	1	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	
	外国語系	5	—	外国語系	4	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4	4	
				保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	
専門教育	専門基礎	73.5	—	専門基礎	27	30	4以上	33	10以上	39	10以上	26	3以上	27	5以上	17	
	専門	123.5	8	専門	72	59	11以上	61	—	49	—	77	—	79	—	142	
卒業に必要な単位数		217	10以上	卒業に必要な単位数	111	101	25以上	104	22以上	102	24以上	115	13以上	116	16以上	181	10以上
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計	124単位以上	126単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		132単位以上		191単位以上	

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案）

新	旧
<p>第1条 （略）</p> <p>（定義）</p> <p>第2条 入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。</p> <p>2 学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。</p> <p>一 保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部、<u>成田薬学部</u></p> <p>入学金、授業料、実験実習費、施設設備費</p> <p>二 医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部</p> <p>入学金、授業料、実習・文献費、施設費</p> <p>3 （略）</p> <p>（以下、略）</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田薬学部入学検定料については、令和6年度入学に係る入学試験から適用する。</u></p>	<p>第1条 （略）</p> <p>（定義）</p> <p>第2条 入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。</p> <p>2 学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。</p> <p>一 保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部</p> <p>入学金、授業料、実験実習費、施設設備費</p> <p>二 医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部</p> <p>入学金、授業料、実習・文献費、施設費</p> <p>3 （略）</p> <p>（以下、略）</p>

別表 1 入学検定料

単位：円

学部名	入学検定料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部 <u>成田薬学部</u>	35,000
医学部	60,000

(略)

別表 2-1～5 (略)

別表 2-6 学生納付金(入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、
施設整備費又は施設費)

(別紙を追加)

別表 1 入学検定料

単位：円

学部名	入学検定料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部	35,000
医学部	60,000

(略)

別表 2-1～5 (略)

(新設)

<p>別表 3-1 ~ 5 (略)</p> <p><u>別表 3-6 分納に係る学生納付金(入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設整備費又は施設費)</u></p> <p><u>(別紙を追加)</u></p>	<p>別表 3-1 ~ 5 (略)</p> <p>(新設)</p>
---	-----------------------------------

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案） 別紙

別表2-6 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	=	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	=	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	=	900,000	180,000	250,000	1,330,000
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	=	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	=	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	=	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	=	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	=	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
保健医療学部 ・看護学科(※2) ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	=	450,000	25,000	=	475,000	
	2	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	3	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	4	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	=	450,000	25,000	=	475,000
		2	第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	=	450,000	125,000	=	575,000
3		第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
4		第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科		1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
			第2回	=	350,000	15,000	=	365,000
		2	第1回	=	350,000	95,000	130,000	575,000
			第2回	=	350,000	95,000	=	445,000
	3	第1回	=	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	=	350,000	95,000	=	445,000	
	4	第1回	=	350,000	95,000	130,000	575,000	
		第2回	=	350,000	95,000	=	445,000	
	医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
			第2回	=	300,000	15,000	=	315,000
		2	第1回	=	300,000	95,000	130,000	525,000
			第2回	=	300,000	95,000	=	395,000
3		第1回	=	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	=	300,000	95,000	=	395,000	
4		第1回	=	300,000	95,000	130,000	525,000	
		第2回	=	300,000	95,000	=	395,000	
薬学部 ・薬学科		1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
			第2回	=	550,000	25,000	=	575,000
		2	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
			第2回	=	550,000	115,000	=	665,000
	3	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	4	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	5	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	6	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
小田原保健医療学部 ・看護学科(※2)(※3)	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000	
		第2回	=	450,000	25,000	=	475,000	
	2	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	3	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	4	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	=	450,000	25,000	=	475,000
		2	第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	=	450,000	125,000	=	575,000
3		第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
4		第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計	
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費		
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000	
		第2回	=	450,000	25,000	=	475,000	
	2	第1回	=	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	=	450,000	100,000	=	550,000	
	3	第1回	=	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	=	450,000	100,000	=	550,000	
	4	第1回	=	450,000	100,000	300,000	850,000	
		第2回	=	450,000	100,000	=	550,000	
	成田看護学部 ・看護学科(※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
			第2回	=	450,000	25,000	=	475,000
		2	第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000
			第2回	=	450,000	125,000	=	575,000
3		第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
4		第1回	=	450,000	125,000	360,000	935,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科		1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
			第2回	=	450,000	25,000	=	475,000
		2	第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000
			第2回	=	450,000	125,000	=	575,000
	3	第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	4	第1回	=	450,000	125,000	350,000	925,000	
		第2回	=	450,000	125,000	=	575,000	
	医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
			第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000
		2	第1回	=	950,000	300,000	300,000	1,550,000
			第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000
3		第1回	=	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000	
4		第1回	=	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000	
5		第1回	=	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000	
6		第1回	=	950,000	300,000	300,000	1,550,000	
		第2回	=	950,000	300,000	=	1,250,000	
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000	
		第2回	=	550,000	25,000	=	575,000	
	2	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	3	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	4	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	5	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
	6	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000	
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000	
福岡保健医療学部 ・看護学科(※2)	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000	
		第2回	=	450,000	30,000	=	480,000	
	2	第1回	=	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	=	450,000	90,000	=	540,000	
	3	第1回	=	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	=	450,000	90,000	=	540,000	
	4	第1回	=	450,000	90,000	250,000	790,000	
		第2回	=	450,000	90,000	=	540,000	

別表3-6 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
成田薬学部 薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	=	550,000	25,000	=	575,000
	2	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000
	3	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000
	4	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000
	5	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000
	6	第1回	=	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	=	550,000	115,000	=	665,000

(※1)～(※4) 別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
<p>第1条 （略）</p> <p>（学部の教育研究上の目的）</p> <p>第2条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。</p> <p>一～九 （略）</p> <p>十 福岡薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。</p> <p><u>十一 成田薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。</u></p> <p>第3条～第12条 （略）</p> <p><u>（成田薬学部薬学科の教育研究上の目的）</u></p> <p><u>第13条 第2条第1項第十一号に定める成田薬学部の教育研究上の目的をふまえ、成田薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。</u></p> <p><u>薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な</u></p>	<p>第1条 （略）</p> <p>（学部の教育研究上の目的）</p> <p>第2条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。</p> <p>一～九 （略）</p> <p>十 福岡薬学部は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">（新設）</p> <p>第3条～第12条 （略）</p> <p style="text-align: right;">（新設）</p>

説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

国際医療福祉大学教授会規程

(目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則第9条第6項に基づき、教授会に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

(代表者会議)

第3条 教授会に代表者会議を置くことができる。

2 代表者会議は、当該学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。

3 代表者会議は、学長が招集する。

4 代表者会議に議長を置き、学長をもってこれに充てる。ただし、学長が認めた場合は、学長が指名した副学長又は当該学部の学部長が学長に代わり議長となることができる。

5 代表者会議による議決をもって教授会の議決とすることができる。

(審議事項)

第4条 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業及び課程の修了

二 学位の授与

三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(招集通知)

第5条 学長は、教授会の招集に当たり、その日時、場所及び議案をあらかじめ当該構成員に通知しなければならない。

(定足数)

第6条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ議事を開くことはできない。

2 議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(合同教授会)

第7条 本学に合同教授会を置くことができる。

2 合同教授会は、第4条の事項のうち全学的に審議することが必要であると学長が認めたものにつき審議する。

3 合同教授会は、学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。

4 合同教授会の議決をもって教授会の議決とすることができる。

5 合同教授会は学長が招集し、議長は学長をもってこれに充てる。

6 第5条及び第6条の規定は、合同教授会に準用する。

(事務の処理)

第8条 教授会の事務は、各キャンパス教務事務主管課で処理する。

(改廃)

第9条 本規程の改廃は、教授会の意見を聴いて常任理事会が行う。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から適用する。ただし、改正後の第7条の規定は、平成9年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。